



2024年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部（広尾）

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2. 授業改善アンケート質問項目一覧	【演習】		4
3. 授業改善アンケート質問項目一覧	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】		6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】		7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】		81
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】		88
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】		89
9. 教員からのコメント一覧	【演習】		98
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】		100
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】		101
12. 教員からのコメント一覧	【実習】		121

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

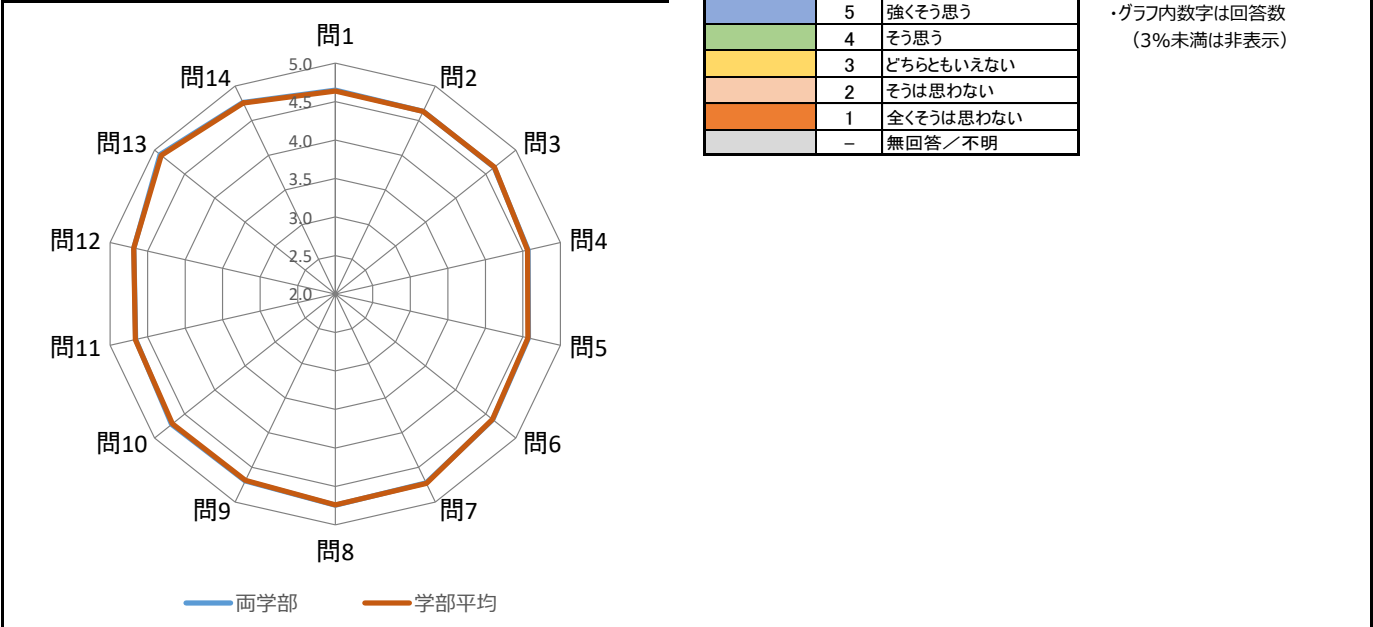
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	看護学部		履修者数		4448		回答率	
			回答数	紙	3414	77%	77%	
				WEB	0	0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<							

■質問別得点

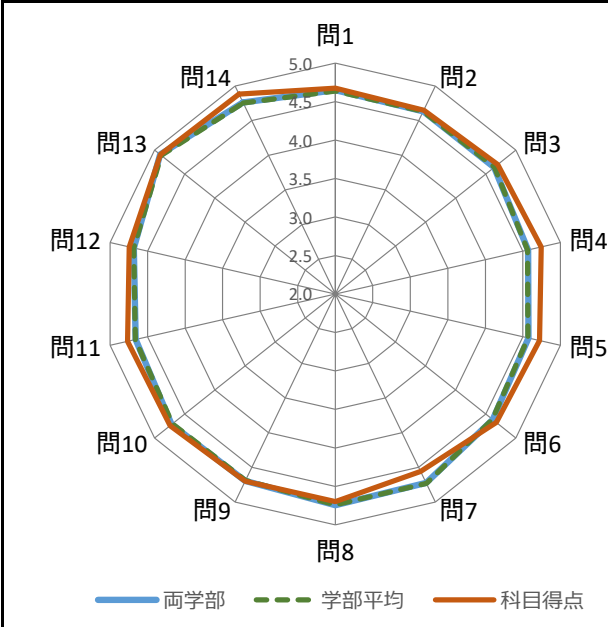


科目名	生命倫理 [1B0201]		履修者数	87	回答率	
教員名	筒井 一穂		紙	43	49.4%	49.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	31102						4.67	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	29132						4.65	4.63	4.63
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	3292						4.70	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	3392						4.74	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	32102						4.72	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	31102						4.67	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	29112						4.56	4.73	4.72
8	シラバス (または講義 予定表) に沿った授業が行われていた。	3292						4.70	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3292						4.70	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	3392						4.74	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	33102						4.77	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3392						4.74	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	394						4.91	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	385						4.88	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.73	4.68	4.68

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

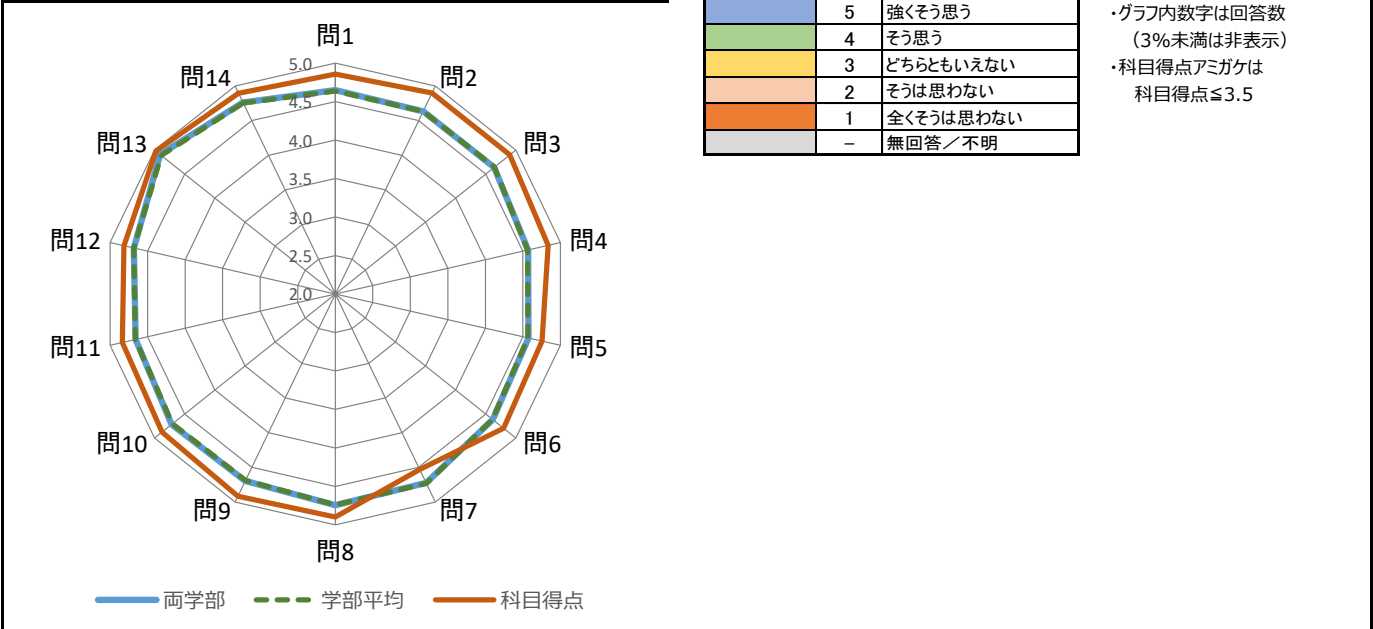
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	生命倫理		[1B0202]	履修者数	70	回答率	
教員名	筒井 一穂			紙	49	70.0%	70.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.86	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.90	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.90	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.84	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.76	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.80	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.53	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.90	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.92	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.84	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.82	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.98	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.90	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.84	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

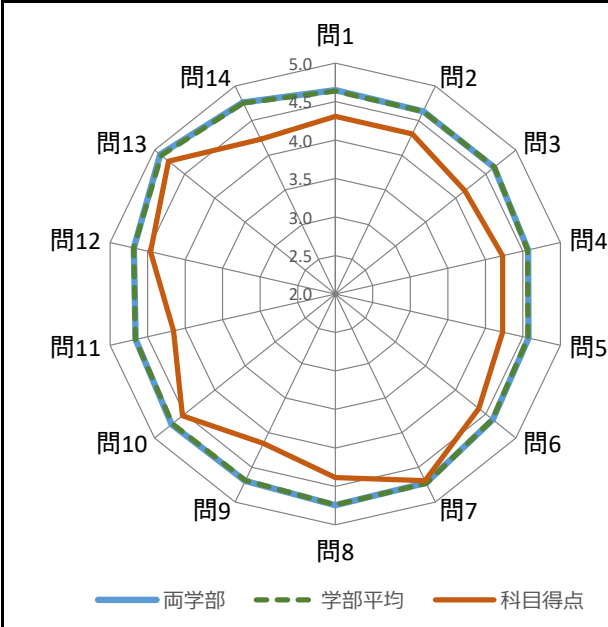
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	現代教育論		[1B0600]	履修者数	13	回答率	
教員名	渋谷 真樹			紙	13	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	9					4.31	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6	5	2				4.31	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	5	6	1	1			4.15	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	5	6	2				4.23	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5	7	1				4.23	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	7	4	2				4.38	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	9	4					4.69	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	6	6	1				4.38	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	6	4	2	1			4.15	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	7	6					4.54	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5	6	1	1			4.15	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7	5	1				4.46	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	10	3					4.77	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	8	1				4.23	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.36	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

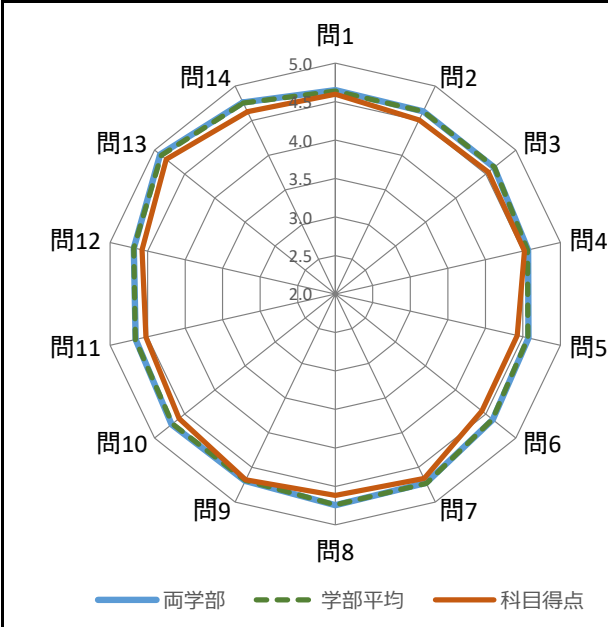
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	身体運動論 I (理論)		[1B0700]	履修者数	102	回答率	
教員名	八十島 崇			紙	94	92.2%	92.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.60	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.51	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.54	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.52	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.43	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.44	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.66	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.62	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexta: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.68	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.60	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.52	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.57	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.81	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.63	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.58	4.68	4.68

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

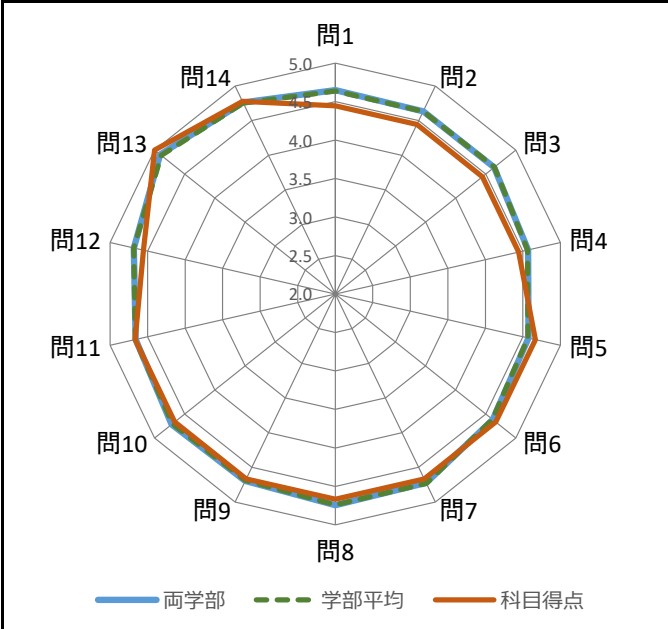
- ・ グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・ 科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	臨床心理学		[1B1800]	履修者数	13	回答率	
教員名	遠藤 公久			紙	9	69.2%	69.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.44	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.44	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。								4.44	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.44	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.67	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.67	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.67	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。								4.67	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。								4.67	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.67	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.67	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.56	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。								5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.78	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.63	4.68	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

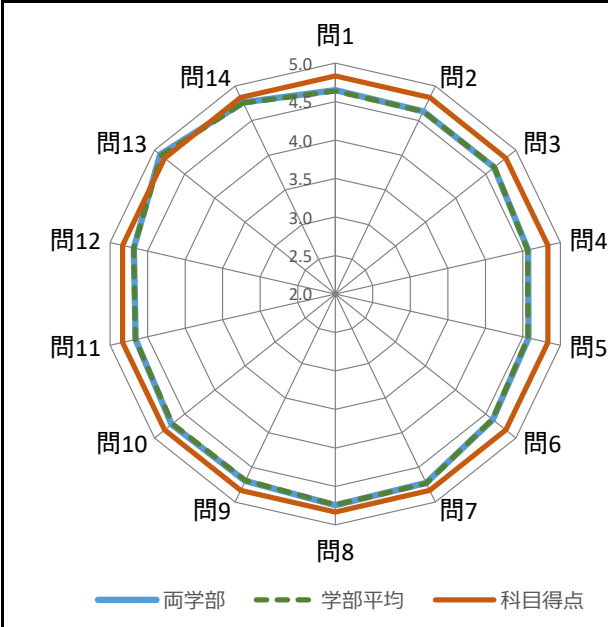
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	臨床心理学		[1B1803]	履修者数	7	回答率	
教員名	遠藤 公久			紙	6	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			5			1	4.83	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			5			1	4.83	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			5			1	4.83	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			5			1	4.83	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			5			1	4.83	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			5			1	4.83	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			5			1	4.83	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			5			1	4.83	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexta：授業の構成及び内容量は適切だった。			5			1	4.83	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			5			1	4.83	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			5			1	4.83	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			5			1	4.83	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			5			1	4.83	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			5			1	4.83	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.83	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

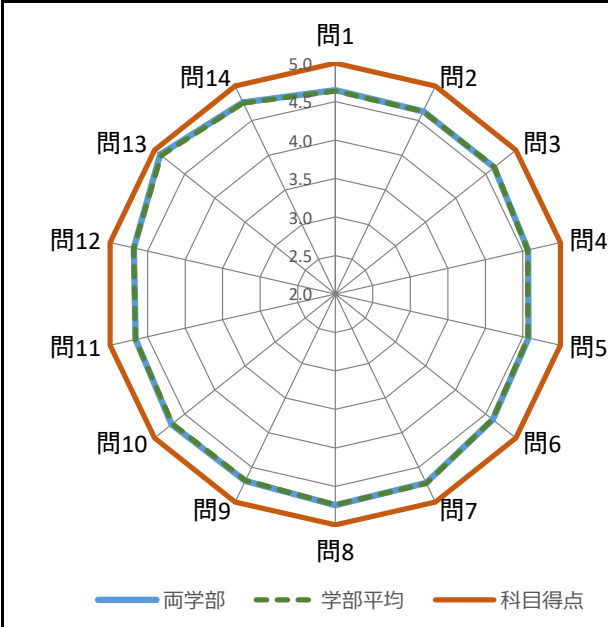
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	人間工学 [1B1900]		履修者数	2	回答率	
教員名	田部井 賢一		回答数	紙 2	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2						5.00	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2						5.00	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	2						5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	2						5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2						5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	2						5.00	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	2						5.00	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	2						5.00	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	2						5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	2						5.00	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	2						5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2						5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	2						5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2						5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

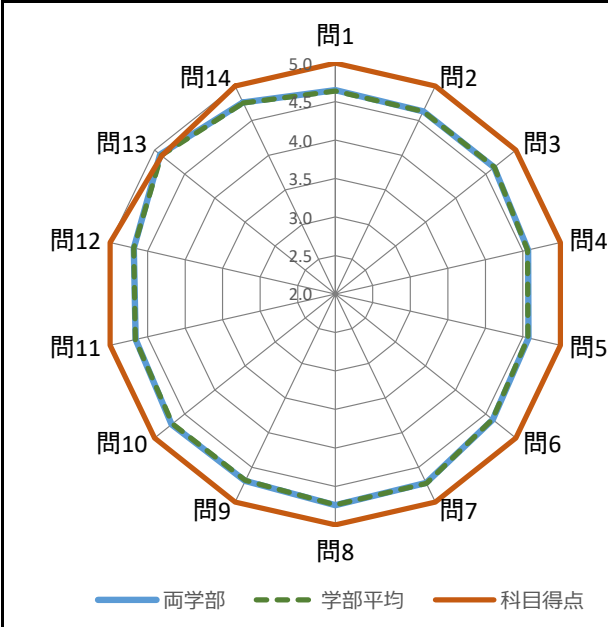
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	家族社会学		[1C0400]	履修者数	19	回答率	
教員名	宮下 阿子			紙	17	89.5%	89.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	17						5.00	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17						5.00	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	17						5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	17						5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	17						5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	17						5.00	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	17						5.00	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	17						5.00	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	17						5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	17						5.00	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	17						5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	17						5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	15					2	4.88	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17						5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.99	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

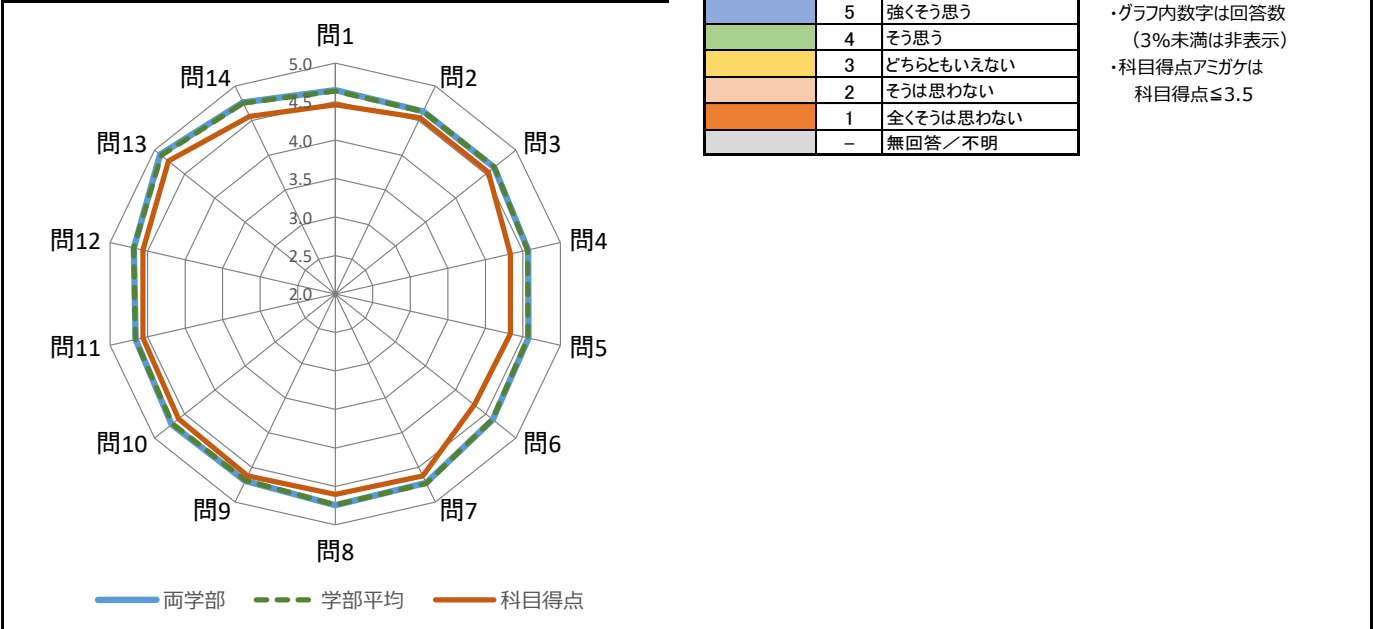
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	国際関係論		[1C0600]	履修者数	59	回答率	
教員名	角田 敦彦			紙	48	81.4%	81.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.46	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.54	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.54	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.33	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.33	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.31	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.63	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.60	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.63	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.60	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.56	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.56	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.77	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.56	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.53	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

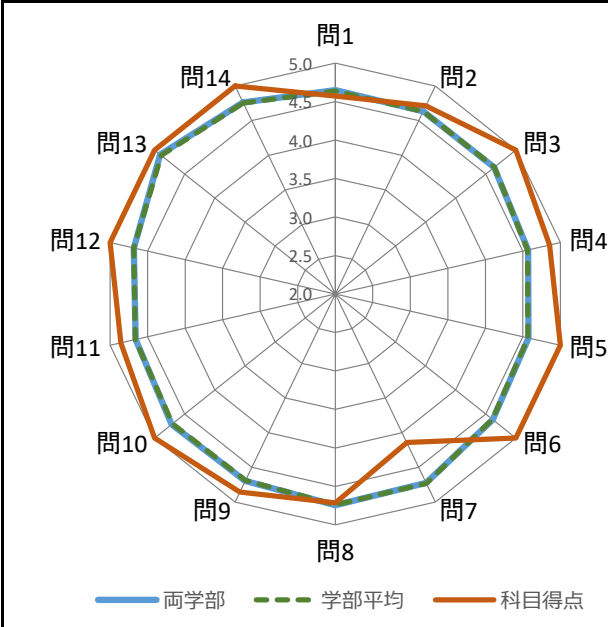


科目名	医療と文化		[1C0800]	履修者数	7	回答率	
教員名	鈴木 勝己			紙	7	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

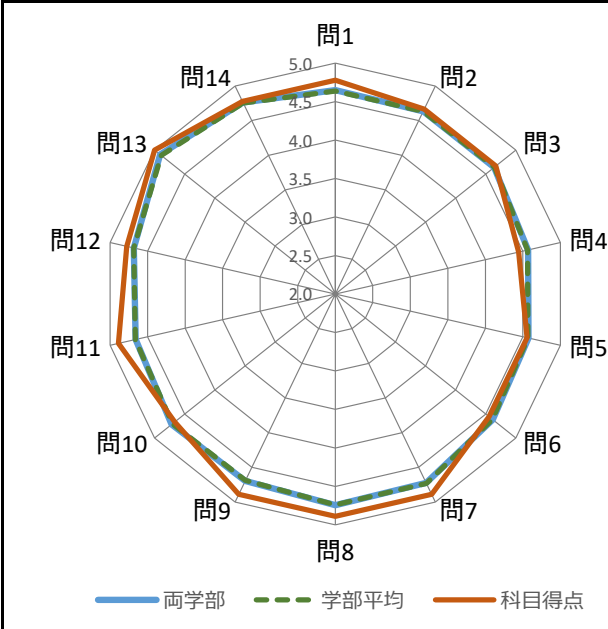
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	現代社会論		[1C1300]	履修者数	10	回答率	
教員名	鷹田 佳典			紙	9	90.0%	90.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.78	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.67	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.67	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.44	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.56	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.56	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.89	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.89	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.89	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.67	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.89	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.78	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.78	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.75	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

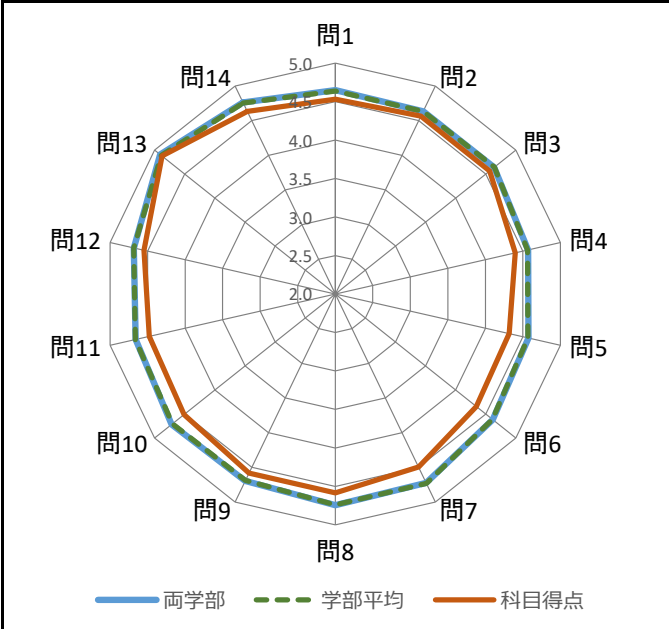
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	基礎統計学		[1D1100]	履修者数	135	回答率	
教員名	桐木 紳			紙	113	83.7%	83.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.53	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.57	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.57	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.40	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.32	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.35	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.50	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.58	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.58	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.51	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.48	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.55	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							4.88	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.63	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.53	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

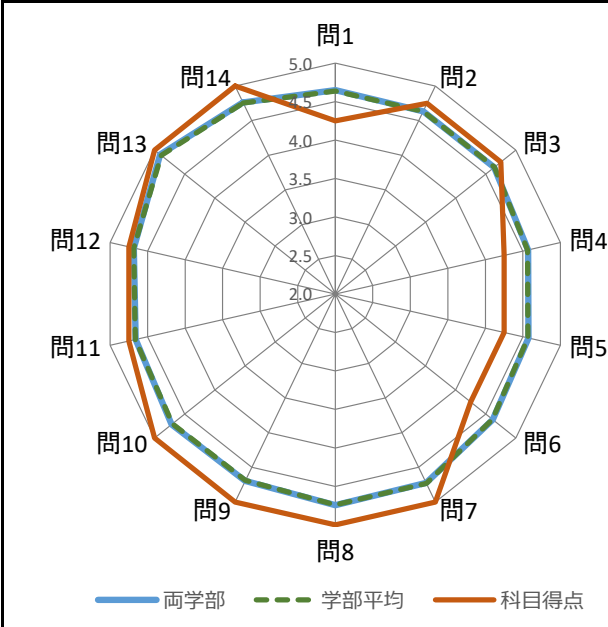
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	生物学 [1D1200]		履修者数	5	回答率	
教員名	新井 健太		紙	4	80.0%	80.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。									

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

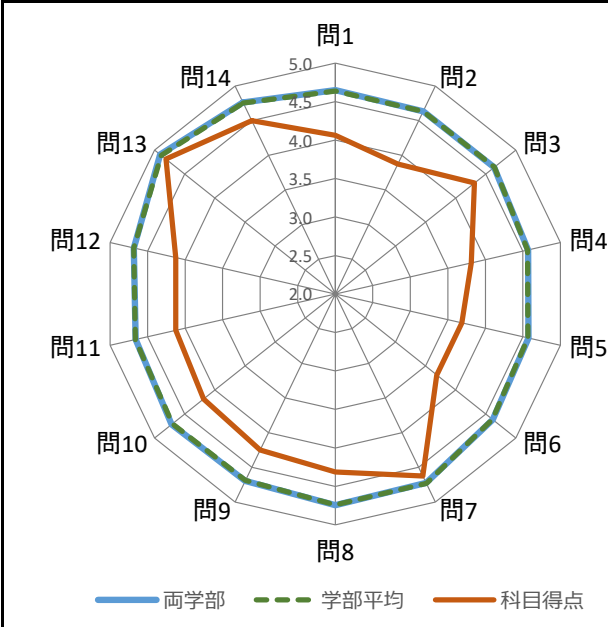
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	情報科学		[1E0201]	履修者数	22	回答率	
教員名	佐久間 貴士			紙	16	72.7%	72.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7	5	3	1			4.06	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7	4	3	2			3.88	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	8	5	3				4.31	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	3	3	2	1		3.81	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6	4	3	1	2		3.69	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	6	3	4	2	1		3.69	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	12	2	2				4.63	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	9	4	2	1			4.31	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	8	5	2	1			4.25	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	8	4	3	1			4.19	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	8	4	2	2			4.13	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7	4	5				4.13	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	14	1	1				4.81	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	3	1	1			4.50	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.17	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

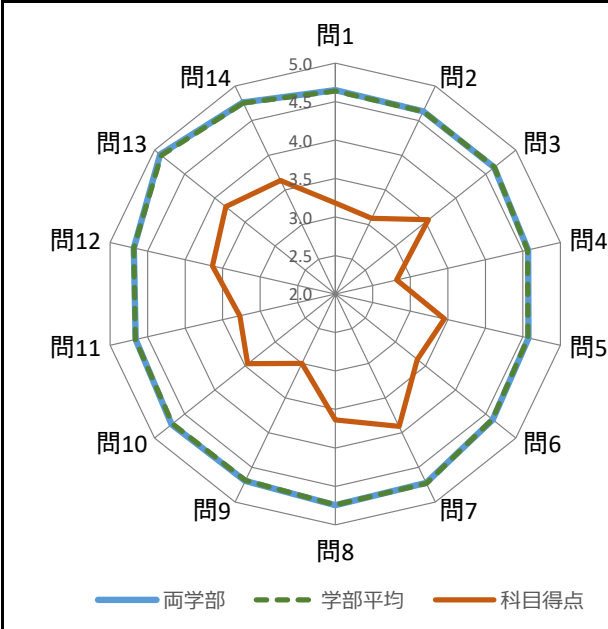
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	情報科学		[1E0202]	履修者数	11	回答率	
教員名	佐久間 貴士			紙	11	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	1	2	1	3		3.18	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4	1	2	4			3.09	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	1	1	3			3.55	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	4	1	2	4			2.82	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5	1	2	3			3.45	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	4	2	2	3			3.36	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	8			3			3.91	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	3	3				3.64	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	4	2	2	3			3.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	5	2	1	3			3.45	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5	2	1	3			3.27	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	3	3				3.64	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	7	1	3				3.82	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	3	3				3.64	4.76	4.76
問1~14全問平均								3.42	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

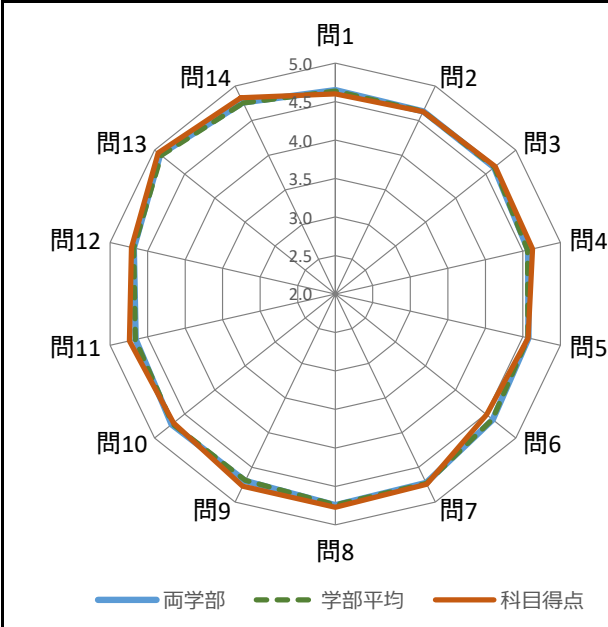
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	英語R1ー2		[1F0301]	履修者数	38	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	35	92.1%	92.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.60	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.63	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.66	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.63	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.57	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.51	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.74	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.77	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.77	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.69	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.74	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.71	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.94	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.83	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.70	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

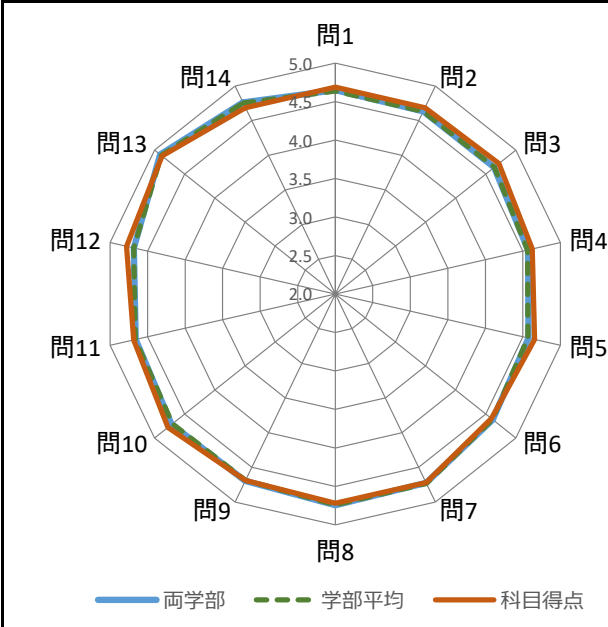
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	英語R1－2		[1F0302]	履修者数	37	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	32	86.5%	86.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.69	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.69	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.72	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.63	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.66	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.59	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.72	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.72	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.69	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.78	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.69	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.78	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							4.88	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.69	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.71	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

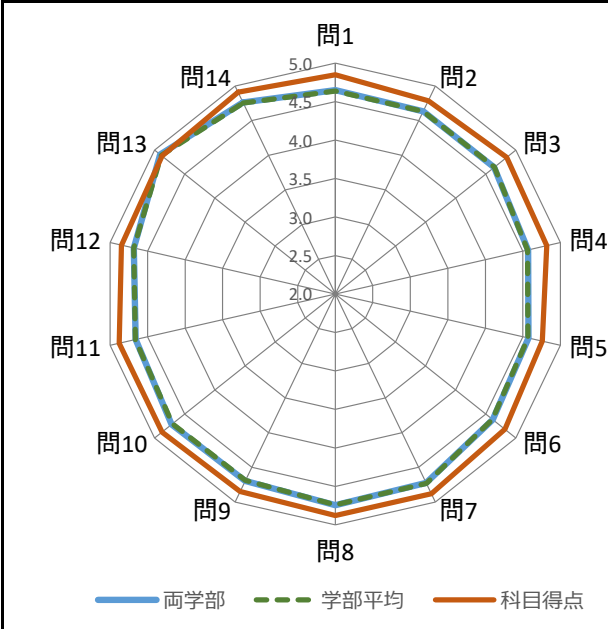
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語R1ー2		[1F0303]	履修者数	39	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	33	84.6%	84.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.85	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.79	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.85	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.82	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.76	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.82	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.88	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.85	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.88	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.85	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							4.88	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.91	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.85	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

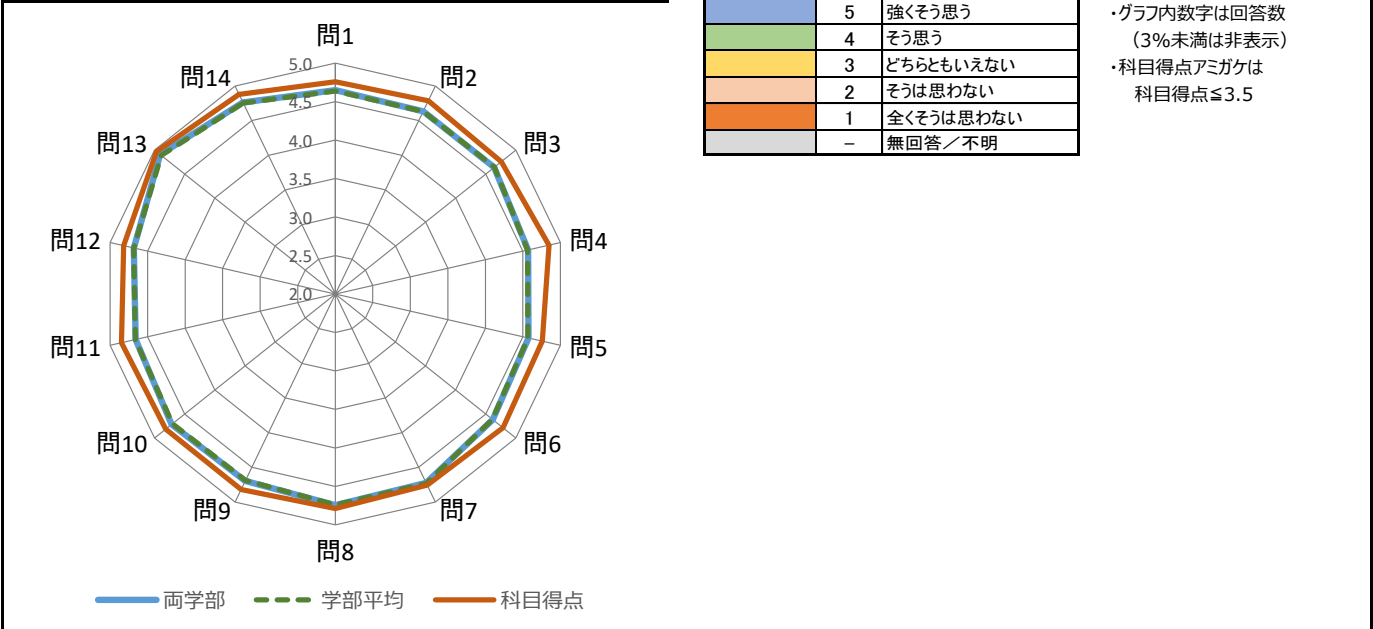
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R1－2		[1F0304]	履修者数	37	回答率	
教員名	川崎 修一			紙	33	89.2%	89.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

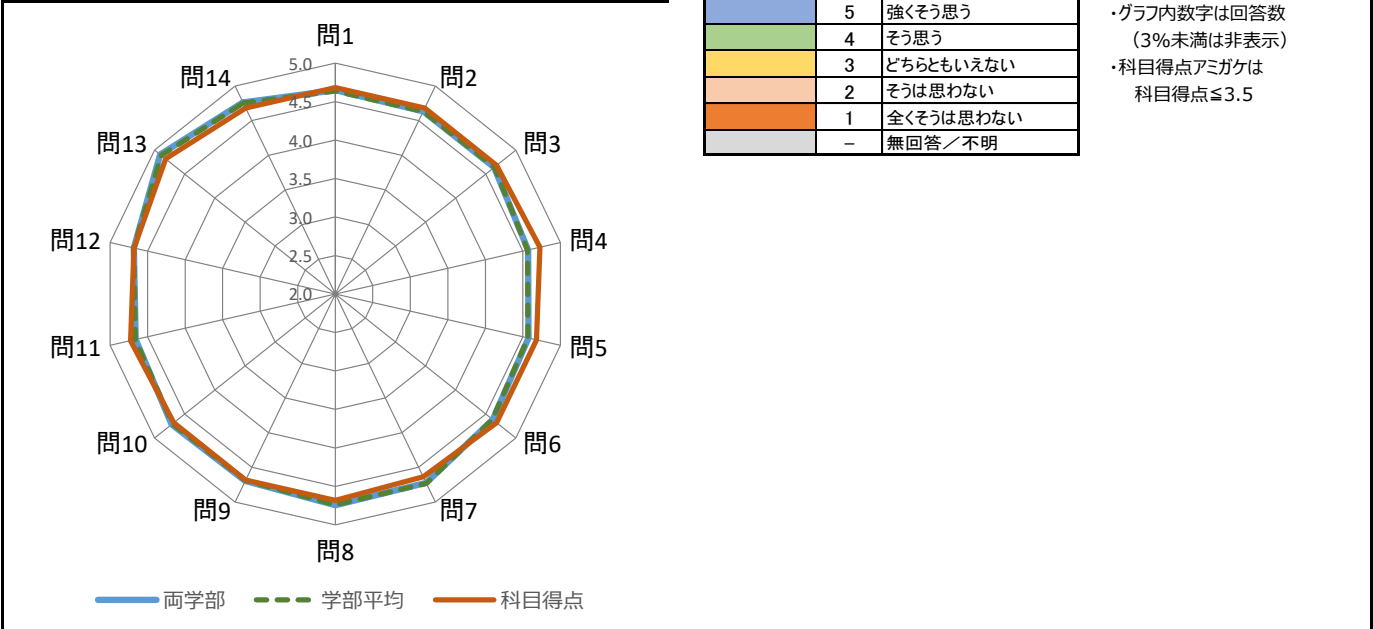


科目名	英語W1ー2		[1F0501]	履修者数	26	回答率	
教員名	James Stokes			紙	22	84.6%	84.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.68	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.68	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.68	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.73	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.68	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.68	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.64	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.68	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.68	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.68	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.73	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.68	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							4.82	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.69	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



授業改善アンケート【講義】科目別集計

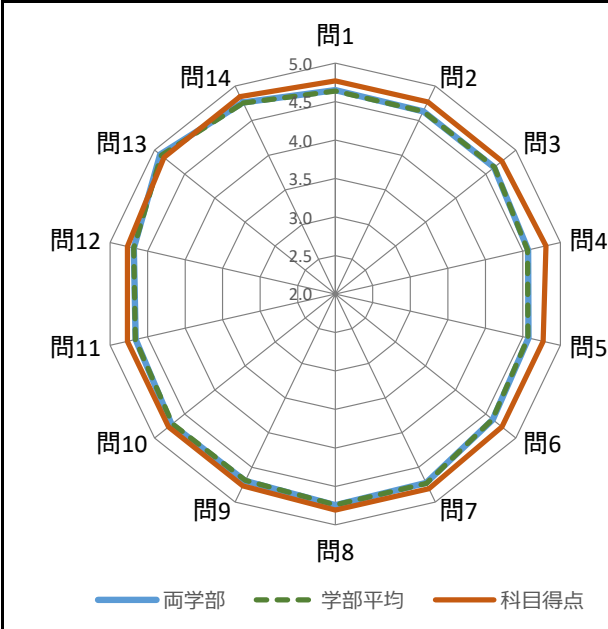
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	英語W1－2		[1F0502]	履修者数	29	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	26	89.7%	89.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			20			6	4.77	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			20			6	4.77	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			20			6	4.77	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			21			5	4.81	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			20			6	4.77	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			20			6	4.77	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexta：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			21			5	4.81	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			21			5	4.81	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexta：授業の構成及び内容量は適切だった。			20			6	4.77	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			20			6	4.77	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexta：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			20			6	4.77	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			20			6	4.77	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			22			4	4.85	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			22			4	4.85	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.79	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

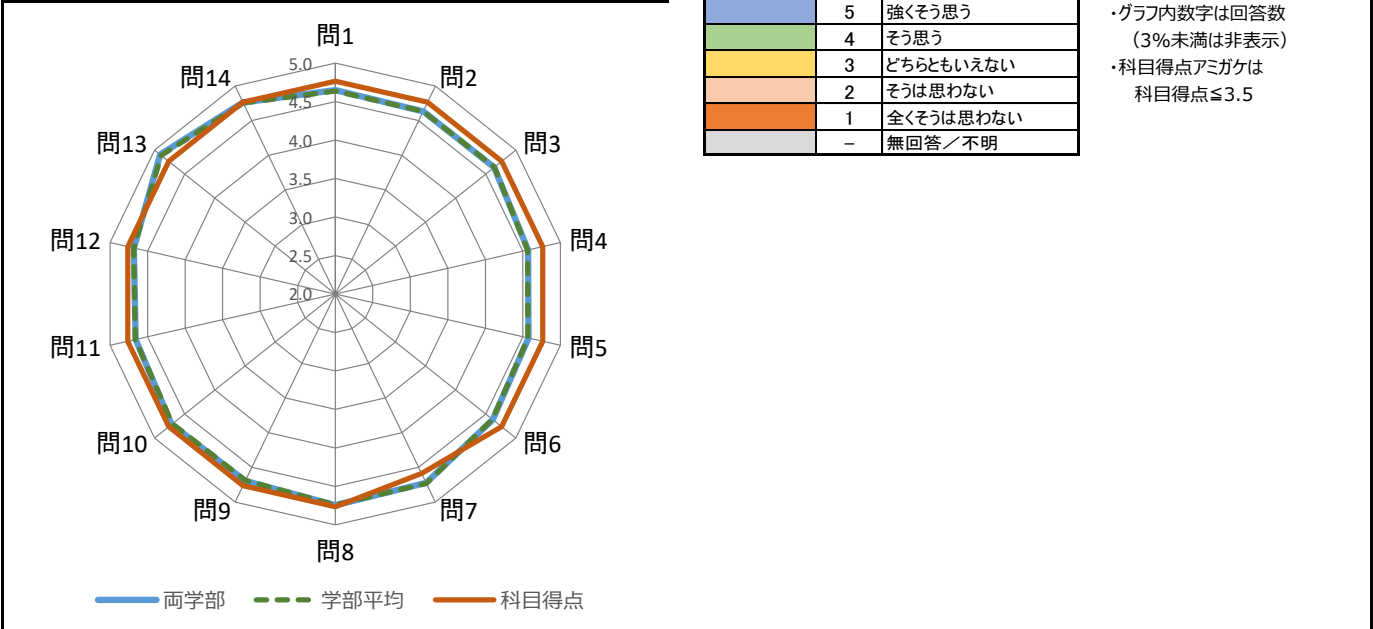
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語W1－2		[1F0503]	履修者数	19	回答率	
教員名	James Stokes			紙	17	89.5%	89.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			13		4		4.76	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			13		4		4.76	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			13		4		4.76	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			13		4		4.76	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			13		4		4.76	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			13		4		4.76	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			12	3	2		4.59	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			13		4		4.76	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			13		4		4.76	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			13		4		4.76	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			13		4		4.76	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			13		4		4.76	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			13		4		4.76	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			13		4		4.76	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.75	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

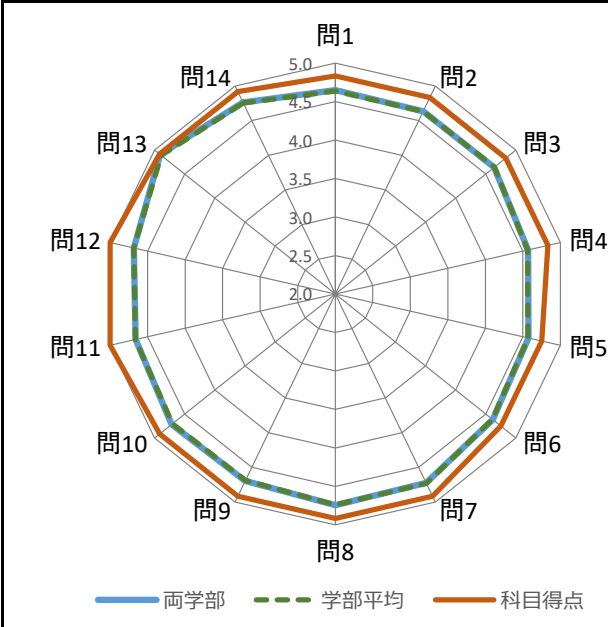


科目名	英語W1－2		[1F0504]	履修者数	14	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	12	85.7%	85.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			10			2	4.83	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			10			2	4.83	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			10			2	4.83	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			10			2	4.83	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			10		1	1	4.75	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			10		1	1	4.75	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			11			1	4.92	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			11			1	4.92	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			11			1	4.92	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			11			1	4.92	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			12				5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			12				5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			11			1	4.92	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			11			1	4.92	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.88	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

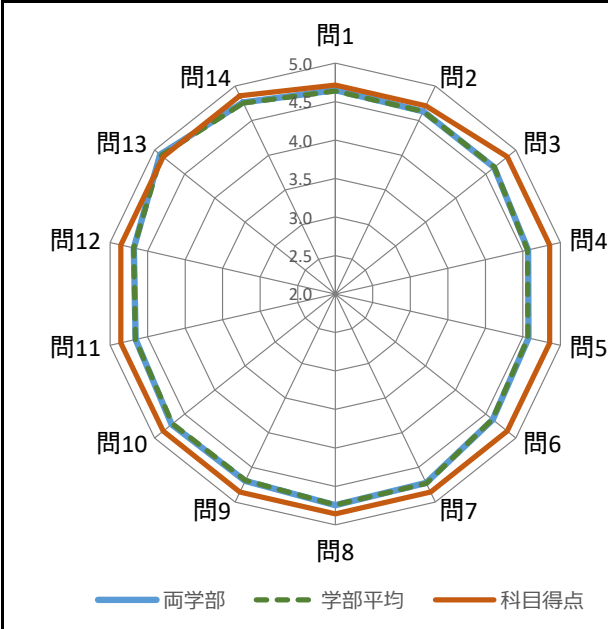
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語LS1-2		[1F0701]	履修者数	7	回答率	
教員名	Benjamin Tutchter			紙	7	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。									

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

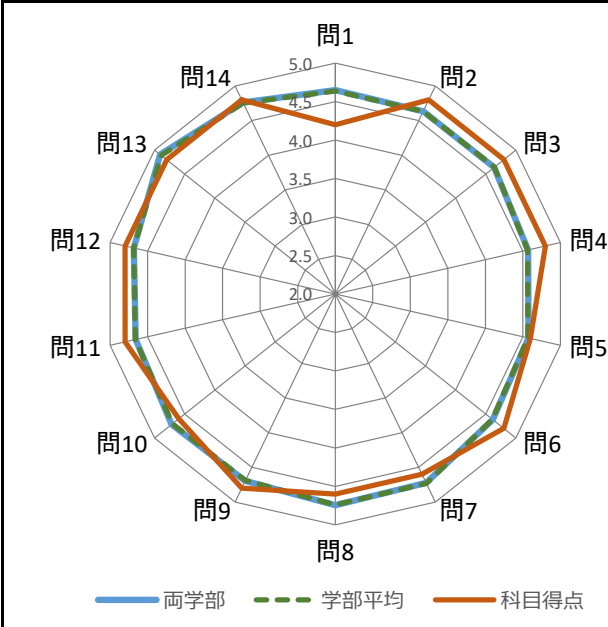
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	英語LS1-2		[1F0702]	履修者数	5	回答率	
教員名	James Stokes			紙	5	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3			2			4.20	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4			1			4.80	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	4			1			4.80	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	4			1			4.80	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4			1			4.60	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	4			1			4.80	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4			1			4.60	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	3		2				4.60	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	4			1			4.80	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	3		2				4.60	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4			1			4.80	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4			1			4.80	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	4			1			4.80	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4			1			4.80	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.70	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

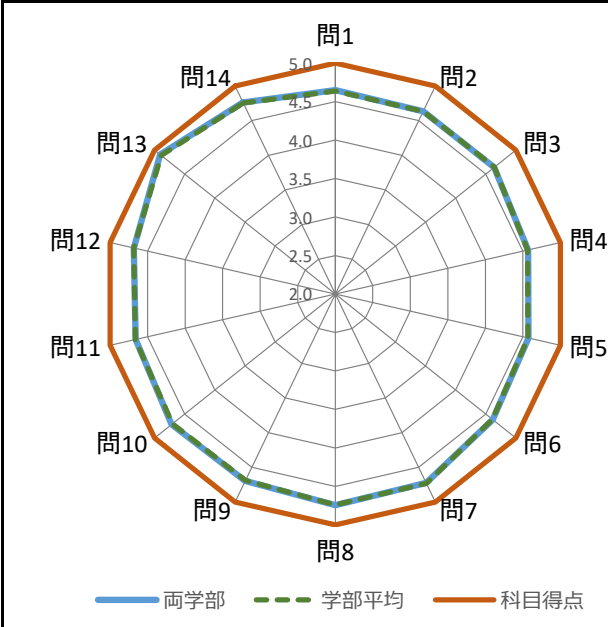
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS1-2		[1F0703]	履修者数	10	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	10	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10						5.00	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10						5.00	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	10						5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	10						5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10						5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	10						5.00	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	10						5.00	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	10						5.00	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	10						5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	10						5.00	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10						5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	10						5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	10						5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10						5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

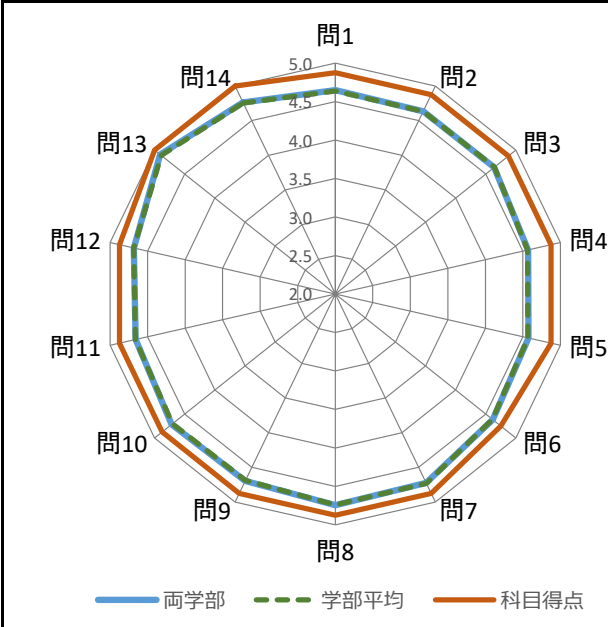
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語LS1-2		[1F0704]	履修者数	9	回答率	
教員名	Benjamin Tutchter			紙	8	88.9%	88.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			7			1	4.88	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			7			1	4.88	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			7			1	4.88	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			7			1	4.88	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			7			1	4.88	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			7			1	4.75	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			7			1	4.88	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			7			1	4.88	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			7			1	4.88	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			7			1	4.88	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			7			1	4.88	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			7			1	4.88	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			8				5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			8				5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.88	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

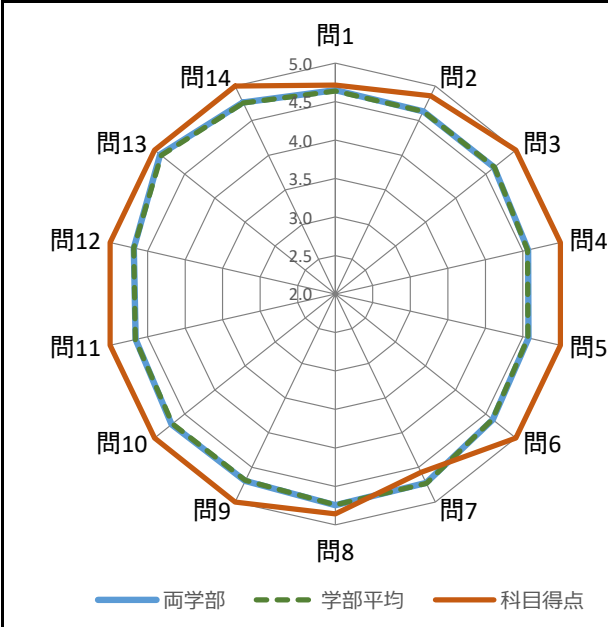
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	英語LS1-2		[1F0705]	履修者数	7	回答率	
教員名	James Stokes			紙	7	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.86	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							5.00	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.57	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.86	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.93	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

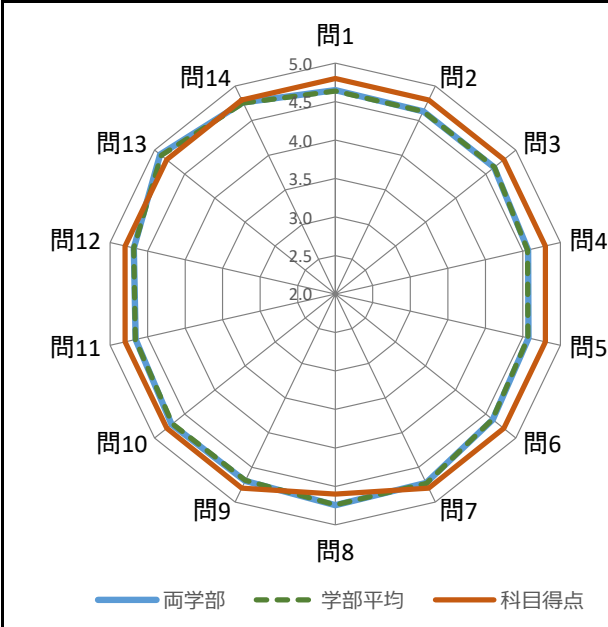
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語LS1-2		[1F0706]	履修者数	5	回答率	
教員名	Michelle van Bokhorst			紙	5	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			4			1	4.80	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			4			1	4.80	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			4			1	4.80	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			4			1	4.80	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			4			1	4.80	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			4			1	4.80	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			4			1	4.80	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			3			2	4.60	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			4			1	4.80	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			4			1	4.80	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			4			1	4.80	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			4			1	4.80	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			4			1	4.80	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			4			1	4.80	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.79	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

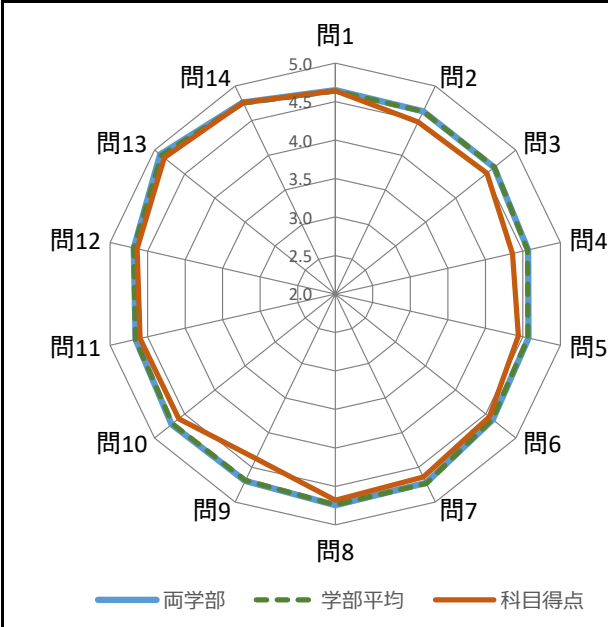
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語R2-2		[1F0901]	履修者数	35	回答率	
教員名	斎 孝則			紙	25	71.4%	71.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	17	7	1				4.64	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	16	7	1	1			4.48	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	16	7	1	1			4.52	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	15	7	3				4.36	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	17	5	3				4.44	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	16	7	2				4.56	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	17	7	1				4.64	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	18	6	1				4.68	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	14	7	1	2	1		4.38	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	17	7	1				4.60	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	16	8	1				4.60	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	17	7	1				4.64	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	21	4					4.84	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	6					4.76	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.58	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

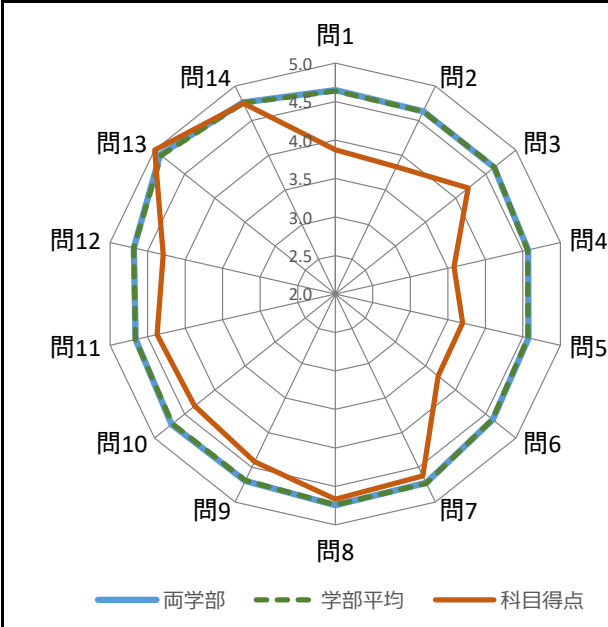
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R2-2		[1F0902]	履修者数	33	回答率	
教員名	久木田 直江			紙	24	72.7%	72.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11	5	2	6			3.88	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11	2	8	2	1		3.83	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	12	6	5	1			4.21	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	10	1	7	5	1		3.58	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	11	1	5	5	1	1	3.70	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	11	1	7	4	1		3.71	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	18	3	3				4.63	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	19	2	3				4.67	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	16	3	4	1			4.42	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	15	3	5	1			4.33	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15	3	6				4.38	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	15	2	6	1			4.29	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	24						5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	4	1				4.75	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.24	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

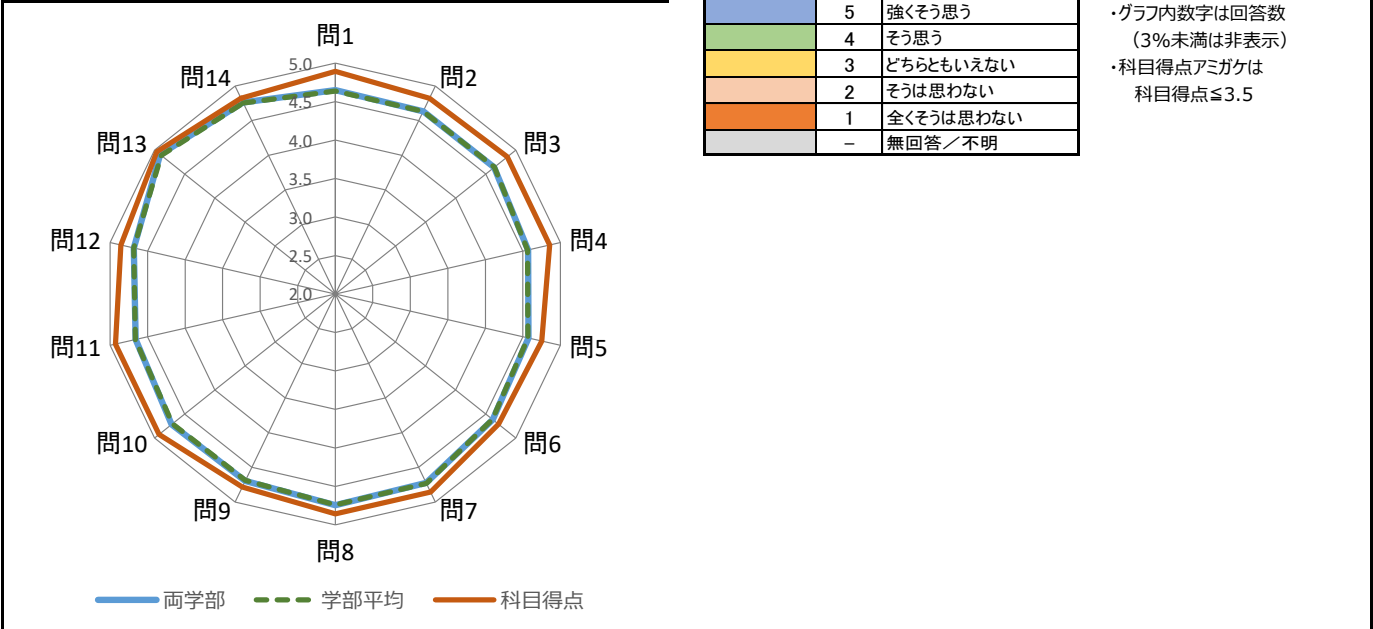
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語R2－2		[1F0903]	履修者数	40	回答率	
教員名	斎 孝則			紙	28	70.0%	70.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.89	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.82	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.86	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.86	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.75	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.71	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.86	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.86	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.79	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.93	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.93	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.86	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							4.96	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.82	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.85	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

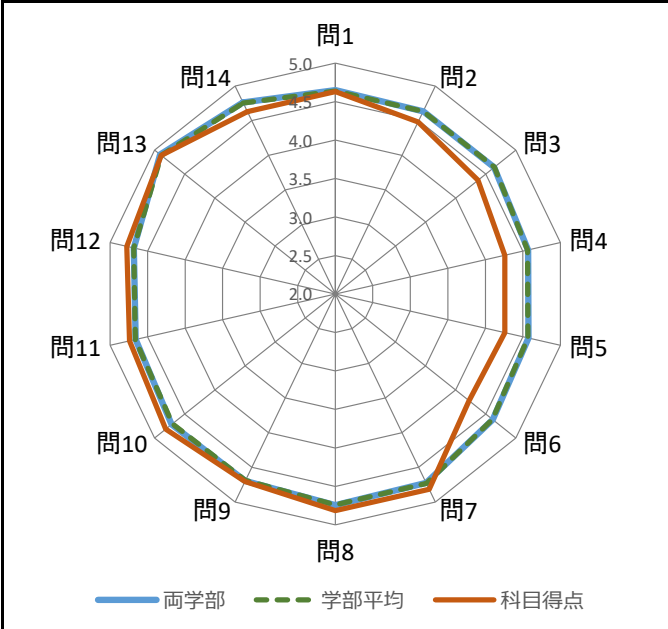


科目名	英語R2-2		[1F0904]	履修者数	39	回答率	
教員名	久木田 直江			紙	27	69.2%	69.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.63	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.48	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.37	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.26	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.26	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.22	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.81	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.81	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.70	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.81	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.74	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.78	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.89	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.63	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.60	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

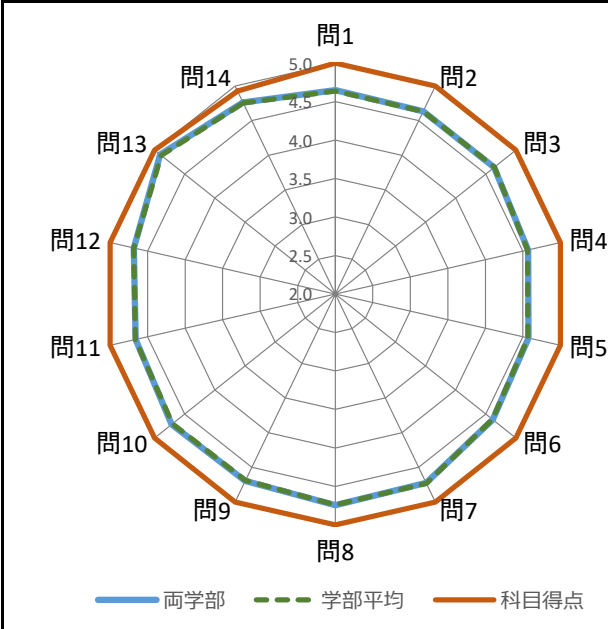
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	英語W2ー2		[1F1100]	履修者数	18	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	14	77.8%	77.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	14						5.00	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14						5.00	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	14						5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	14						5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	14						5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	14						5.00	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	14						5.00	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	14						5.00	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	14						5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	14						5.00	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	14						5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	14						5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	14						5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13					1	4.93	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.99	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

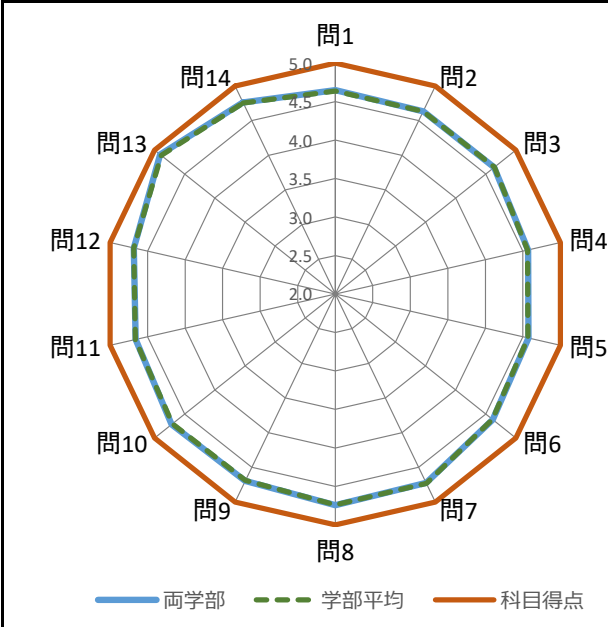
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	英語W2-2		[1F1103]	履修者数	13	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	11	84.6%	84.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						11	5.00	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						11	5.00	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。						11	5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。						11	5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。						11	5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。						11	5.00	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						11	5.00	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。						11	5.00	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。						11	5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。						11	5.00	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						11	5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。						11	5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。						11	5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						11	5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

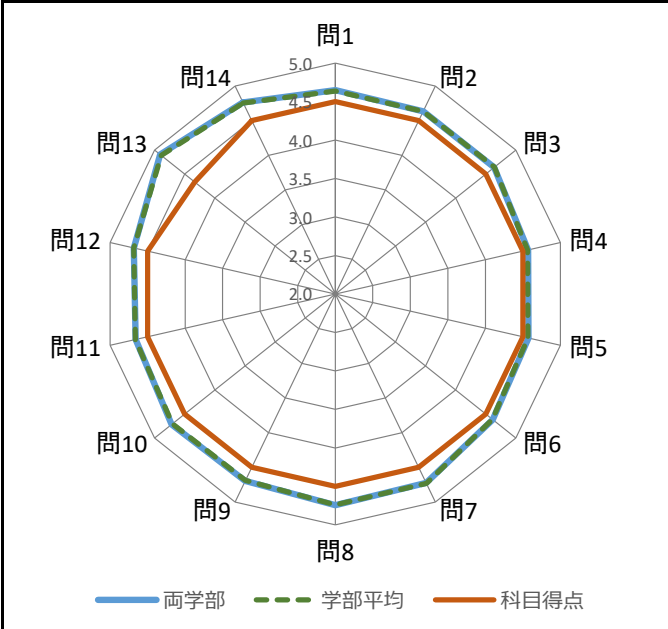
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	英語文献を読むⅡ		[1F1500]	履修者数	6	回答率	
教員名	遠藤 花子			紙	6	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.50	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.50	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.50	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.50	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.50	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.50	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.50	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.50	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.50	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.50	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.50	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.50	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.33	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.50	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.49	4.68	4.68

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

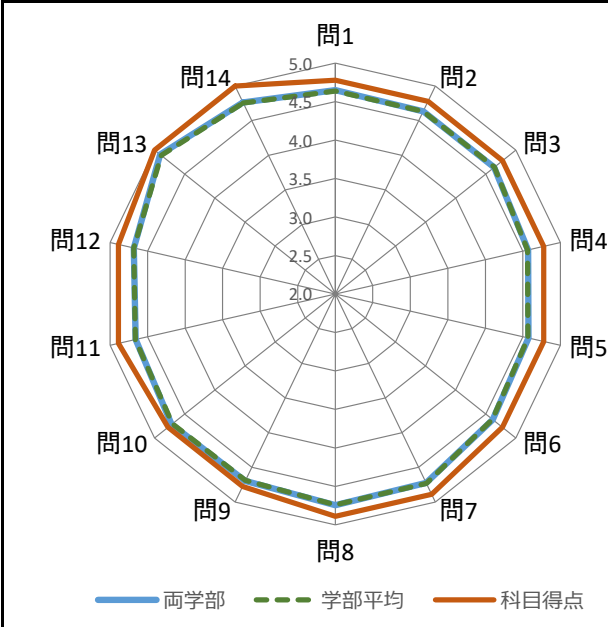
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	フランス語		[1F3001]	履修者数	9	回答率	
教員名	西村 友樹雄			紙	9	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			7		2		4.78	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			7		2		4.78	4.63	4.63
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。			7		2		4.78	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			7		2		4.78	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			7		2		4.78	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			7		2		4.78	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			8		1		4.89	4.73	4.72
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。			8		1		4.89	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。			7		2		4.78	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			7		2		4.78	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			8		1		4.89	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			8		1		4.89	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。			9				5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			9				5.00	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.84	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

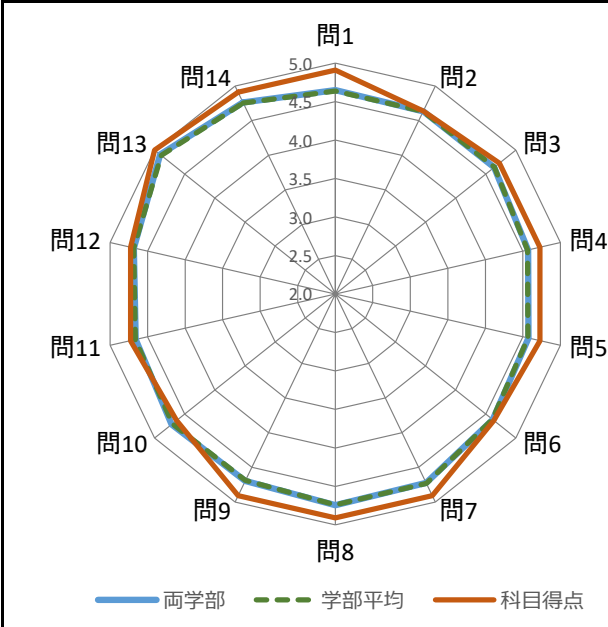
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	フランス語		[1F3002]	履修者数	12	回答率	
教員名	西村 友樹雄			紙	11	91.7%	91.7%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10						1	4.91	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8						2 1	4.64	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	8						3	4.73	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	8						3	4.73	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8						3	4.73	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	8						2 1	4.64	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	10						1	4.91	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	10						1	4.91	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	10						1	4.91	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	8						2 1	4.64	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	9						1 1	4.73	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	9						1 1	4.73	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	11							5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10						1	4.91	4.76	4.76
問1~14全問平均									4.79	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

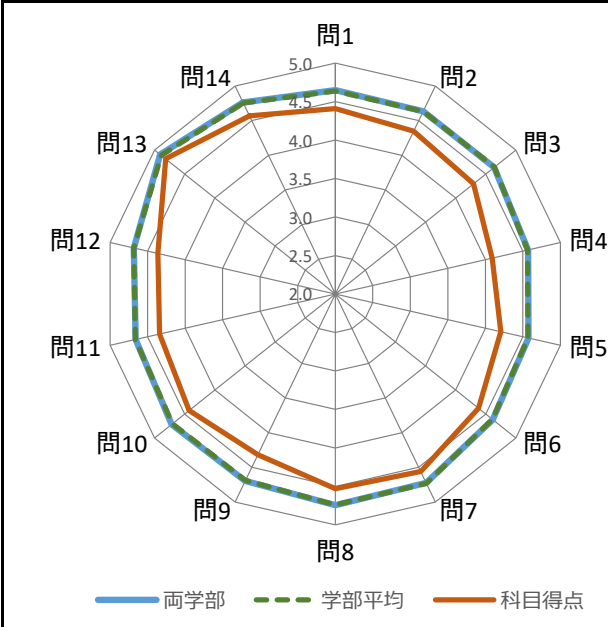
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	人体の構造と機能Ⅲ		[1H0300]	履修者数	150	回答率	
教員名	大崎 敬子			紙	132	88.0%	88.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	63	60	9				4.41	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	59	61	11				4.35	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	57	57	18				4.30	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	47	53	29				4.09	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	58	45	26				4.21	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	64	53	14				4.38	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	81	44	7				4.56	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	77	48	7				4.53	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	63	50	17				4.32	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	69	49	13				4.43	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	65	47	20				4.34	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	66	48	18				4.36	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	111	18					4.82	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	83	41	8				4.57	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.40	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

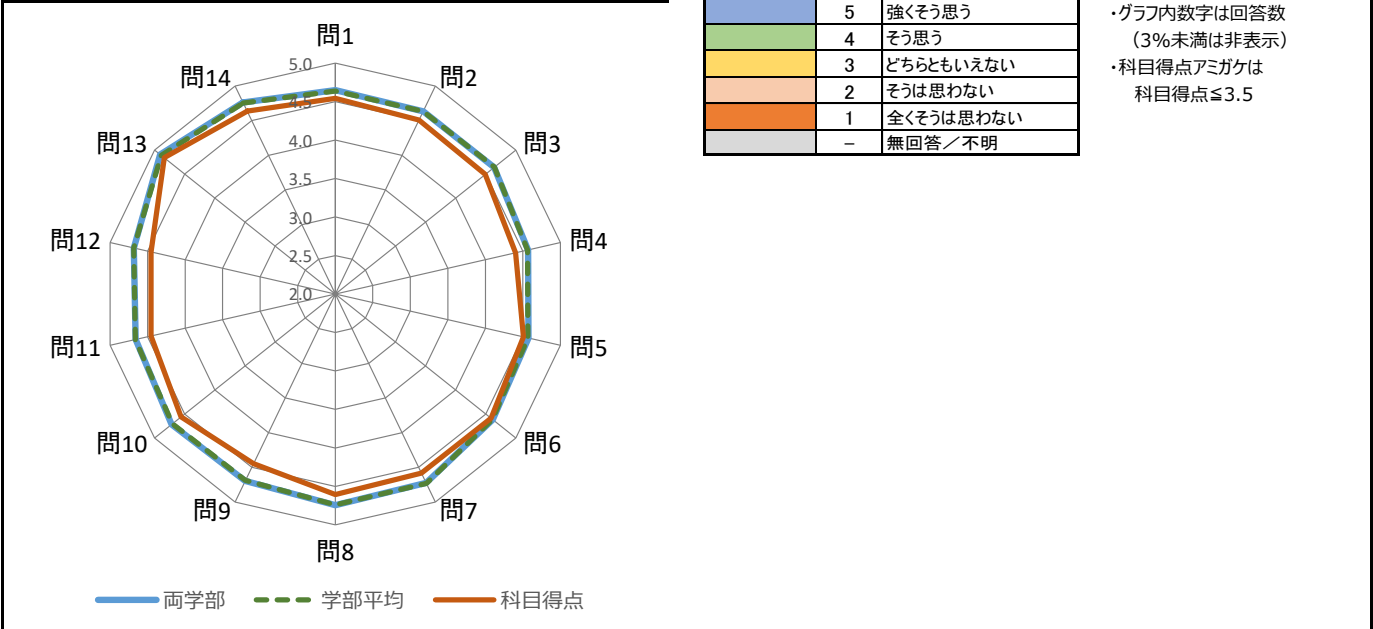
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I		[1H0400]	履修者数	155	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	132	85.2%	85.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	72				58		4.54	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	69				61		4.51	4.63	4.63
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	69				59	4	4.49	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	62				61	9	4.40	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	75				49	8	4.51	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	80				50		4.59	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	82				46		4.58	4.73	4.72
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	82				48		4.61	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	70				54	5	4.45	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	79				48	5	4.56	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	73				46	13	4.45	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	71				50	11	4.45	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	111				21		4.84	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	86				44		4.64	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.54	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

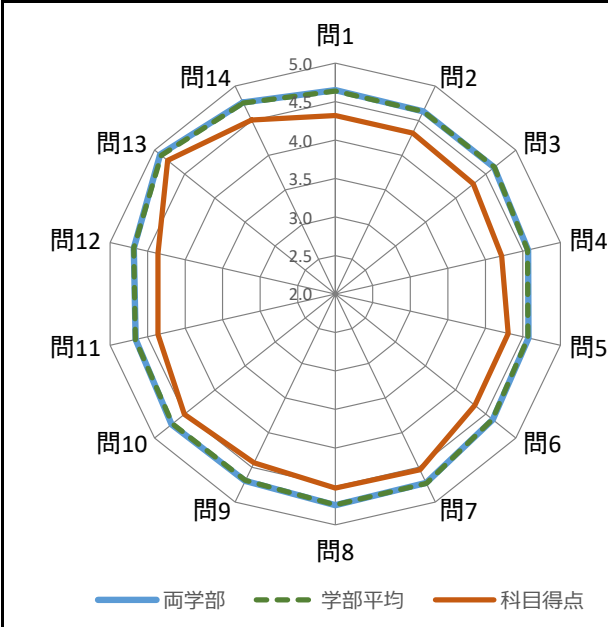


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ		[1H0501]	履修者数	78	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	69	88.5%	88.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	26	39	4				4.32	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	27	37	5				4.32	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	29	32	5				4.29	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	26	33	9				4.22	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	30	31	7				4.30	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	31	31	6				4.32	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	42	23	3				4.54	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	40	25	4				4.52	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	36	27	6				4.43	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	38	28	3				4.51	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	30	34	5				4.36	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	30	34	5				4.36	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	55	13					4.78	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	39	26	4				4.51	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.41	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

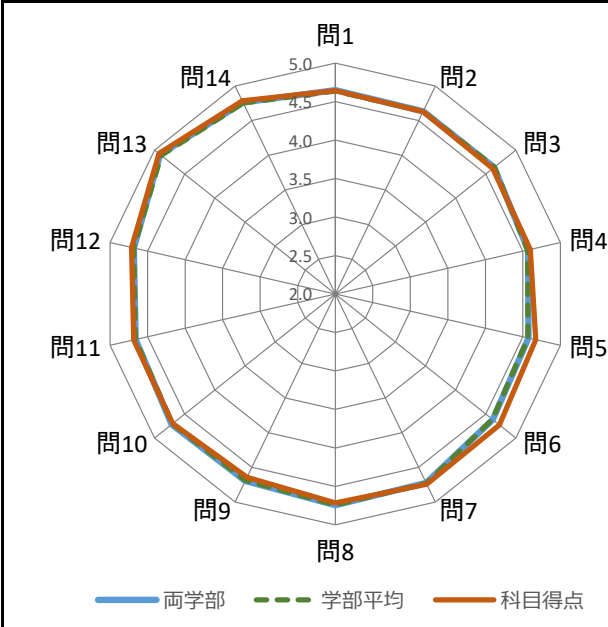
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ		[1H0502]	履修者数	79	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	70	88.6%	88.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.64	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.63	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.61	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.60	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.67	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.73	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.74	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.71	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.64	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.70	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.69	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.71	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。							4.93	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.79	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.70	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

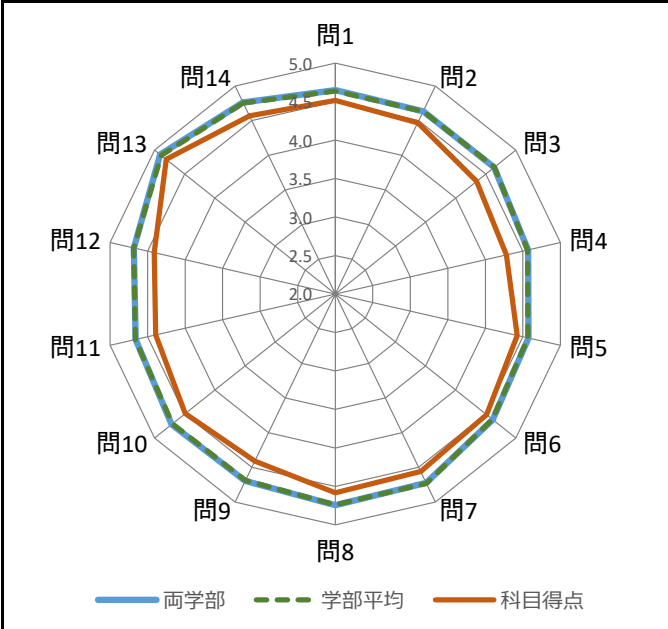
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ		[1H0600]	履修者数	156	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	132	84.6%	84.6%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.52	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。								4.47	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。								4.35	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。								4.28	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。								4.42	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。								4.52	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。								4.56	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。								4.58	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。								4.41	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.49	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。								4.39	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。								4.41	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。								4.81	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。								4.57	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.48	4.68	4.68	

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

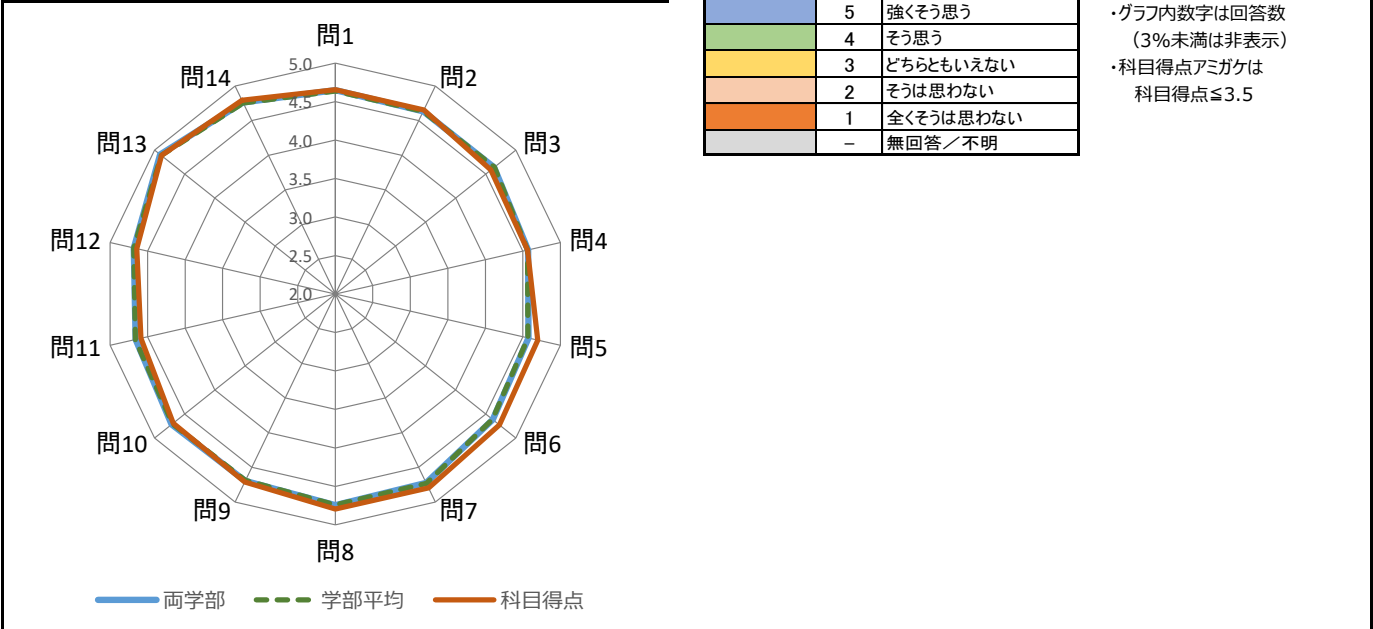
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ		[1H0700]	履修者数	134	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	107	79.9%	79.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.65	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.65	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.58	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.56	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.70	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.73	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.79	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.79	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.71	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.69	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.59	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.64	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.89	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.79	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.70	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

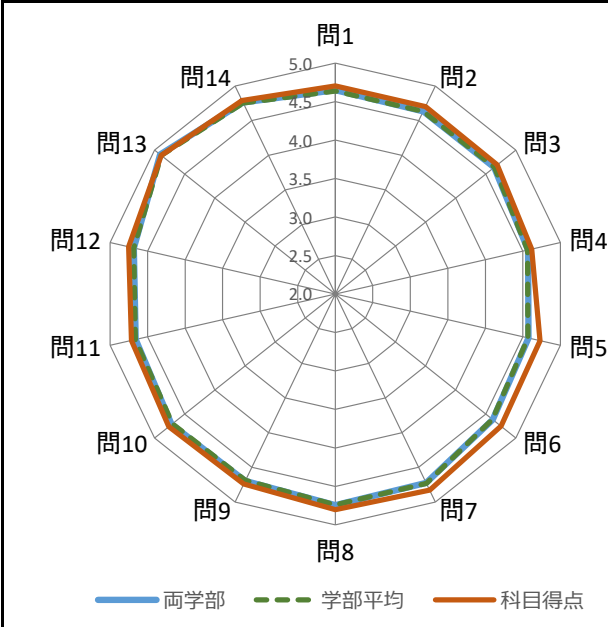


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 V		[1H0800]	履修者数	115	回答率	
教員名	井上 明宏			紙	81	70.4%	70.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.70	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.70	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.69	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.62	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.73	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.75	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.83	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.80	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.74	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.77	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.72	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.75	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.89	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.79	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.75	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

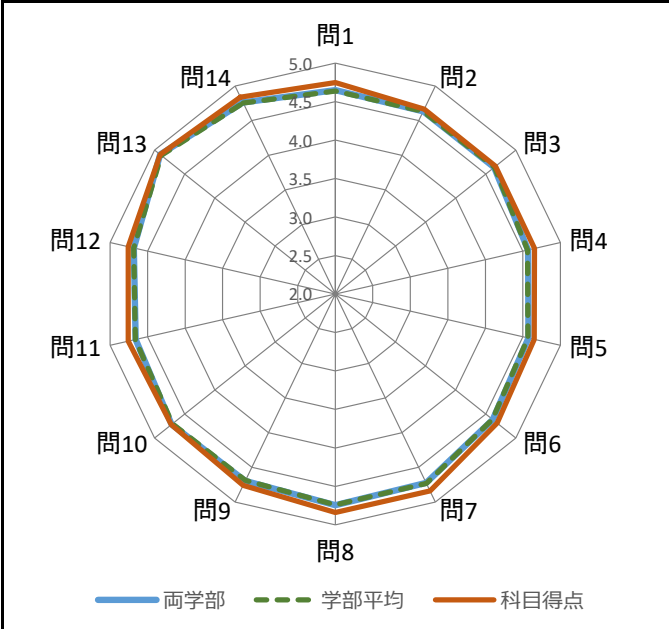
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	栄養学		[1H1300]	履修者数	144	回答率	
教員名	塩原 由香			紙	87	60.4%	60.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.75	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.67	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.66	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.66	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.65	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.69	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.84	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.84	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.76	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.72	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.76	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.76	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.91	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.84	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.75	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

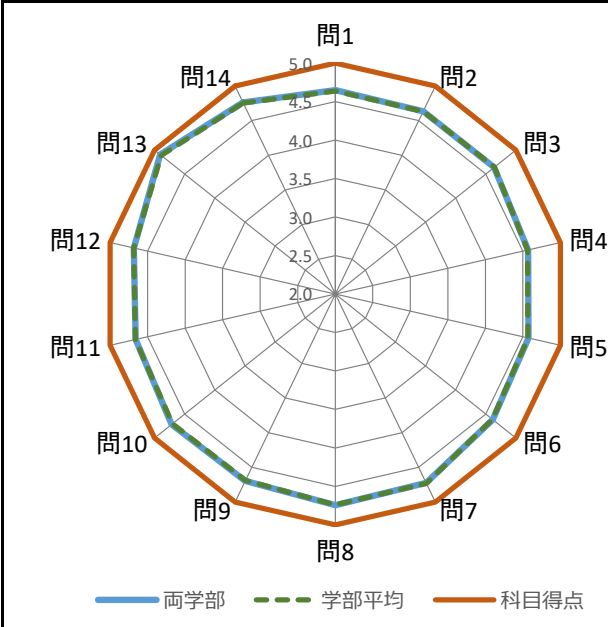
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	ラボラトリー・プラクティス [1H1400]		履修者数	19	回答率	
教員名	壺岐 聖子		紙	15	78.9%	78.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	15						5.00	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	15						5.00	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	15						5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	15						5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	15						5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	15						5.00	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	15						5.00	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	15						5.00	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	15						5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	15						5.00	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	15						5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	15						5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	15						5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15						5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

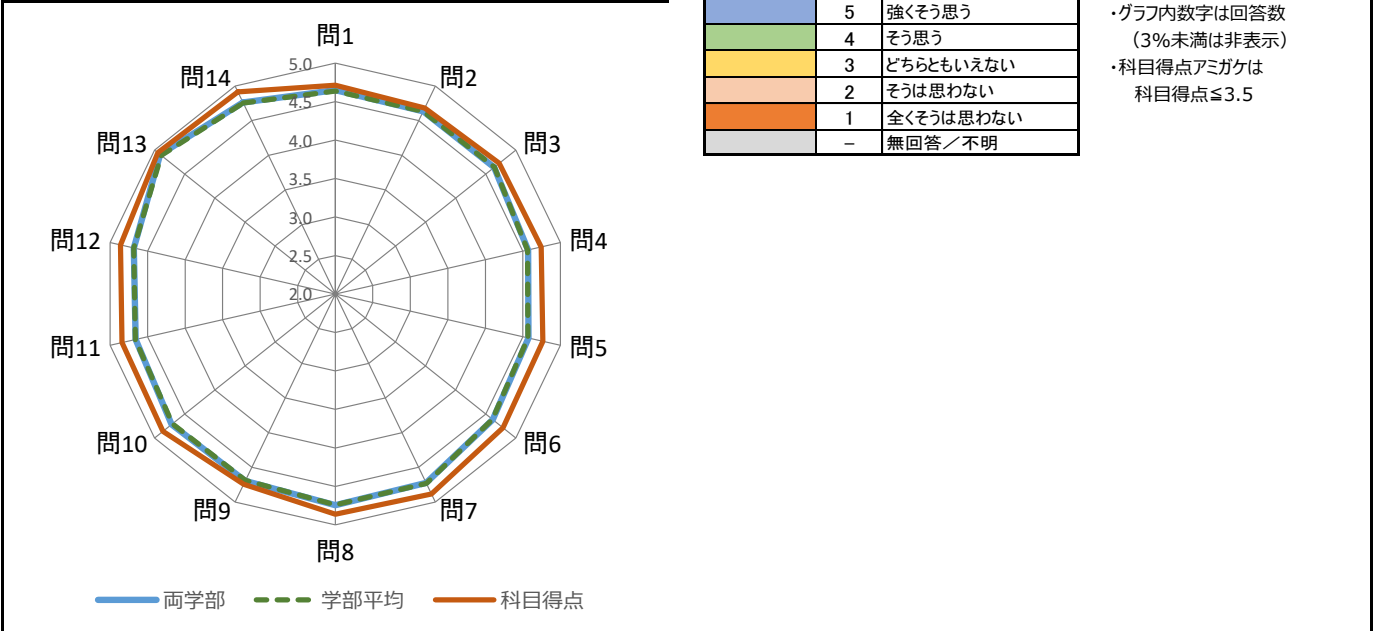
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	薬理学		[1H1500]	履修者数	144	回答率	
教員名	吉見 猛			紙	94	65.3%	65.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.68	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.72	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.74	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.77	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.79	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.86	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.74	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.86	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.84	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.86	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.95	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.91	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.81	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

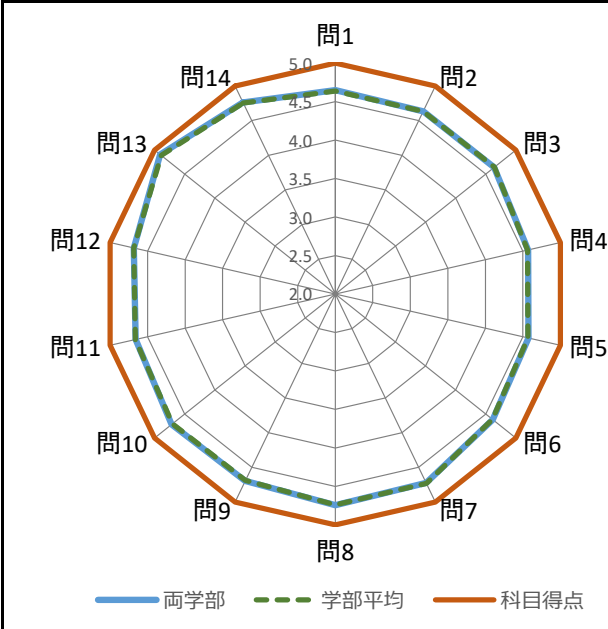


科目名	看護の歴史		[110400]	履修者数	3	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	3	100.0%	100.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			3				5.00	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			3				5.00	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			3				5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			3				5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			3				5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			3				5.00	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			3				5.00	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			3				5.00	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			3				5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			3				5.00	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			3				5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			3				5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			3				5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			3				5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								5.00	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

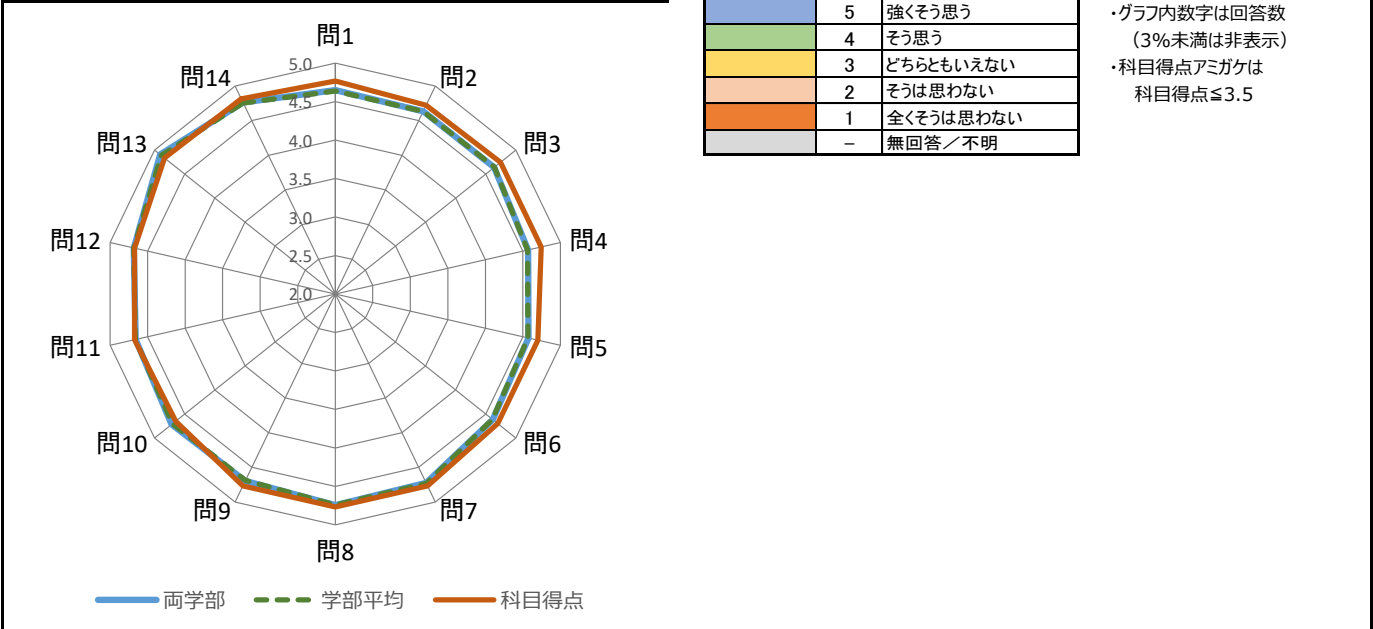
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	精神保健看護学・理論		[1L0301]	履修者数	69	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	43	62.3%	62.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.77	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.72	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.74	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.74	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.70	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.70	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.77	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.77	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.77	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.65	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.67	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.67	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.84	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.81	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.74	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

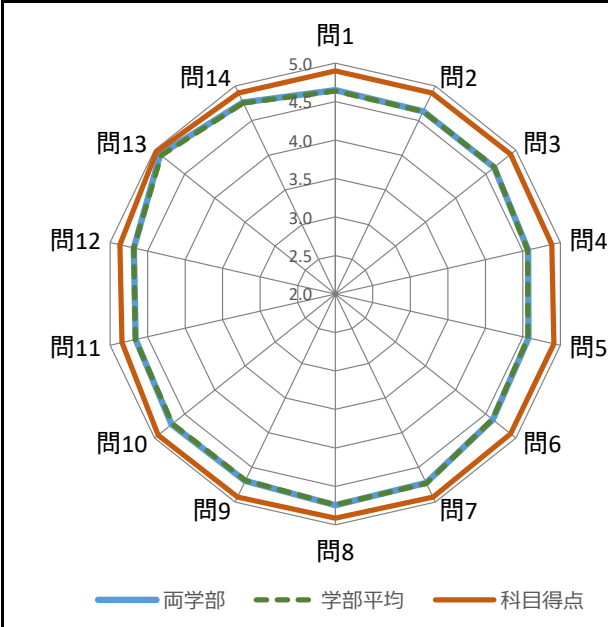


科目名	精神保健看護学・理論		[1L0302]	履修者数	80	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	69	86.3%	86.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	627						4.90	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	627						4.90	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	636						4.91	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	618						4.88	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	636						4.91	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	636						4.91	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	645						4.93	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	636						4.91	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	645						4.93	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	654						4.94	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	607						4.84	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	617						4.87	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	67						4.97	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	627						4.90	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.91	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

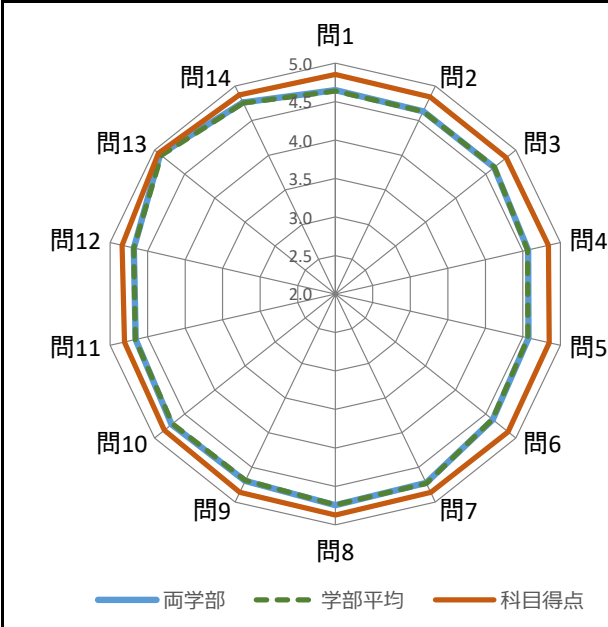
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	発達看護学Ⅰ①		[1M0300]	履修者数	132	回答率	
教員名	新田 真弓			紙	95	72.0%	72.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.85	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.84	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.84	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.84	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.85	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.87	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.86	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.87	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.86	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.84	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.81	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.84	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.94	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.87	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.86	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

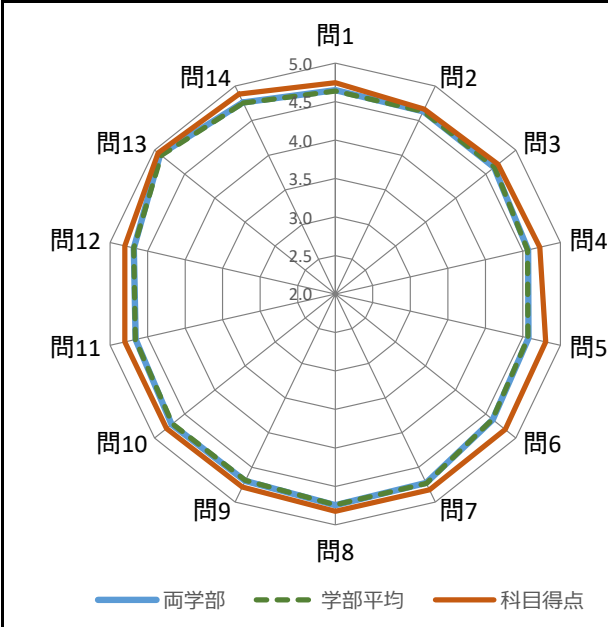
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	発達看護学Ⅱ①		[1M0501]	履修者数	67	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	51	76.1%	76.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			40		10		4.75	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			39		10		4.67	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。			38		12		4.71	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。			38		12		4.73	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。			41		10		4.80	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。			42		9		4.82	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			42		9		4.82	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。			42		9		4.82	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。			42		8		4.78	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。			41		10		4.80	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			42		8		4.80	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			42		8		4.80	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。			48		3		4.94	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			45		6		4.88	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.80	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

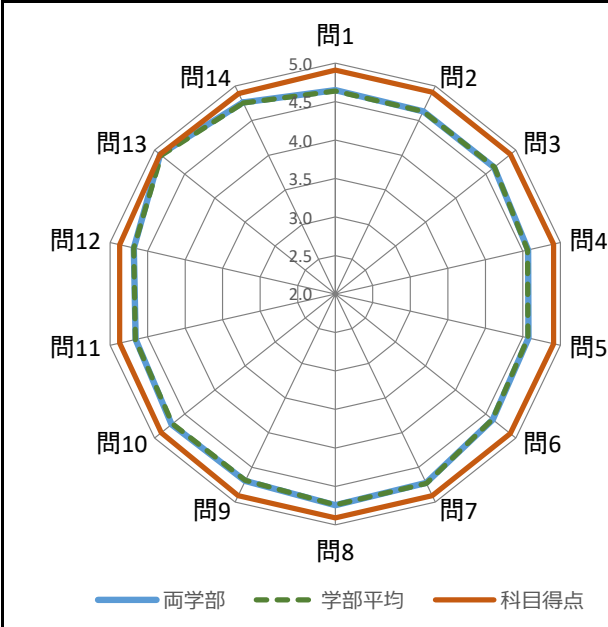
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ①		[1M0502]	履修者数	66	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	55	83.3%	83.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							50	5	4.91	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							50	5	4.91	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							50	5	4.91	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							50	5	4.91	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							50	5	4.91	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							50	5	4.91	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							50	5	4.91	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							50	5	4.91	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							50	5	4.91	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							49	6	4.89	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							49	5	4.87	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							49	5	4.87	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							50	5	4.91	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							48	6	4.89	4.76	4.76
問1～14全問平均										4.90	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

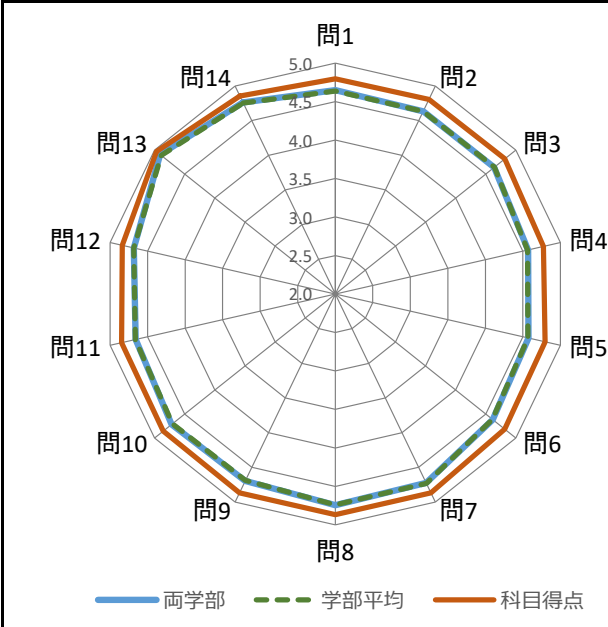
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	発達看護学Ⅲ①		[1M0700]	履修者数	132	回答率	
教員名	田中 孝美			紙	98	74.2%	74.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	7820						4.80	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7919						4.81	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	8018						4.82	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	7819						4.78	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8017						4.80	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	8116						4.82	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	8513						4.87	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	8513						4.87	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	8513						4.87	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	8414						4.86	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	8413						4.85	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8412						4.84	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	943						4.97	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8314						4.86	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.84	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

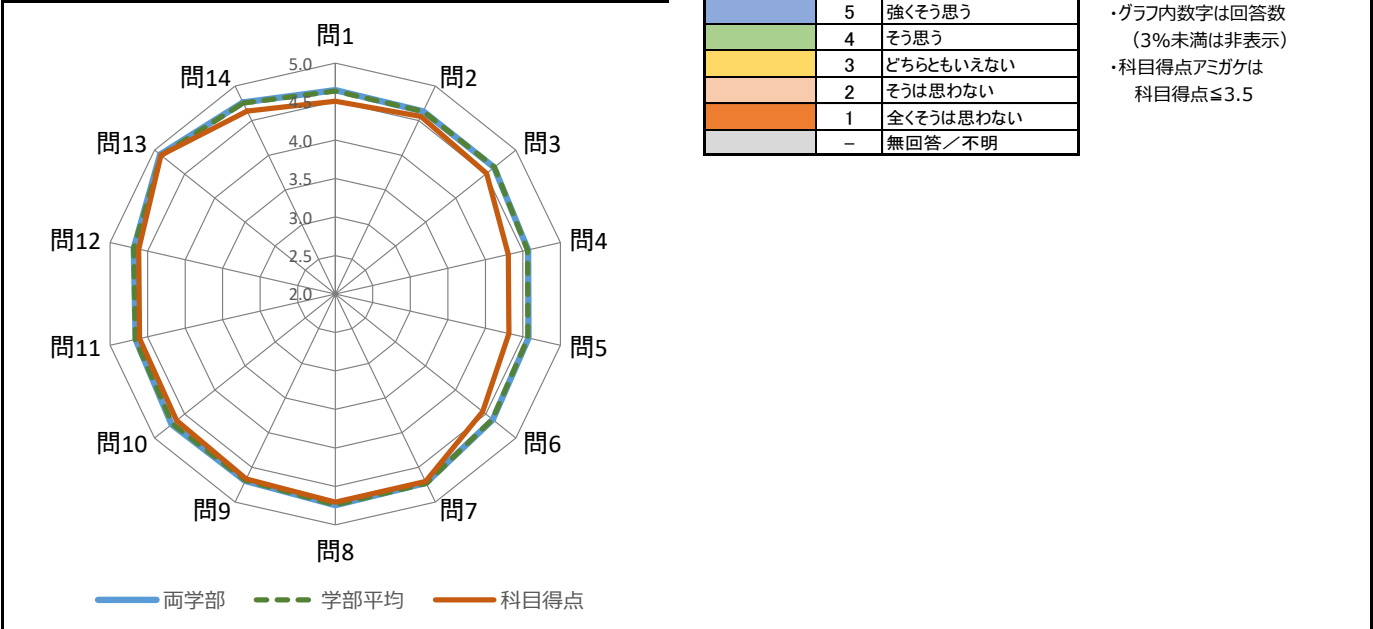
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	プライマリーヘルスケア		[1N0100]	履修者数	145	回答率	
教員名	井口 理			紙	105	72.4%	72.4%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.50	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.56	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.51	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.30	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.31	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.45	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.70	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.70	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.67	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.64	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.61	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.62	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.90	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.64	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.58	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

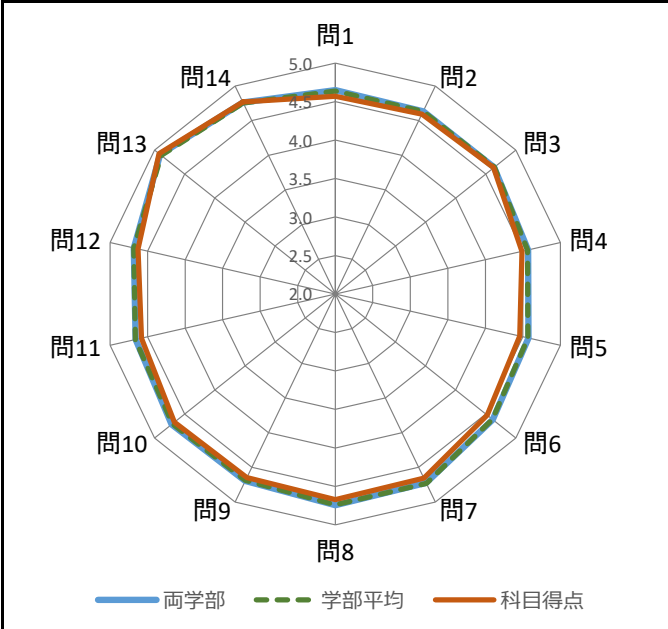


科目名	地域看護学		[100100]	履修者数	165	回答率	
教員名	石田 千絵			紙	123	74.5%	74.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.57	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.59	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.63	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.49	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.46	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.52	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.66	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.67	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.65	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.67	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.58	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.63	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.93	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.77	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.63	4.68	4.68

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

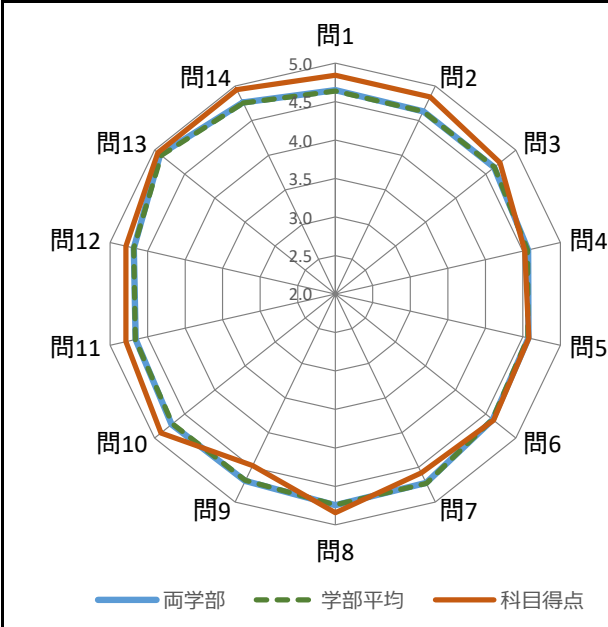
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	公衆衛生看護活動論 [100200]		履修者数	32	回答率	
教員名	吉川 悦子		紙	19	59.4%	59.4%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	163						4.84	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	163						4.84	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	1621						4.74	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	13411						4.53	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	14311						4.58	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	1441						4.63	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	14311						4.58	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	163						4.84	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	14221						4.47	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	172						4.89	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1621						4.79	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1621						4.79	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	181						4.95	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	181						4.95	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.74	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

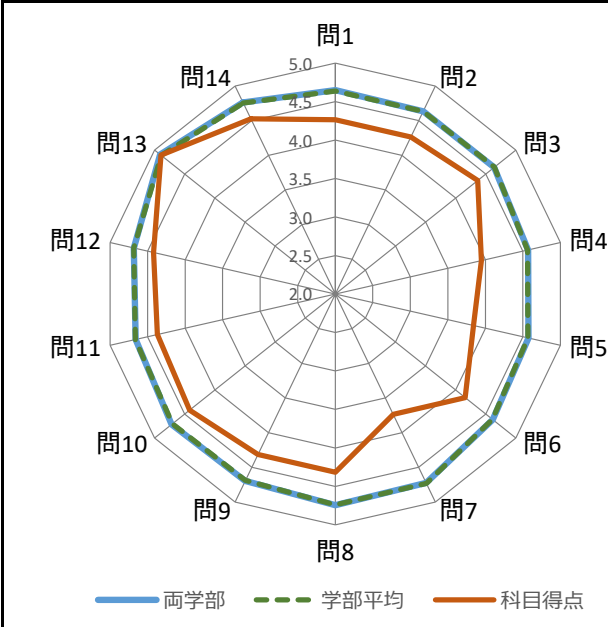
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	保健福祉行政論		[100303]	履修者数	20	回答率	
教員名	渡邊 洋子			紙	19	95.0%	95.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8	8	3				4.26	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9	7	2	1			4.26	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	8	10	1				4.37	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	6	8	3	2			3.95	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	6	8	2	2	1		3.84	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	7	9	2	1			4.16	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	8	3	2	1		3.74	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	9	8	1	1			4.32	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	8	9	2				4.32	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	9	9	1				4.42	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	8	10	1				4.37	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	9	9	1				4.42	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	17	2					4.89	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	5	2				4.53	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.27	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

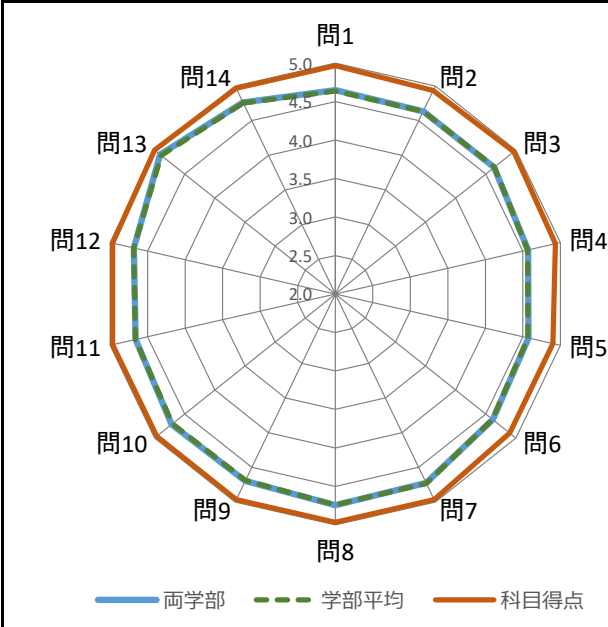
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	疫学		[100400]	履修者数	32	回答率	
教員名	土田 ももこ			紙	30	93.8%	93.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	29						1	4.97	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	28						2	4.93	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	29						1	4.97	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	28						2	4.93	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	27						3	4.90	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	27						3	4.90	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	29						1	4.97	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	29						1	4.97	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	29						1	4.97	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	29						1	4.97	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	29						1	4.97	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	29						1	4.97	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	30							5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	29						1	4.97	4.76	4.76
問1～14全問平均									4.95	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

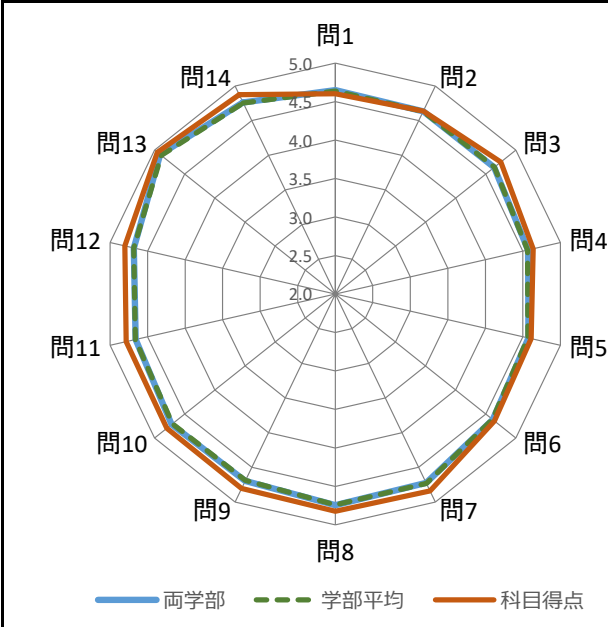
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	コミュニティヘルスアセスメント論		[100600]	履修者数	143	回答率	
教員名	石田 千絵			紙	113	79.0%	79.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.60	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.64	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.75	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.64	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.61	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.65	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.84	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.82	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.81	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.80	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.79	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.80	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.96	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.87	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.75	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

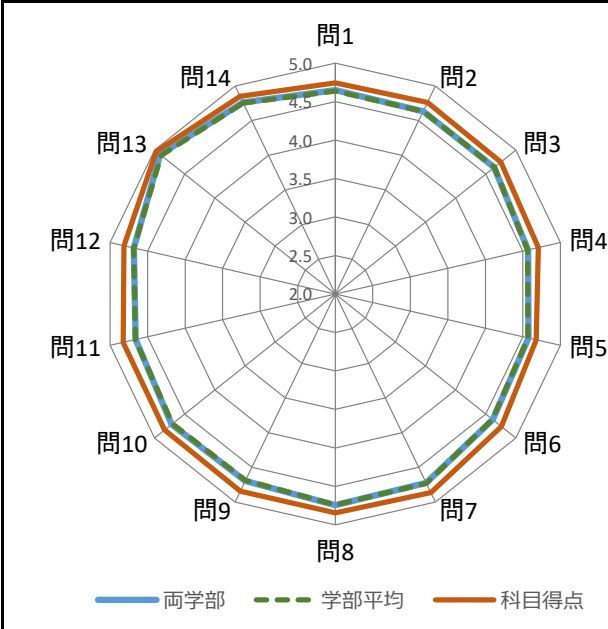
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	在宅看護概論 I		[100700]	履修者数	142	回答率	
教員名	石田 千絵			紙	109	76.8%	76.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

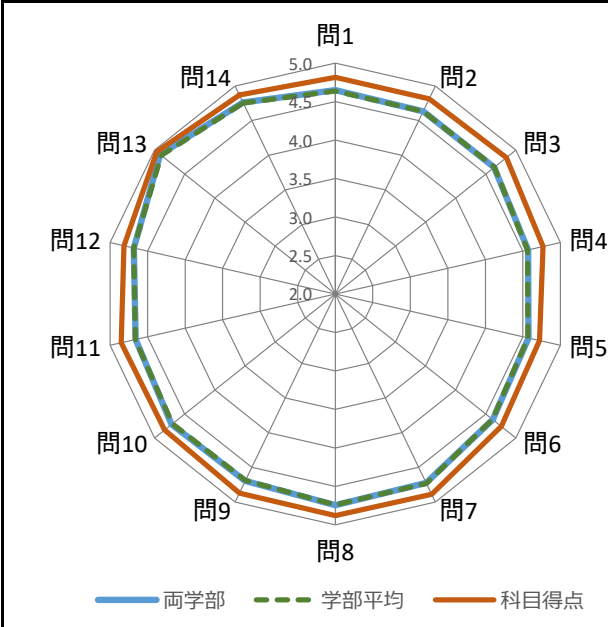
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	在宅看護概論Ⅱ		[100800]	履修者数	142	回答率	
教員名	西田 志穂			紙	108	76.1%	76.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	</								

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

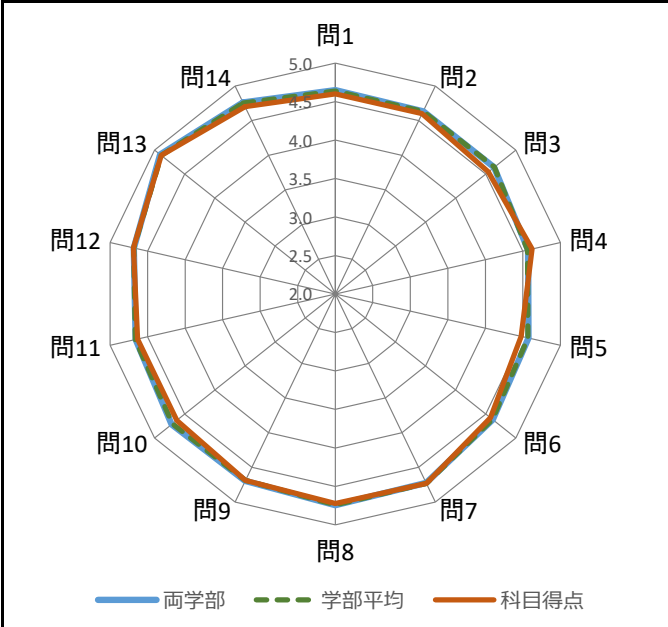
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	看護管理学 I		[1P0100]	履修者数	157	回答率	
教員名	安部 陽子			紙	90	57.3%	57.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.60	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.60	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.54	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.62	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.48	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.58	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.73	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.72	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.69	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.63	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.63	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.69	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.89	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.70	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.65	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

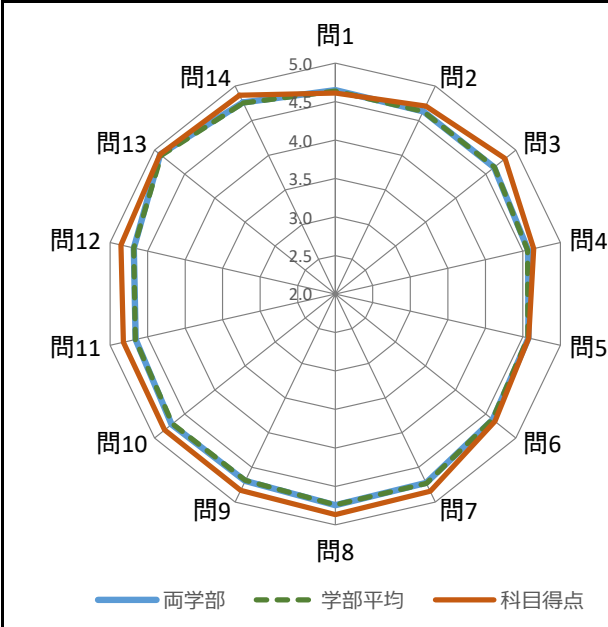
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護教育学 I		[1P0300]	履修者数	157	回答率	
教員名	佐々木 幾美			紙	90	57.3%	57.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.61	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.71	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.82	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.64	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.58	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.66	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.84	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.87	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.83	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.83	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.82	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.86	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.91	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.87	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.78	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

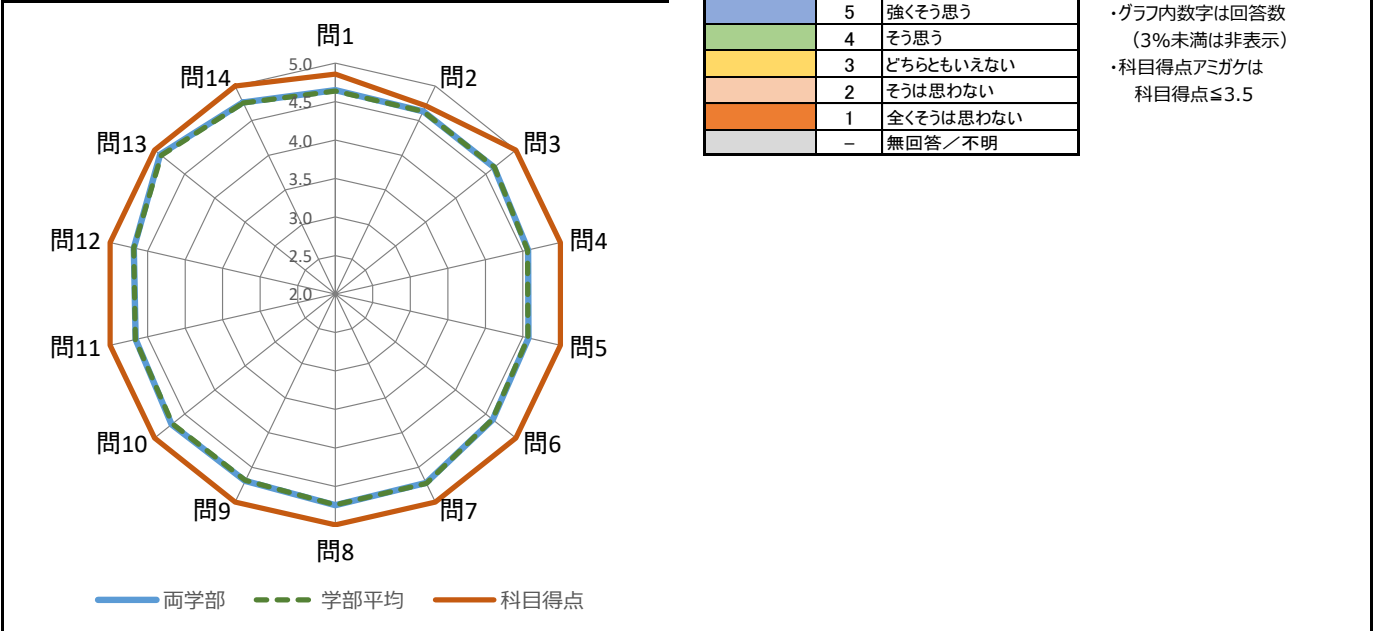
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護教育学Ⅱ		[1P0400]	履修者数	8	回答率	
教員名	西田 朋子			紙	7	87.5%	87.5%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.86	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.71	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							5.00	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							5.00	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							5.00	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							5.00	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							5.00	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.97	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較

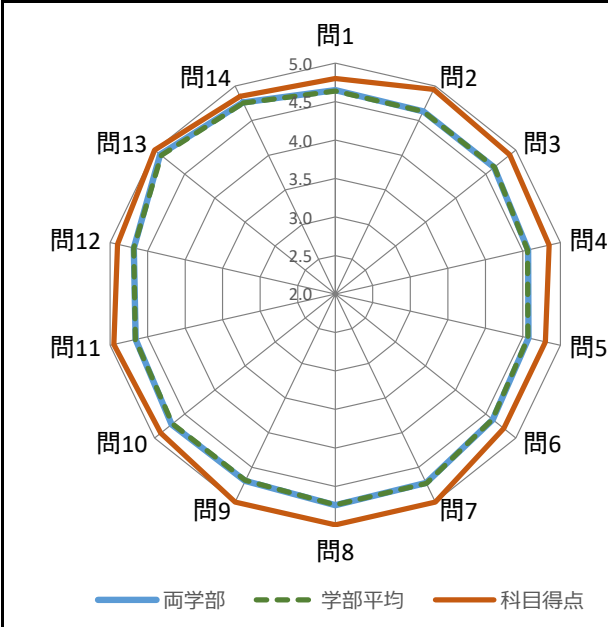


科目名	国際看護学Ⅱ		[1R0200]	履修者数	22	回答率	
教員名	織方 愛			紙	20	90.9%	90.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.80	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.95	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.90	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.85	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.80	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.80	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							5.00	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.90	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.95	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.90	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							5.00	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.85	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.91	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

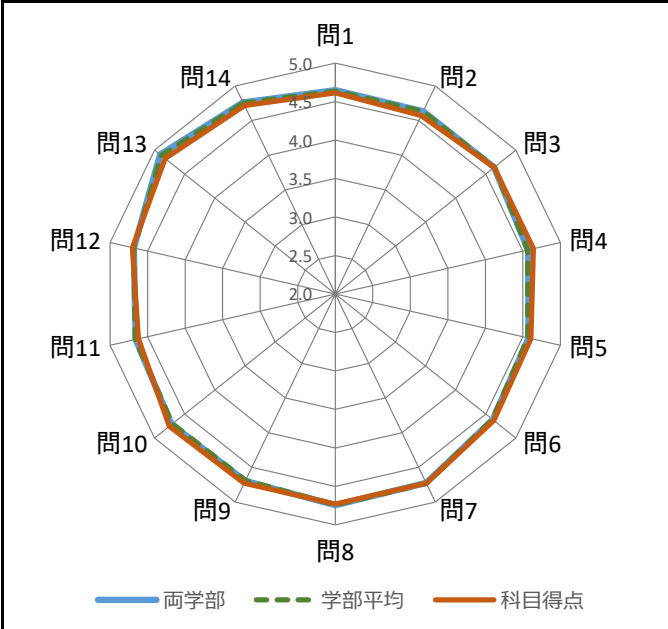
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	災害看護学 I		[1R1101]	履修者数	87	回答率	
教員名	橋爪 朋子			紙	75	86.2%	86.2%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.61	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.57	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.64	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.64	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.61	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.64	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.73	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.73	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.73	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.76	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.62	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.70	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.82	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.72	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.68	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

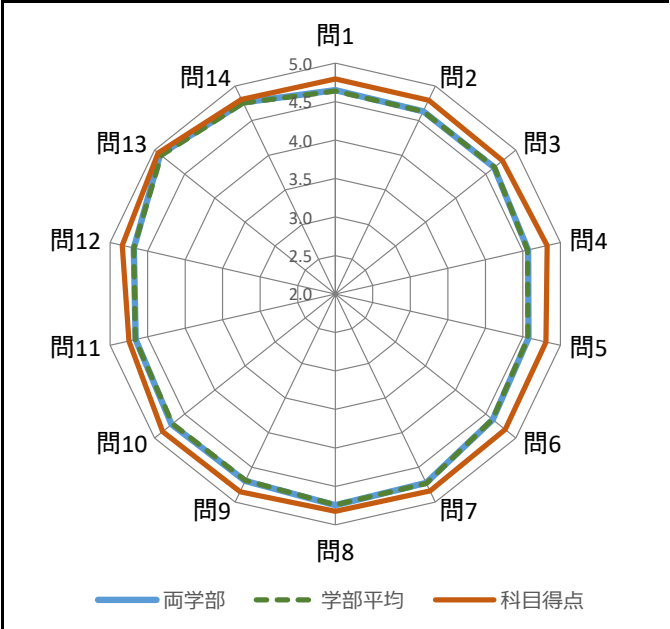
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	災害看護学 I		[1R1102]	履修者数	77	回答率	
教員名	橋爪 朋子			紙	68	88.3%	88.3%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.79	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.79	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.78	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.82	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.81	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.82	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.84	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.82	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.85	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.87	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.75	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.84	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.94	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.81	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.82	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

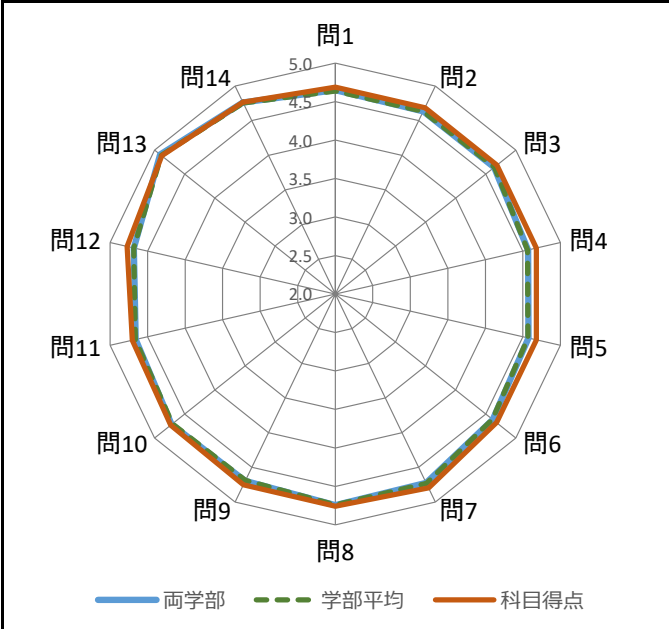
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	国際看護学		[1R1300]	履修者数	151	回答率	
教員名	織方 愛			紙	128	84.8%	84.8%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部		
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							90	36	4.69	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							91	34	4.69	4.63	4.63
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							91	35	4.69	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							88	39	4.68	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							89	37	4.68	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							90	35	4.68	4.61	4.62
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							102	26	4.80	4.73	4.72
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							97	31	4.76	4.74	4.74
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							96	32	4.75	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							94	34	4.73	4.70	4.72
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							92	34	4.70	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							99	29	4.77	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							113	15	4.88	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							98	30	4.77	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.73	4.68	4.68		

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

＜質問別回答内訳と得点＞

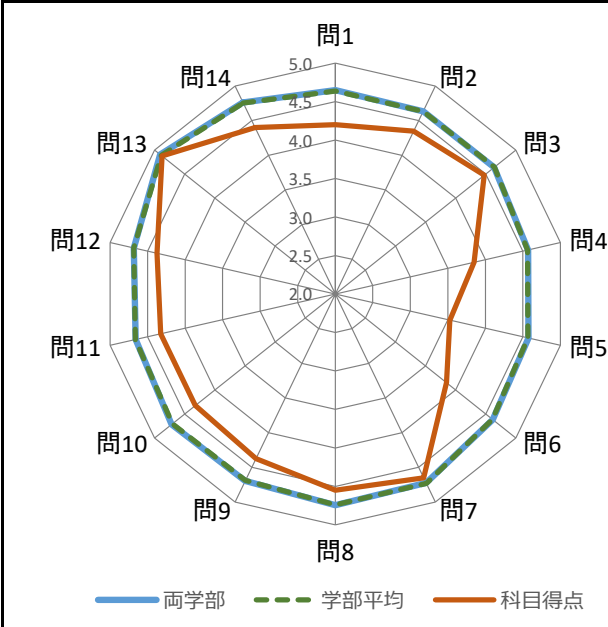
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	研究方法論Ⅱ		[1T0201]	履修者数	74	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	40	54.1%	54.1%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	18	16	2	4			4.20	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	20	16	2	2			4.35	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	21	18					4.48	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	13	15	6	5			3.85	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	11	9	11	8			3.53	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	12	14	9	3			3.85	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	28	11					4.65	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	29	8	2				4.55	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	23	11	4	2			4.38	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	20	16		3			4.33	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	21	13	4	2			4.33	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	23	12	2	3			4.38	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	35	5					4.88	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	16		2			4.40	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.29	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

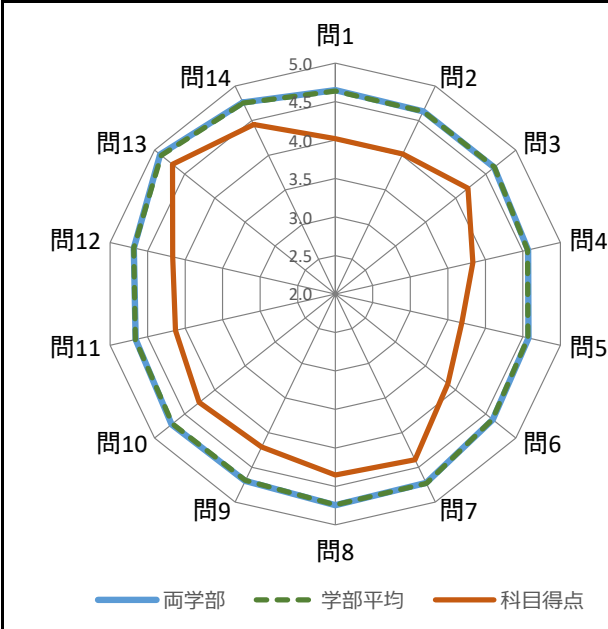
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	研究方法論Ⅱ		[1T0202]	履修者数	82	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	54	65.9%	65.9%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	22	18	8	5			4.02	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21	16	15				4.02	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	26	14	13				4.20	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	18	16	14	5			3.83	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	19	13	12	6	4		3.69	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	19	18	10	5	2		3.87	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	30	16	7				4.39	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	30	15	7	2			4.35	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	26	16	9	3			4.20	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	26	18	8	2			4.26	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	27	13	10	2	2		4.13	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	25	16	11				4.17	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	44	5	4				4.70	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	32	15	6				4.44	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.16	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

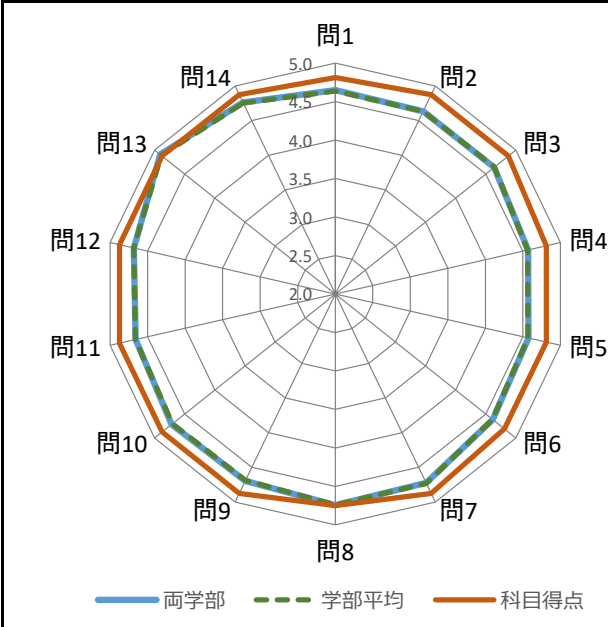
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	公衆衛生看護活動展開論		[1U0100]	履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子			紙	16	80.0%	80.0%
学部	看護学部	授業形態	講義	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.81	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.88	4.63	4.63
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。							4.88	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.81	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.81	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.81	4.61	4.62
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.88	4.73	4.72
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。							4.75	4.74	4.74
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。							4.88	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.70	4.72
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.88	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.88	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。							4.88	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.88	4.76	4.76
問1～14全問平均								4.85	4.68	4.68

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～12、14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【講義】科目別集計

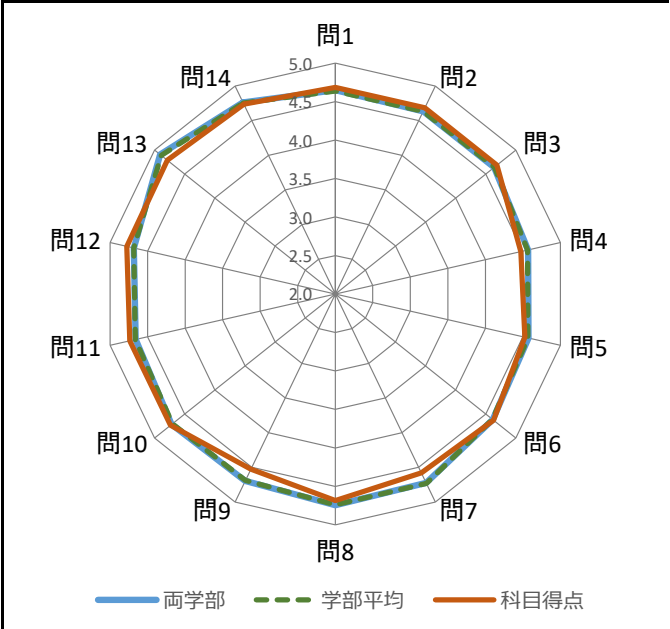
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	公衆衛生看護方法論 [1U0700]		履修者数	20	回答率	
教員名	吉川 悦子		紙	19	95.0%	95.0%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	136						4.68	4.64	4.65
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	136						4.68	4.63	4.63
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	136						4.68	4.64	4.64
4	授業の内容はわかりやすかった。	1171						4.47	4.56	4.57
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1171						4.53	4.57	4.57
6	この授業は自分にとって価値があった。	127						4.63	4.61	4.62
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1351						4.58	4.73	4.72
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	136						4.68	4.74	4.74
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1261						4.53	4.69	4.70
10	教員の熱意が伝わってきた。	145						4.74	4.70	4.72
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	145						4.74	4.66	4.66
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1441						4.78	4.69	4.68
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	154						4.79	4.89	4.91
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	145						4.74	4.76	4.76
問1~14全問平均								4.66	4.68	4.68

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1B0600	現代教育論	渋谷真樹	学生間でさまざまな意見を交換できたことや、難民に関する学外のワークショップに参加したことに、肯定的な評価が複数あり、嬉しいです。一方、パワーポイントの使い方や授業の進行速度、授業内容のわかりやすさなどに一層の工夫が必要です。次年度以降の参考にいたします。
1B0700	身体運動論Ⅰ（理論）	八十島崇	授業改善アンケートへのご回答ありがとうございました。いただいた回答を次年度の授業運営に活かし、より良い授業を展開できればと考えております。
1B1900	人間工学	田部井賢一	すべての項目において、2名からの回答があり、科目得点は5であった。科目の内容としては評価をいただけたが、履修生が2名となっているため、今後は履修生が増えるように努力をしていきたいと考える。
1C0400	家族社会学	宮下阿子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございます。今後も、良い評価をいただいたところを維持しつつ、皆さんが関心を持って取り組める授業を目指したいと思います。
1C0600	国際関係論	角田敦彦	概ね肯定的な評価であったと考えます。科目の性格から、難しいと感じた学生も一定数いたようですが、自ら学び取る姿勢も期待したいところです。
1C1300	現代社会論	鷹田佳典	R6年度の現代社会論は、テーマを広げず、労働とジェンダーに絞って、それぞれのテーマを深く掘り下げることに力点を置きました。少人数のクラスということもあり、授業内ではなるべくディスカッションの時間がとれるように工夫しました。授業内容の分かりやすさという点で課題があったようなので、説明をより丁寧に行うなどの対応をしたいと思います。
1D1200	生物学	新井健太	2024年度は、受講生が「生物学」と「生活・健康・社会問題」の結びつきに気づけるよう、授業の構成を練り直しました。あなたが多数の選択科目からこの「生物学」を選んだ理由は何でしょうか。ご自身の成長へ繋がるように、積極的な姿勢で授業に参加していただきたいと思います。今回の授業アンケートについては、回答数が少なく、個別のコメントもありませんでした。
1E0201	情報科学	佐久間貴士	初年度である状況、授業内容、最終レポート、などについては前年度まで担当されていた先生に擬えて実施している旨を説明していたので、理解が得られていると考えておりました。また、学生の意向を尊重するため、メールや意見として受け取った内容は、その都度事務局に確認し、全てフィードバックし共有して進めてきたことも理解していると思います。時間割や教室の状況などに関しては、コメントするのが難しいです。黒板（ホワイトボード）は使用しておりません。LMSは大学によって様々なので、すぐに慣れるのは難しいと思います。数回出欠確認で困惑した程度だと認識しております。次年度以降、授業を担当するようであれば、さらに学生の要望を聞き入れ、受け止め、引き続き理解が難しい内容であれば、事務局に相談し、その結果を共有しながら、進めたいと考えております。

1E0202	情報科学	佐久間貴士	初年度である状況、授業内容、最終レポート、などについては前年度まで担当されていた先生に擬えて実施している旨を説明していたので、理解が得られていると考えておりました。また、学生の意向を尊重するため、メールや意見として受け取った内容は、その都度事務局に確認し、全てフィードバックし共有して進めてきたことも理解していると思います。時間割や教室の状況などに関しては、コメントするのが難しいです。黒板（ホワイトボード）は使用しておりません。LMSは大学によって様々なので、すぐに慣れるのは難しいと思います。数回出欠確認で困惑した程度だと認識しております。次年度以降、授業を担当するようであれば、さらに学生の要望を聞き入れ、受け止め、引き続き理解が難しい内容であれば、事務局に相談し、その結果を共有しながら、進めたいと考えております。
1F0301	英語R1-2	遠藤花子	みなさんが興味を持てる授業にできるよう、改善できるところは改善していきたいと思います。
1F0302	英語 R 1 - 2	川崎修一	過分な評価をありがとうございました いただいたコメントは授業改善に活かします
1F0303	英語R1-2	遠藤花子	みなさんが興味を持てる授業にできるよう、改善できるところは改善していきたいと思います。
1F0304	英語 R 1 - 2	川崎修一	過分な評価をありがとうございました いただいたコメントは授業改善に活かします
1F0701	英語LS1-2	Benjamin Tutcher	Thank you to all the students who reacted to the class questionnaire.I shall consider your reactions and comments when conducting future classes.
1F0704	英語LS1-2	Benjamin Tutcher	Thank you to all the students who reacted to the class questionnaire.I shall consider your reactions and comments when conducting future classes.
1F0901	英語R2-2	斎 孝則	「授業内容も試験対策も分かりやすくて良かった」といった好意的な受け止めがあったのは良かった。また、「授業への出席率」は総じて良く、「私は授業に意欲的に取り組んだ」という項目のポイントも高かったのは喜ばしい。一方、その他の項目では、学部平均と同じか下回るものが多かった。自分の足りなさを痛感した。

1F0902	英語R2-2	久木田直江	みなさま、アンケートにお答えいただきありがとうございました。「扱う文章が難しく、日本語にしてもわかりにくい」と言うようなご意見が数名からありました。本授業で扱うテキストはアメリカで看護学の学生用に作成されたものです。難易度は高いですが、多くの受講生が真摯に授業を受け、学ばれていたと思います。自信をもってこれからは英語を勉強していただければ、この授業を行った意味があります。みなさまから頂いた他のコメントを参考に、これからの授業をより充実したものにしたいと思います。
1F0903	英語R2-2	斎 孝則	「分かりやすい説明でした...」、「解説がとても分かりやすかったです...」、「質問しやすい雰囲気良かったです」など好意的な受け止めが多かったのは良かったです。また、14問すべての項目で学部平均、両学部より良い得点を頂けたのはありがたかった。学生あつての授業なので、全ては学生の学習姿勢のお陰だと思います。学生に感謝します。
1F0904	英語R2-2	久木田直江	アンケートにお答えいただきありがとうございました。「内容が難しい」と言うようなご意見がありました。本授業で扱うテキストはアメリカで看護学の学生用に作成されたものです。難易度は高いですが、多くの受講生が真摯に授業を受け、学ばれていたと思います。自信をもってこれからは英語を勉強していただければ、この授業を行った意味があります。また、音読を通して発音を正確に学んだことに意義を見出している受講生がいたことも嬉しく思います。みなさまから頂いた他のコメントを参考に、これからの授業をより充実したものにしたいと思います。
1F1100	W2-2	遠藤花子	大変な課題もあったかもしれませんが、みなさん、本当によく取り組んでいたと思います。これからも頑張ってください。
1F1103	英語W2-2	遠藤花子	大変な課題もあったかもしれませんが、みなさん、本当によく取り組んでいたと思います。これからも頑張ってください。
1F1500	英語文献を読むⅡ	遠藤花子	授業の運営方法に課題が残る結果だったと思います。広尾とさいたまの両学生を配慮しつつ、授業内容も考慮していくことにします。
1H0400	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	井上明宏	オムニバス形式ですが、各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。医師の外部講師によってわかりやすい人とそうでない人がいたとのことで、フィードバックします。席によってスクリーンの見やすさが変わるのは大教室の場合やむを得ないかと思いますが、公平になるように定期的に席替えをしています。内容に対して授業回数が足りないのは致し方ありません。かといって内容を削るわけにもいきませんので、自主学習で補うなどで対応してください。試験対策のヒントを出すタイミングは、試験日が確定するおおむね3週間前をめどに公開しています。
1H0501	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評価をいただき、ありがとうございます。ペワワーク演習で事前学習をしてこない人がいる点に不満をもつ学生もいるようですが、そこは自分が教えてあげる良い機会だという考え方もあるかもしれません。授業にして欲しいというコメントもありますが、大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、その一環としてご理解ください。大教室（201）でのスライド映写や音響の不具合については、改善方法について検討していきます。

1H0502	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	井上明宏	オムニバス形式ですが、実際の現場で臨床に携わる各担当講師それぞれの個性的な授業におおむね好評をいただき、ありがとうございます。ペアワーク演習で事前学習をしてこない人がいる点に不満をもつ学生もいるようですが、そこは自分が教えてあげる良い機会だという考え方もあるかもしれません。授業にして欲しいというコメントもありますが、大学としてはアクティブラーニングを推進していますので、その一環としてご理解ください。大教室（201）でのスライド映写や音響の不具合については、改善方法について検討していきます。
1H0600	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	井上明宏	脳・神経系の講義を3人の先生で一般・内科・外科と分担していただき、バラエティーもあった点を評価していただきました。臨床現場での話、臨床医師の経験談、手術動画などが好評のようなので、今後も講師の先生にお伝えしておきます。資料が多過ぎて何が大切かわからないというコメントがありましたが、大事でないことについては授業で言及されていると思いますので、注意して聞くようにしてください。それ以外は、基本的には大事だということです。ただ、全てを1年次に覚える必要はありません。
1H0700	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	井上明宏	オムニバス形式ということで、各専門の先生の話の聞いたことを評価していただきました。リフレクションに質問を書いても回答がなかったということですが、回答をどうしても欲しい質問は、メールで直接聞いていただく方が確実です。スライドで配布されていないものがあるのはそれなりの理由があるということで理解してください。重要度が低い参考程度のものか、配布に不適であるかでしょう。原則として試験勉強の対象とはならないと考えてください。
1H0800	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	井上明宏	数か月後には臨床現場に出ることになる4年生に向けて意識された講義であることが評価されてよかったと思います。国試対策を意識していただいた先生もいらして、そこも有意義だったという感想があり、よかったです。
1H1300	栄養学	塩原由香	9割以上の方が主体的な授業への取り組み、授業の理解、物事を深く捉えることについて「強くそう思う・そう思う」と回答されていました。しっかりと授業や個人レポートにも取り組んでいただけたと感じています。その一方で、8回で栄養学全般について講義するため、授業進度が早いと感じた学生がいたことがわかりました。また、「文字が見えにくい」という声もありましたので、スピード感や教室の明るさなどの環境を皆さんに伺いながら、調整していきたいと思います。
1H1400	ラボラトリー・プラクティス	壺岐聖子	「楽しく学べた」「現場を知るよい機会になった」などの前向きな感想が多く寄せられ、学生の興味関心の高さがうかがえました。今後も体験を通じた学びができるよう内容や指導方法の工夫を重ね、より多くの学生にとって有意義な授業となるよう努めてまいります。
1H1500	薬理学	吉見 猛	講義の進度が速かったとの意見がありました。限られた時間の中で多くの内容を教えることになるので、どうしても進度が速くなりがちなので、速いが講義についていけるように工夫します。
1I0400	看護の歴史	川原由佳里	授業を楽しんで受けてくださりありがとうございます。高い評価をありがとうございました。より興味をもてるような授業をめざします。
1L0301	精神保健看護学・理論	鷹野朋実	アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。 精神保健看護にかかわる理論を取り扱う、なかなか学生にとっては興味関心を持ちづらい内容の科目ですが、前向きに取り組んでいただけたことを嬉しく思いました。プリントの印刷状態が悪いところが一部にあり、ご不便おかけしたようです。今後、配布前にチェックしていきたいと思います。

1L0302	精神保健看護学・理論	鷹野朋実	アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。 精神保健看護にかかわる理論を取り扱う、なかなか学生にとっては興味関心を持ちづらい内容の科目ですが、前向きに取り組んでいただけたことを嬉しく思いました。プリントの印刷状態が悪いところが一部にあり、ご不便おかけしたようです。今後、配布前にチェックしていきたいと思います。
1M0300	発達看護学Ⅰ①	新田真弓	ご意見ありがとうございました。TBLの参加型授業や看護過程の演習など、楽しんで参加いただけたようで良かったです。又プリントも見やすいとのご意見もありありがとうございました。一方でプリントがやや多いとのご意見もありましたので、印刷用紙機など次年度に向けて検討します。さらに充実した授業となるように工夫をしていきたいと思います。
1M0501	発達看護学Ⅱ①	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。コメントいただいた授業資料形式や授業スピードについて、授業内容を踏まえて検討します。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。
1M0502	発達看護学Ⅱ①	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。コメントいただいた授業資料形式や授業スピードについて、授業内容を踏まえて検討します。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い授業にしていきます。
1M0700	発達看護学Ⅲ①	田中孝美	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。皆さんが授業に意欲的・積極的に取り組んだと高く評価されていること、また、授業内容が興味あるもので、皆さん自身にとって価値あるものと捉えてくださっていることが伝わってまいりました。授業内容がより分かりやすくなるような工夫や、事前課題についても皆さんの学修をより促進するような教材の選択など、引き続き検討しながら授業を運営してまいります。ご意見をありがとうございました。担当教員一同
1N0100	プライマリーヘルスケア	井口 理	出席コードの表示時間はもう少し長くするようにします。 学習の目的や看護とのかかわりは、授業の中でその都度お伝えしています。主体的な参加を期待しています。
1O0100	地域看護学	石田千絵	多くの学生の皆様からポジティブな評価をいただきましたこと、嬉しく思います。授業中の私語についての対策の提案をいただきましたので、静かな空間を確保できるように工夫したいと思います。地域看護学で学んでいたいただいた内容は、4年間、思い出したり深めたりしながら活用していただくことになりますので、よろしくお願いいたします。
1O0200	公衆衛生看護活動論	吉川悦子	授業改善アンケートへの回答ありがとうございました。いずれの項目も学部全体の平均よりも高く、本科目に興味を持って、積極的にかつ真摯に取り組んでいただいたことが伝わってきました。頂いた意見を反映し、さらに皆様の学習に役立つ内容にブラッシュアップしていきたいと思います。
1O0400	疫学	土田ももこ	授業評価アンケートへのご協力ありがとうございました。自由記載には、難しいと思っていた疫学に対して興味が湧いた、コメントシートに記載があった質問等を授業で取り上げたことで学びが深まった等のコメントをいただき、うれしく思います。皆さんからいただいたコメントをこれからの授業に活かしていきたいと思います。

100600	コミュニティヘルスアセスメント論	石田千絵	沢山の良い評価をありがとうございます。良い点については今後も続けたいと思います。改善案もありがとうございます。（編入生の方からのご意見だと思いますが、）カリキュラム上の問題が今後も生じてしまいますこと、申し訳ないです。個人レポートの課題については、もう少し内容を初期に説明回数を増やしていきたいと思いました。グループよりも個人作成が良いのでは？という点につきましては、メリットデメリットを勘案し現在に至りますため、グループワークで進めていきたいと思います。3年次以降もグループワークをいたしますが、メリット部分を体験していただけますと幸いです。今後よろしくお願いいたします。
100700	在宅看護概論Ⅰ	石田千絵	ポジティブな評価をたくさんいただきまして、ありがとうございます。とても励みになります。今後も、よろしくお願いいたします。
1P0100	看護管理学Ⅰ	安部・小川	コメントをありがとうございます。マイクの音量について気を付けたいと思います。皆さんも、音声が聞こえないときは、遠慮なく、授業中にお声がけください。スライドについては検討させていただきます。
1P0300	看護教育学Ⅰ	佐々木幾美・西田朋子	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。わかりやすい内容であったこと、就職やキャリアプランを考えることができたことについて、よい評価をいただきましたので、次年度も同様に進めていきたいと考えております。一方、難しいという回答もありましたので、少し説明の工夫をしていきたいと考えております。
1P0400	看護教育学Ⅱ	西田 朋子	選択科目ですが、履修してくださった皆さんありがとうございました。ほとんどの方が授業改善アンケートにも回答してくださいました。自由記載は特にありませんでしたが、興味ある授業だったことや皆さんと教員間での質疑応答が適切に行われたことがわかる回答でした。この科目は2025年度から内容を変更していくこととなりますが、これまでの内容を踏まえつつ、よりよい授業にしていきたいと思います。
1R0200	国際看護学Ⅱ	織方 愛	良い点について、楽しかった、複数の講師の話が役立った、わかりやすかった、国際系の授業が終了するのは悲しい等、たくさんの記載を頂きありがとうございました。安全管理に関しては日本赤十字社の職員をゲストスピーカーとしたこと評価頂きお呼びして良かったと思います。国際の授業は研究Ⅰや総合実習でも継続できますのでそちらも是非どうぞ。改善点について、プレゼン作成の時間が少なかったとのご意見を頂きました。事前事後学修を含むと考えて頂き、この時間を有効に活用くださると良いと存じます。既習の内容が含まれていたとのこと、復習の上で演習をする意図だったのですが、次回からは講義に含めず、事前学修にするなどして対応しようと思います。担当した教員も皆さんのリフレクションペーパー当～多くの学びを得ています。ありがとうございました。
1R1101	災害看護学Ⅰ	橋爪 朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。授業の中でみなさんが興味を持って学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。自由記載では、良い点として、教員の体験談が学習内容の理解に役立ったこと、ディスカッションや意見を共有する時間が有意義であったという意見をいただきました。改善したほうが良いという意見については、資料をすべてカラーにしてほしいとのご要望がありました。SDGsをふまえ、必要な資料のみカラーとさせていただくことをご理解いただければと思います。皆さんにとって学びやすい環境を整え、もっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしてまいります。貴重な意見をありがとうございました。

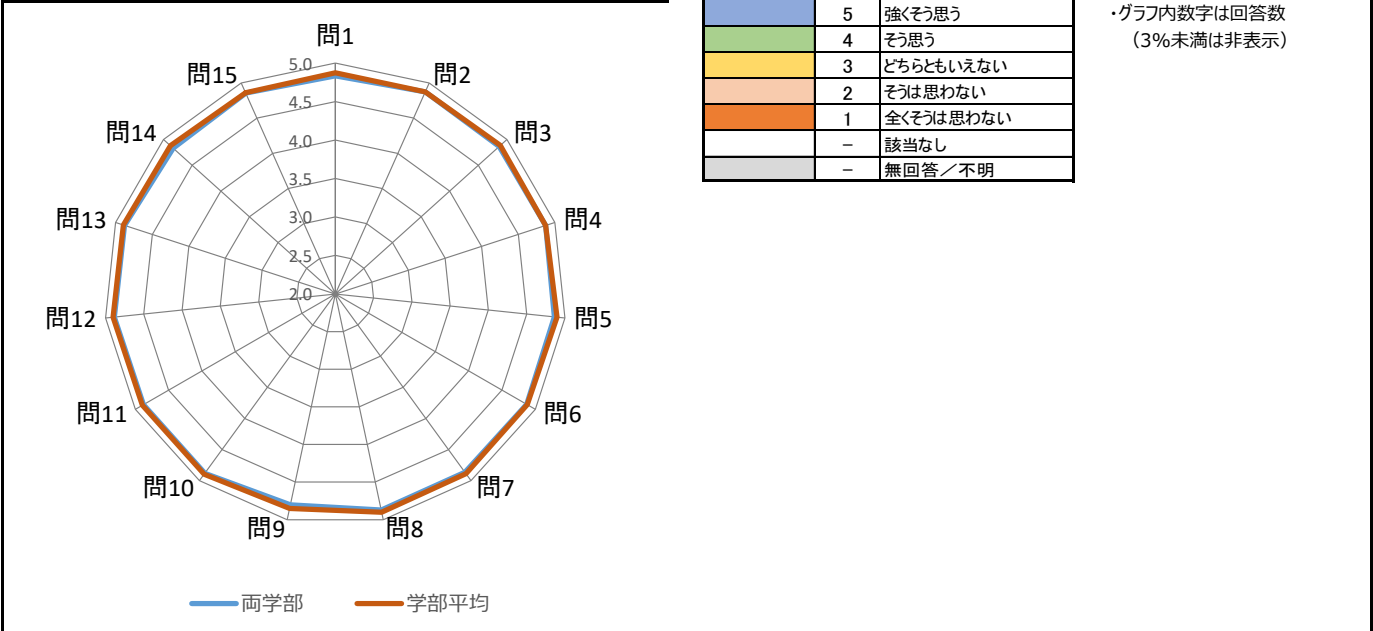
1R1102	災害看護学1	橋爪 朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。授業の中でみなさんが興味を持って学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。自由記載では、良い点として、現場の写真や映像が活用されていた点、授業プリントがわかりやすかった、トリアージで実践的な授業であったことなどのご意見をいただきました。改善したほうが良い点についてのご意見はありませんでした。皆さんにとって学びやすい環境を整え、もっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしてみたいです。貴重な意見をありがとうございました。
1R1300	国際看護学	織方 愛	良い点について、実体験を踏まえての講義、スライドの分かりやすさ、映像や写真も交えた講義が良かった等の記載を頂きありがとうございました。国際看護学は健康格差の是正をしているというところがなかなか現代日本に暮らす皆さんに伝わりにくい所なので、格差の説明を具体的にしています。今後も続けていきます。改善点について、自分で一つの事例について考えたり友人と意見交換する機会があると良いとの意見を頂きました。150名の授業であっても学生同士が意見交換できる機会について次回以降検討出来たらと存じます。ご自身でも授業後に友人と意見交換してみてください。座席指定をすれば私語が無くなるとの意見を頂きましたが、大学は自主的に学びを得る場で、座席指定しなくても受講の態度が育っている人たちであると考えています。自身で授業中の私語で講義がききづらい場面があったとすればお詫びします。成人した学生の学びにこうした注意をすることは非常に残念ですが、もしこうした私語が見られた場合は授業中にも注意喚起していきたいと存じます。担当した教員も皆さんと同行し多くの学びを得ています。ありがとうございました。
1T0201	研究方法論Ⅱ	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。 コメントいただいた授業や演習形式に関する内容について検討しながら、より良い授業にしていきます。
1T0202	研究方法論Ⅱ	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。 コメントいただいた授業や演習形式に関する内容について検討しながら、より良い授業にしていきます。
1U0100	公衆衛生看護活動展開論	吉川悦子	授業改善アンケートへの回答ありがとうございました。いずれの項目も全体平均よりも高く、本科目が受講生にとって興味や関心が高く、かつ、積極的に取り組んでいただいたことが伝わってまいりました。引き続き、皆様にとって役立つ内容、実践的な内容を工夫しながら授業改善に取り組んでいきたいと思っております。
1U0700	公衆衛生看護方法論	吉川悦子	授業改善アンケートの回答をありがとうございました。限られた回数の中で健康教育の企画立案、媒体・シナリオ作成、発表までの一連の流れを体験していただくことを授業の主たる目的としていますが、授業内の取組だけでは完結しないというご意見を頂きました。事前・事後課題の適切な分量や授業の到達度等、全体の配分を見直しつつ、計画的かつ効果的な学びに結びつくよう補助教材等も工夫しながら授業内容を改善していきたいと思っております。有用なご意見をありがとうございました。

学部名	看護学部	履修者数		回答率	
		回答数	紙	84%	84%
			WEB	0%	
			623		
			522		
			0		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						56	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。						59	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						54	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						55	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。						50	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						57	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						49	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						46	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。						60	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。						49	4.89	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						50	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。						45	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						45	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						45	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						59	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.88	4.86

■質問別得点

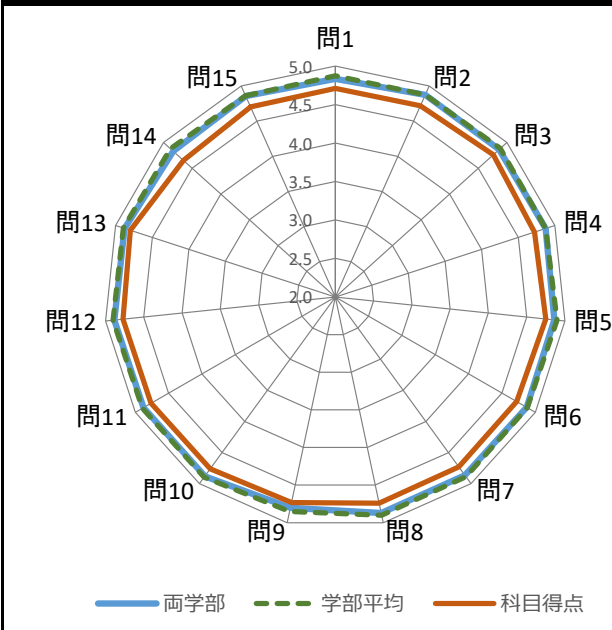


科目名	看護学概論Ⅱ		[110200]	履修者数	143	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	101	70.6%	70.6%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			74		23	3	4.71	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。			75		22	3	4.72	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。			78		20		4.76	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。			76		20	4	4.72	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。			77		21		4.75	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。			75		22	3	4.72	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。			76		21	3	4.73	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。			77		20	3	4.74	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。			76		21	3	4.73	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。			79		20		4.76	4.89	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。			78		22		4.76	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。			79		21		4.77	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。			80		20		4.80	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。			75		19	6	4.65	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。			76		20	5	4.70	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.74	4.88	4.86

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

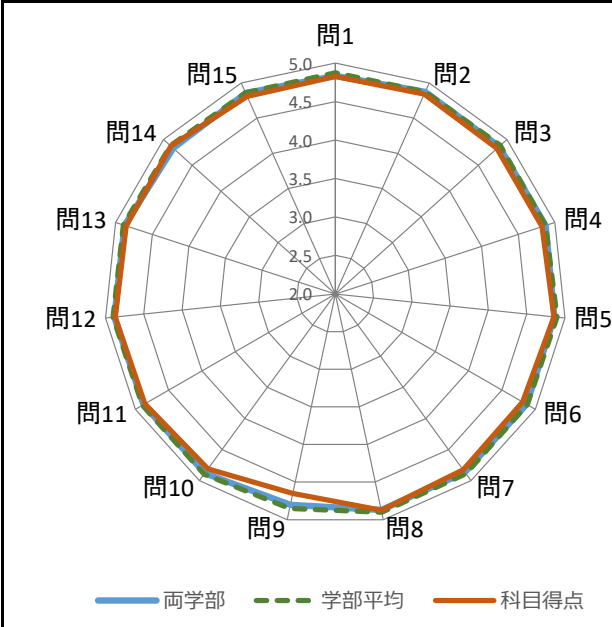
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

科目名	基盤臨床看護論Ⅱ①		[1J0801]	履修者数	74	回答率	
教員名	鬼頭 幸子			紙	63	85.1%	85.1%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5211						4.83	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5310						4.84	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5211						4.83	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5211						4.83	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	549						4.86	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5112						4.81	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5211						4.83	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	558						4.87	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	44163						4.65	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。	5210						4.81	4.89	4.88
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	549						4.86	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	558						4.87	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	557						4.86	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	558						4.87	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	5112						4.81	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.83	4.88	4.86

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

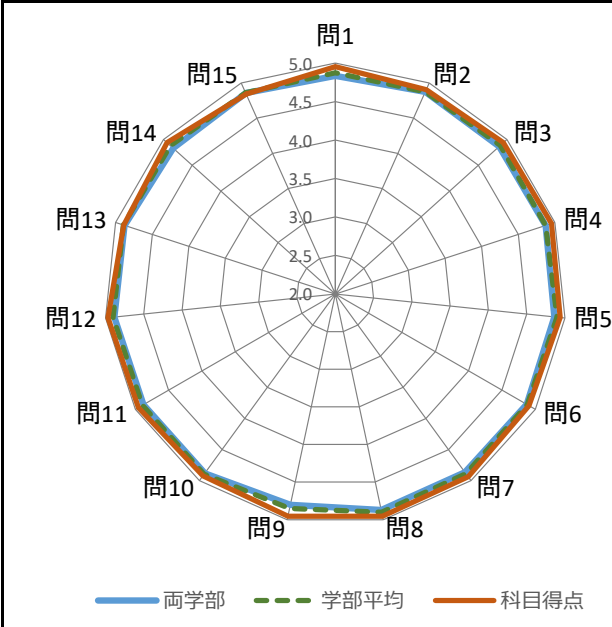
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	基盤臨床看護論Ⅱ①		[1J0802]	履修者数	76	回答率	
教員名	鬼頭 幸子			紙	64	84.2%	84.2%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	613						4.95	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	586						4.91	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	604						4.94	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	613						4.95	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	604						4.94	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	586						4.91	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	604						4.94	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	613						4.95	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	613						4.95	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。	595						4.92	4.89	4.88
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	613						4.95	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	622						4.97	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	594						4.89	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	604						4.94	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	558						4.84	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.93	4.88	4.86

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

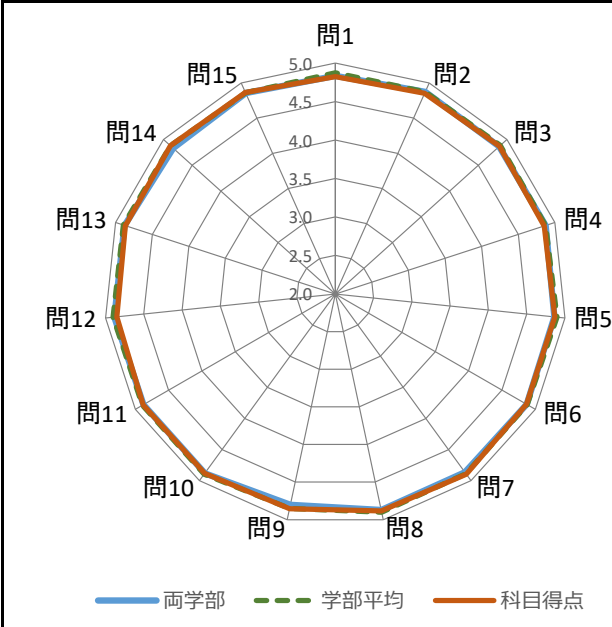
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	基盤臨床看護論Ⅲ②		[1J1101]	履修者数	74	回答率	
教員名	遠山 義人			紙	68	91.9%	91.9%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					57	10	4.82	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。					58	10	4.85	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。					59	9	4.87	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。					58	10	4.85	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。					59	9	4.87	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。					59	9	4.87	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。					61	7	4.90	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。					60	8	4.88	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。					59	8	4.85	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。					60	8	4.88	4.89	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。					60	8	4.88	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。					59	8	4.85	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。					60	7	4.87	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。					61	6	4.88	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。					60	7	4.87	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.87	4.88	4.86

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

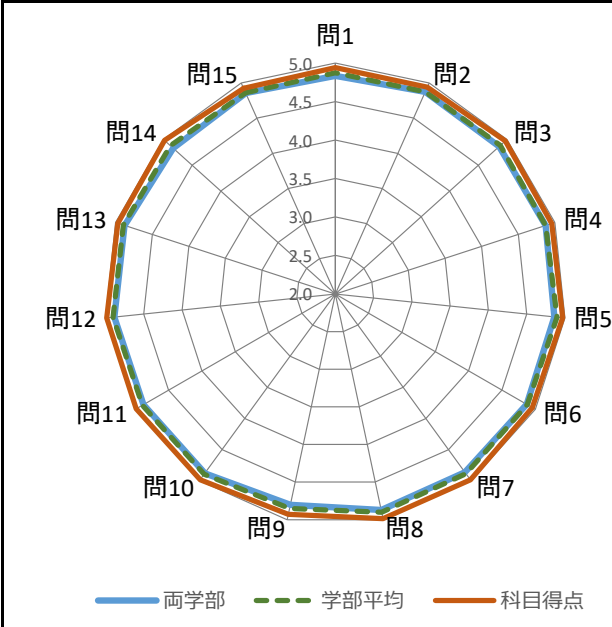
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	基盤臨床看護論Ⅲ②		[1J1102]	履修者数	76	回答率	
教員名	遠山 義人			紙	68	89.5%	89.5%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.94	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。							4.94	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							4.97	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							4.96	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。							4.97	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							4.96	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							4.99	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							4.99	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。							4.93	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.99	4.89	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							4.99	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.99	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							4.97	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							4.99	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							4.93	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.96	4.88	4.86

■ 科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

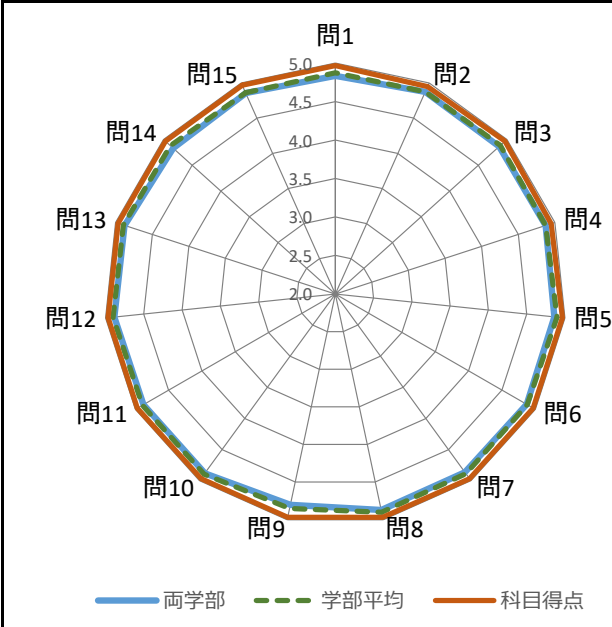
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	健康レベル別看護学演習 I	[1N0501]	履修者数	66	回答率	
教員名	河田 照絵		紙	61	92.4%	92.4%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.97	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。							4.95	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							4.97	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							4.95	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。							4.97	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							4.97	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							4.97	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							4.97	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。							4.97	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.97	4.89	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							4.97	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.97	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							4.97	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							4.97	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							4.97	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.97	4.88	4.86

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

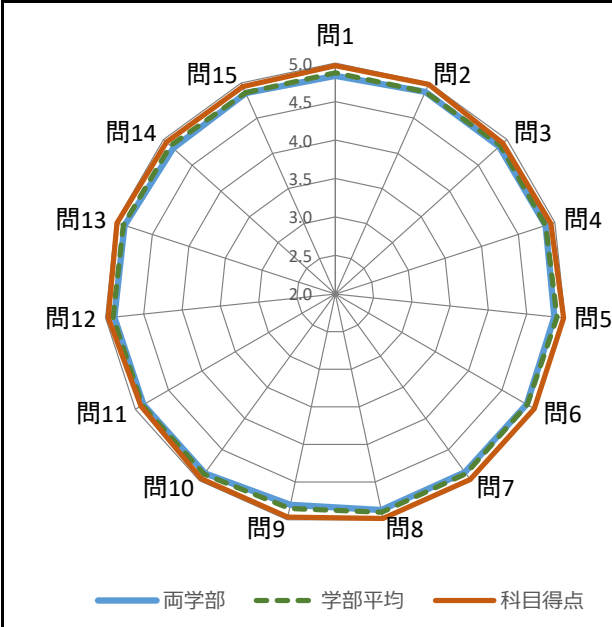
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	健康レベル別看護学演習 I	[1N0502]	履修者数	64	回答率	
教員名	山中 源治		紙	58	90.6%	90.6%
学部	看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						57	4.97	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。						56	4.98	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。						53	4.93	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。						55	4.95	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。						57	4.98	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。						57	4.98	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。						57	4.98	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。						57	4.98	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。						56	4.97	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。						56	4.97	4.89	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。						54	4.91	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。						56	4.97	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。						57	4.98	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。						55	4.95	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。						55	4.95	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.96	4.88	4.86

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

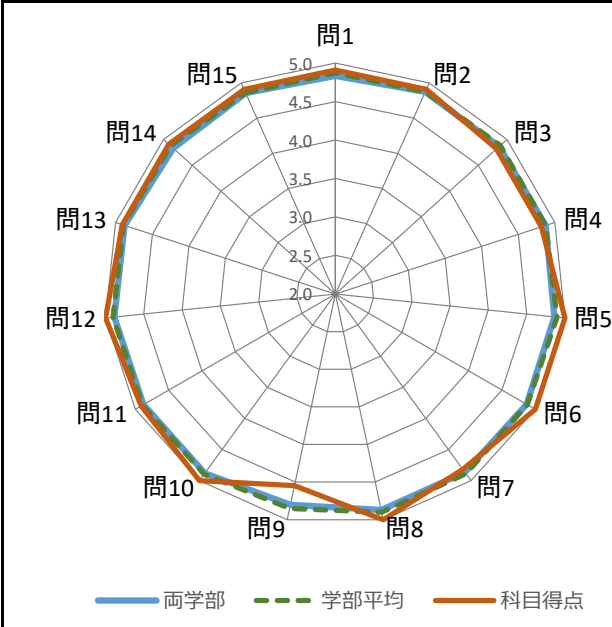
- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	国際看護学演習		[1R0300]	履修者数	12	回答率	
教員名	織方 愛			紙	11	91.7%	91.7%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	101						4.91	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	101						4.91	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	101						4.82	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	92						4.82	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	11						5.00	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	11						5.00	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	101						4.82	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	11						5.00	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	812						4.55	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。	11						5.00	4.89	4.88
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	101						4.91	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11						5.00	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	101						4.91	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	101						4.91	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	101						4.91	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.90	4.88	4.86

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【演習】科目別集計

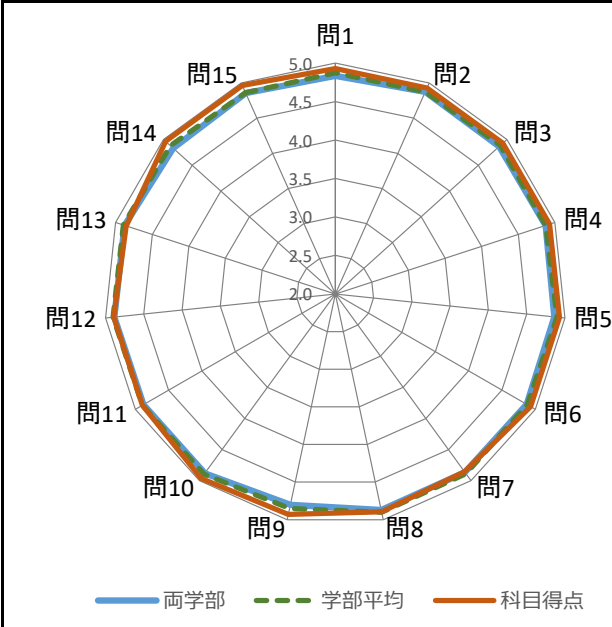
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	災害看護活動論Ⅱ		[1R0700]	履修者数	38	回答率	
教員名	橋爪 朋子			紙	28	73.7%	73.7%
学部	看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	262						4.93	4.87	4.83
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	262						4.93	4.88	4.87
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	262						4.93	4.88	4.86
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	262						4.93	4.88	4.87
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	262						4.93	4.90	4.86
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	262						4.93	4.88	4.87
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	2521						4.86	4.89	4.86
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	253						4.89	4.90	4.87
9	演習の時間配分は適切だった。	262						4.93	4.85	4.80
10	教員の熱意が伝わってきた。	271						4.96	4.89	4.88
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	2611						4.89	4.89	4.88
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	2611						4.89	4.90	4.89
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	2611						4.86	4.89	4.88
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	271						4.96	4.88	4.83
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	271						4.96	4.86	4.86
問1～15全問平均								4.92	4.88	4.86

■科目得点と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1I0200	看護学概論Ⅱ	川原由佳里	実習で経験した事例をもとに、活発なディスカッションを行うことができていました。就職前にふたたび看護を振り返ることができた、改めて看護とは何かを考えることができたとのコメントがあり、授業の目的を達成できたと思います。210教室は息苦しいとの意見がありました。教室の大きさについては難しい点もありますが、空気の入替えなどとして、学習環境を整えたいと思います。
1J0801	基盤臨床看護論Ⅱ①	鬼頭幸子	授業改善アンケートにご回答いただきありがとうございました。みなさんがとても熱心に授業を受けてくださり、多くの学びを得たことがアンケート結果から伝わってまいりました。この科目で習得した看護技術は、導入実習Ⅱに活かされる内容であり、実際の導入実習Ⅱをとおして皆さんの成長が感じられ大変嬉しく思っております。看護技術チェックに関すること、教員が行うデモンストレーションの見にくさについては改善に向けて検討してまいります。授業時の身だしなみについてもご意見をいただきありがとうございました。今後もより良い授業運営に向けて取り組んでまいります。
1J0802	基盤臨床看護論Ⅱ①	鬼頭幸子	授業改善アンケートにご回答いただきありがとうございました。みなさんがとても熱心に授業を受けてくださり、多くの学びを得たことがアンケート結果から伝わってまいりました。この科目で習得した看護技術は、導入実習Ⅱに活かされる内容であり、実際の導入実習Ⅱをとおして皆さんの成長が感じられ大変嬉しく思っております。これからも、より良い授業運営に向けて取り組んでまいります。
1J1101	基盤臨床看護論Ⅲ②	遠山義人	授業改善アンケートへご回答いただきありがとうございました。皆さんが一所懸命にかつ楽しく取り組んでいただけたということが演習中の雰囲気、そしてアンケート結果より伝わり、担当教員一同とても嬉しく感じております。事後課題の実施計画書に対する改善点のコメントをしてほしいというご要望をいただきました。皆さんがより患者さんの個性を意識した実施計画・実施・評価につながるようフィードバック方法を検討してまいります。また、授業中、騒がしい時があったことについてのご指摘もいただきました。皆さんにとってより良い学びの環境を整えられるよう努めてまいります。本科目では、「技術を通して相手をケアするとはどういうことか」、という視点で一緒に走ってまいりました。皆さんにとって本演習が、方法を知ることだけでなく看護技術の大事な部分を感じ考える時間となっていると嬉しいです。これからも教員と一緒により良い看護を考えていきましょう。この度はたくさんのご感想をありがとうございました。
1J1102	基盤臨床看護論Ⅲ②	遠山義人	授業改善アンケートへご回答いただきありがとうございました。皆さんが一所懸命にかつ楽しく取り組んでいただけたということが演習中の雰囲気、そしてアンケート結果より伝わり、担当教員一同とても嬉しく感じております。陰部洗浄等ではからだの作りによって方法が異なることから複数の方法を体験したいというご要望をいただきました。限られた時間の中で、皆さんにとってのより良い学びの環境を整えられるように工夫してまいりたいと思います。本科目では、「技術を通して相手をケアするとはどういうことか」、という視点で一緒に走ってまいりました。皆さんにとって本演習が、方法を知ることだけでなく看護技術の大事な部分を感じ考える時間となっていると嬉しいです。この度はたくさんのご感想をありがとうございました。
1N0501	健康レベル別看護学演習Ⅰ	河田照絵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。みなさんが演習に意欲的・積極的に取り組める演習であったことがわかりました。講義・演習内容についても少人数制で学習することで相談、質問等がしやすく皆さんの積極的な参加につながったと思います。幅広く多くの内容を学ぶ演習科目でしたが、今後の実習や学修につながっていくことを期待しております。
1N0502	健康レベル別看護学演習Ⅰ	山中源治	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。みなさんが演習に意欲的・積極的に取り組める演習であったことがわかりました。講義・演習内容についても少人数制で学習することで相談、質問等がしやすく皆さんの積極的な参加につながったと思います。幅広く多くの内容を学ぶ演習科目でしたが、今後の実習や学修につながっていくことを期待しております。

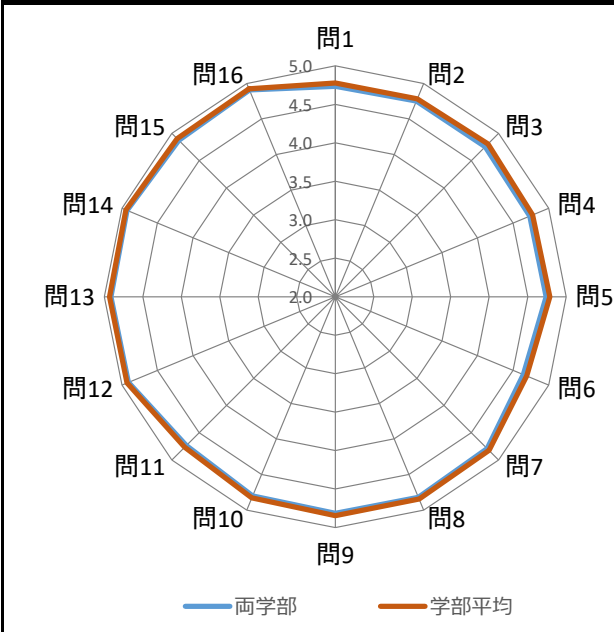
1R0300	国際看護学演習	織方 愛	良い点について、現地の声や実際の現場を見られたこと、大学院生と一緒に渡航して有意義だった、この演習でしか行けないインドネシア赤十字社や防災庁に行けた等の記載を頂きありがとうございました。 改善点について、折り紙等のプログラムの詳細について事前に聞きたかったとのご意見を頂きました。次年度へ活かし、事前に練習できるようにしたいと存じます。プログラム内容や施設の説明について不足があったとのこと、インドネシア語⇄日本語通訳を交えながらの説明なのでタイムリーに説明できなかったことお詫びいたします。次回からは英語で説明してもらうようにすればタイムラグもなく良いと存じますのでご意見活かしていきます。外食が多く食事量が調整しにくかったとのこと、安全な食事を選んでレストランとメニューを指定し、1回のみテイクアウトとしましたが、今回は少しテイクアウト回数を増やすなどして食事量の多さの改善をします。自由時間の少なさについて、自由時間での学びも重要と思います。安全管理とのバランスを図りながら、自由時間を検討出来たらと存じます。担当した教員も皆さんと同行し多くの学びを得ています。ありがとうございました。
1R0700	災害看護活動論Ⅱ	橋爪 朋子	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。授業の中でみなさんが興味を持って学修を進めてくれたことがとても伝わり嬉しく思っております。自由記載では、良い点として、グループワークがたくさんあって2コマの授業があつという間であったとのことご意見をいただきました。改善したほうが良い点についてのご意見は、演習の説明についてでした。スライドではご説明しましたが、配布資料としても工夫したいと思います。皆さんにとって学びやすい環境を整え、もっと興味をもって学び続けていただけるよう引き続き努力をしてまいります。貴重な意見をありがとうございました。

学部名	看護学部	履修者数		1271	回答率	
		回答数	紙	842	66%	66%
			WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								

■学部平均と両平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳>

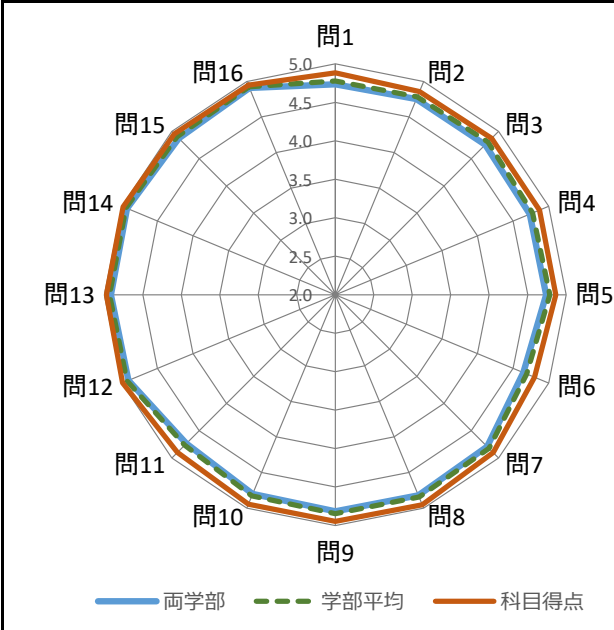
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

科目名	看護援助論実習[レベルⅡ]		[1S0200]	履修者数	129	回答率	
教員名	三浦 英恵			紙	111	86%	86%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	<								

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

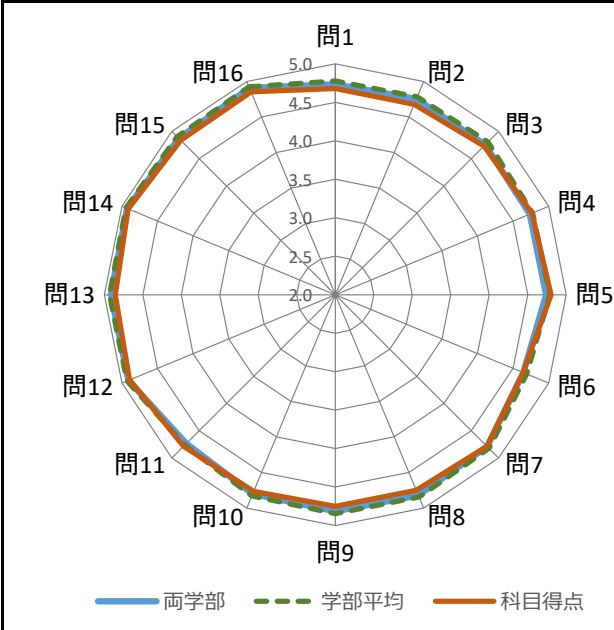
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕		[1S0300]	履修者数	144	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	56	39%	39%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	43				10	2	4.68	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	41				14		4.68	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	46				7	2	4.73	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	48				5	2	4.77	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	48				7		4.80	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	41				12	2	4.64	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	48				5	2	4.79	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	47				6	2	4.75	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	45				9		4.75	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	46				8		4.77	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	47				8		4.79	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	50				6		4.89	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	49				6		4.86	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	51				5		4.91	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	48				7		4.84	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	48				6		4.85	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.78	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

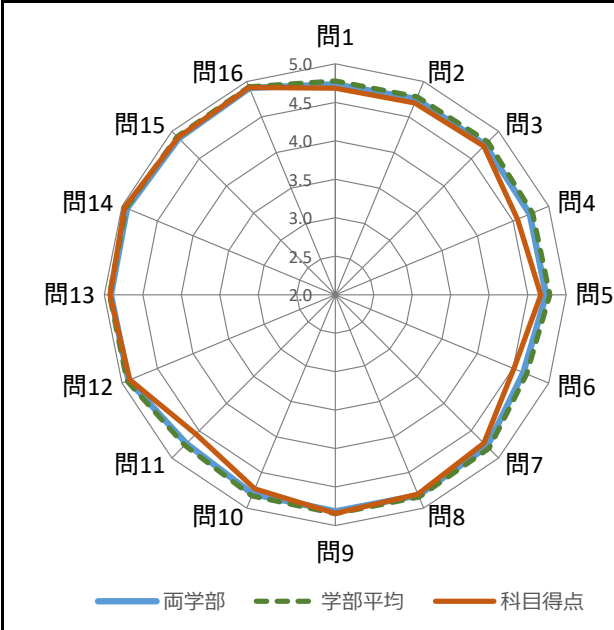
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	発達看護学Ⅰ実習〔レベルⅢ〕		[1S0400]	履修者数	145	回答率	
教員名	新田 真弓			紙	82	57%	57%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.68	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。								4.70	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.73	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.56	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。								4.67	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。								4.51	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。								4.73	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。								4.80	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。								4.84	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。								4.73	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。								4.56	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。								4.89	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。								4.93	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。								4.96	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。								4.89	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。								4.91	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.76	4.84	4.80	

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

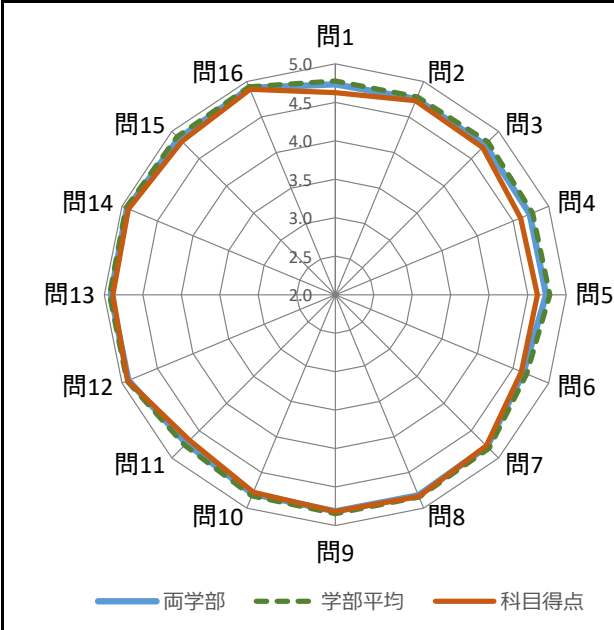
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕		[1S0500]	履修者数	144	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	99	69%	69%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	71	22	3				4.63	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	75	21	3				4.73	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	76	19					4.71	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	74	16	5	3			4.61	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	74	18	4				4.63	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	73	19	3				4.62	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	81	14	4				4.78	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	85	12					4.84	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	82	14					4.82	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	82	14					4.78	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	78	14	3	4			4.68	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	91	8					4.92	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	90	8					4.89	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	90	9					4.91	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	83	14					4.82	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	89	9					4.89	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.76	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

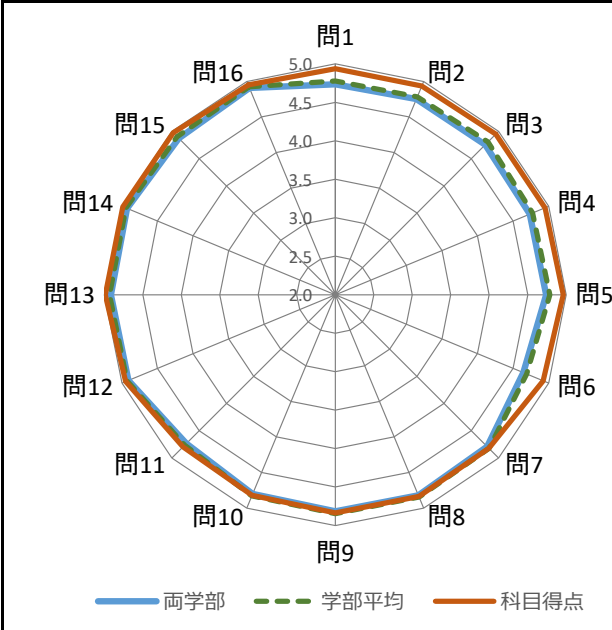
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕		[1S0600]	履修者数	144	回答率	
教員名	田中 孝美			紙	79	55%	55%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.94	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。							4.94	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.95	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							4.95	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。							4.96	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。							4.92	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.82	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。							4.84	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.84	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							4.82	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。							4.80	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。							4.95	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。							4.99	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。							4.99	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。							4.97	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。							4.95	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.91	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

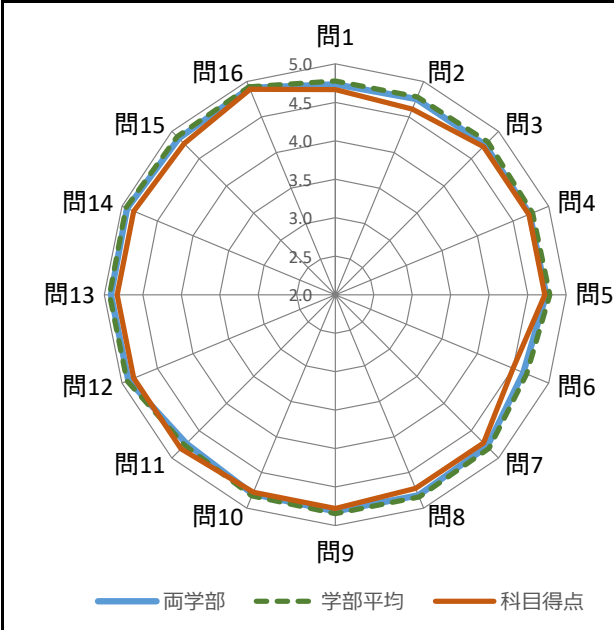
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]－1(精神)	[1S0801]	履修者数	36	回答率		
教員名	鷹野 朋実		回答数	紙	18	50%	50%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	13	4	1				4.67	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	12	5	1				4.61	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	14	3	1				4.72	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	14	3	1				4.72	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	14	3	1				4.72	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	13	3	1	1			4.50	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	13	5					4.72	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	13	5					4.72	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	14	4					4.78	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	15	2	1				4.78	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	15	3					4.83	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	15	3					4.83	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	15	3					4.83	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	15	3					4.83	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	15	2	1				4.78	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	16	2					4.89	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.75	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

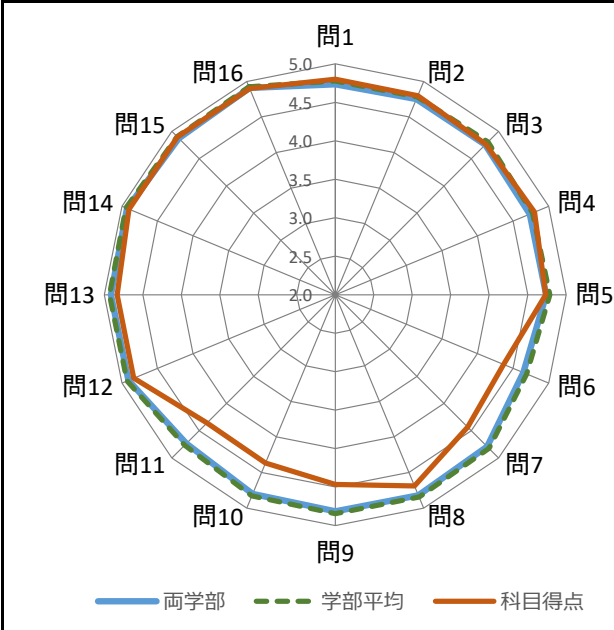
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（母性）	[1S0802]	履修者数	36	回答率		
教員名	新田 真弓		回答数	紙	30	83%	83%
学部	看護学部	授業形態		WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	</								

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

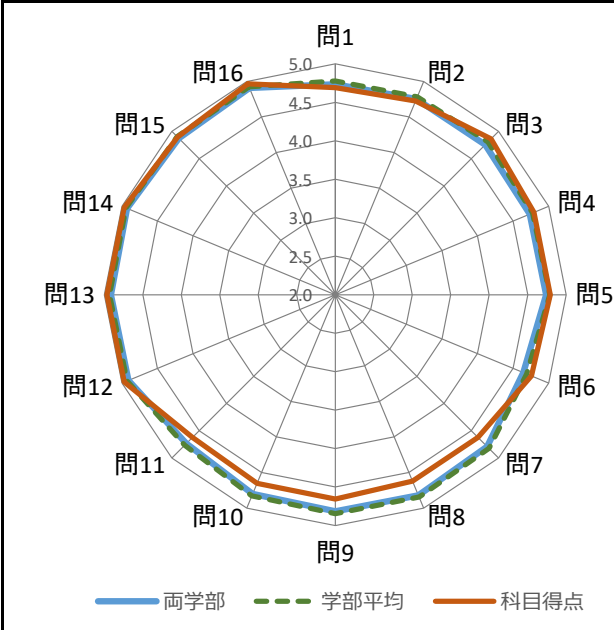
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－１（小児）	[1S0803]	履修者数	36	回答率		
教員名	江本 リナ		回答数	紙	29	81%	81%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	23	5	1				4.69	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	24	4	1				4.72	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	26	2	1				4.86	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	25	2	2				4.79	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	25	2	2				4.79	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	25	2	1	1			4.76	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	25	1	2	1			4.62	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	25	1	2	1			4.62	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	25	1	1	1	1		4.66	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	25	1	1	1	1		4.66	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	25	1	2	1			4.62	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	28					1	4.97	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	28					1	4.97	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	28					1	4.97	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	26				3		4.90	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	28					1	4.97	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.78	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

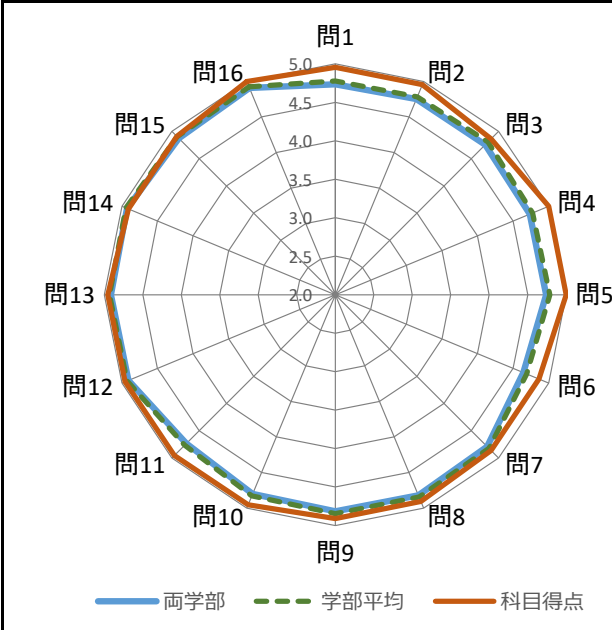
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]ー1(老年)	[1S0804]	履修者数	36	回答率		
教員名	田中 孝美		回答数	紙 22	61%	61%	
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%		

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			21			1	4.95	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			21			1	4.95	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			19			3	4.86	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			22				5.00	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			22				5.00	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			19			3	4.86	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			19			3	4.86	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			20			2	4.91	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			20			2	4.91	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			21			1	4.95	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			21			1	4.95	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			21			1	4.95	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			21			1	4.95	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。			20			2	4.91	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。			20			2	4.91	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。			22				5.00	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.93	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

<質問別回答内訳と得点>

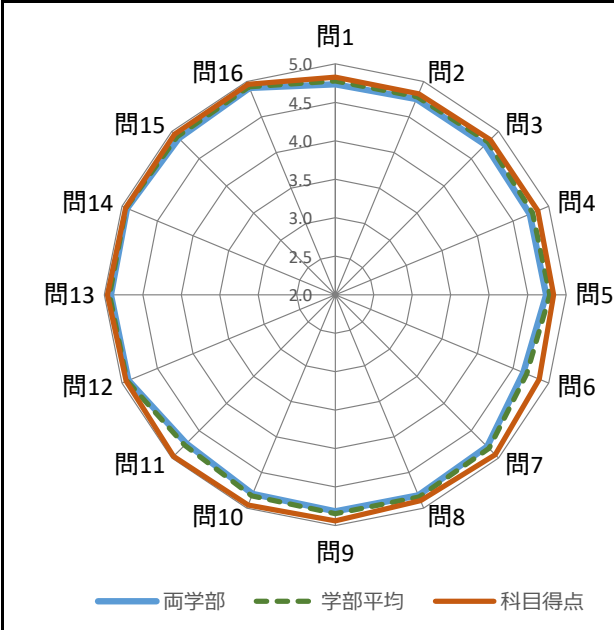
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	地域・在宅看護学実習[レベルⅣ]-2		[1S0900]	履修者数	133	回答率	
教員名	石田 千絵			紙	98	74%	74%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。					82	15	4.83	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。					82	15	4.83	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。					85	11	4.85	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。					84	13	4.85	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。					84	12	4.84	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。					86	11	4.87	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。					92	6	4.94	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。					90	6	4.90	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。					92	6	4.94	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。					94	4	4.96	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。					95	3	4.97	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。					92	6	4.94	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。					94	4	4.96	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。					93	5	4.95	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。					93	5	4.95	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。					94	4	4.96	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.91	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

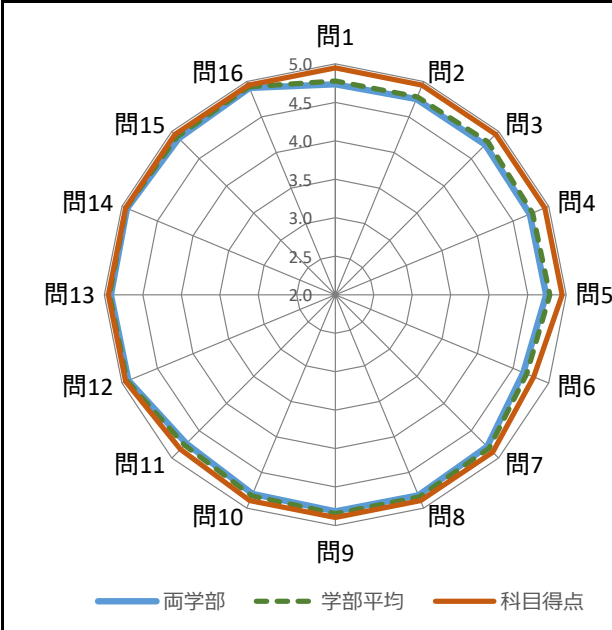
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)[急性期・慢性期]日赤医療センター/武蔵野/大森/みなと [1S1001]			履修者数	39	回答率	
教員名	佐々木 幾美			紙	19	49%	49%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						18	4.95	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。						18	4.95	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						18	4.95	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						18	4.95	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。						18	4.95	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。						17	4.79	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						17	4.89	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。						17	4.89	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						17	4.89	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						17	4.89	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。						17	4.84	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。						18	4.95	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。						18	4.95	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。						18	4.95	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。						18	4.95	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。						18	4.95	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.92	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

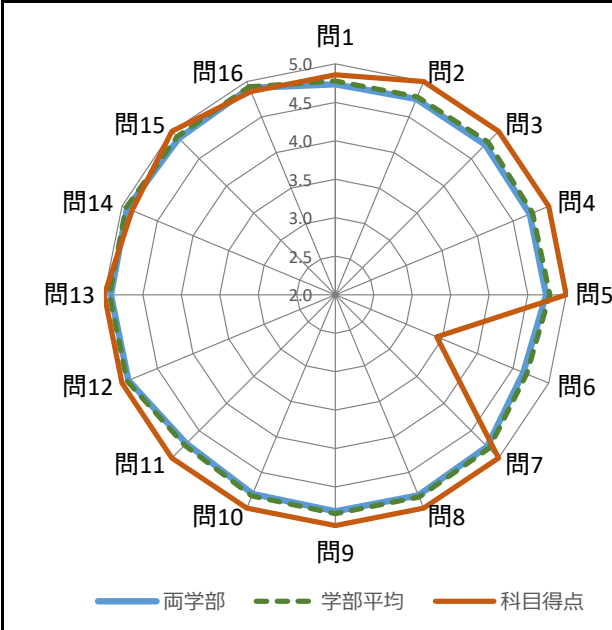
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(精神保健)		[1S1002]	履修者数	11	回答率	
教員名	鷹野 朋実			紙	7	64%	64%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部	
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							1	4.86	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。							7	5.00	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							7	5.00	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							7	5.00	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。							7	5.00	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。							3112	3.43	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							7	5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。							61	5.00	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							7	5.00	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							7	5.00	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。							7	5.00	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。							7	5.00	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。							7	5.00	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。							61	4.86	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。							7	5.00	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。							61	4.86	4.93	4.91
問1～16全問平均									4.88	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

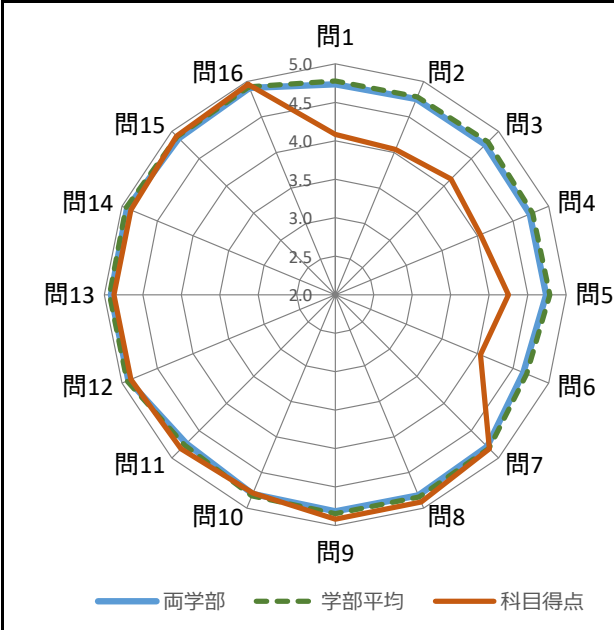
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目名	看護学総合実習(母性)[母子]／看護学総合実習(母性)[ハイリスク] [1S1003]			履修者数	24	回答率	
教員名	新田 真弓			回答数	紙	24	100%
学部	看護学部	授業形態	実習		WEB	0	0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	11	6	5	2			4.08	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	9	9	4	2			4.04	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	13	5	3	2	1		4.13	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	11	6	4	3			4.04	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	14	5	2	3			4.25	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	12	6	3	1	2		4.04	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	20			4			4.83	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	22			2			4.92	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	22			2			4.92	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	20			3	1		4.79	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	21			2	1		4.83	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	21			3			4.88	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	22			1	1		4.88	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	21			3			4.88	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	22			2			4.92	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	23			1			4.96	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.59	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

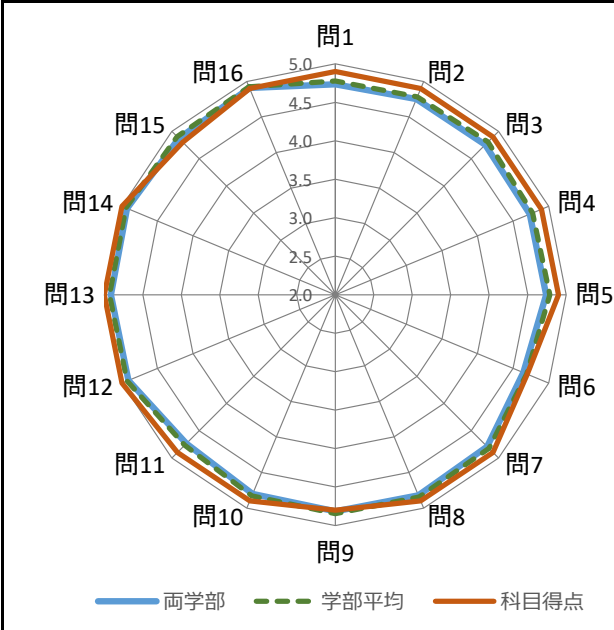
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミダケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(小児)		[1S1004]	履修者数	16	回答率	
教員名	江本 リナ			紙	10	63%	63%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.90	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。							4.90	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.90	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							4.90	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。							4.90	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。							4.70	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.90	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。							4.90	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.80	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。							4.90	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。							4.90	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。							5.00	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。							5.00	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。							5.00	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。							4.80	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。							4.90	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.89	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

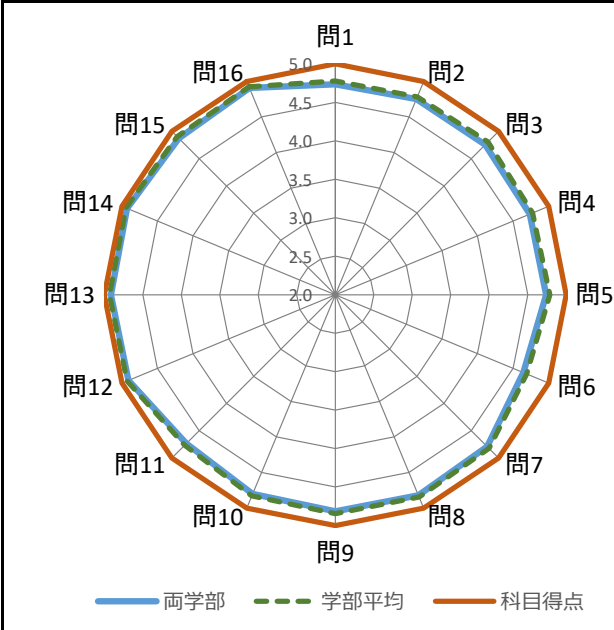
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	看護学総合実習(老年)		[1S1005]	履修者数	16	回答率	
教員名	田中 孝美			紙	13	81%	81%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						13	5.00	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。						13	5.00	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						13	5.00	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						13	5.00	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。						13	5.00	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。						13	5.00	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						13	5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。						13	5.00	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						13	5.00	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						13	5.00	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。						13	5.00	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。						13	5.00	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。						13	5.00	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。						13	5.00	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。						13	5.00	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。						13	5.00	4.93	4.91
問1～16全問平均								5.00	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

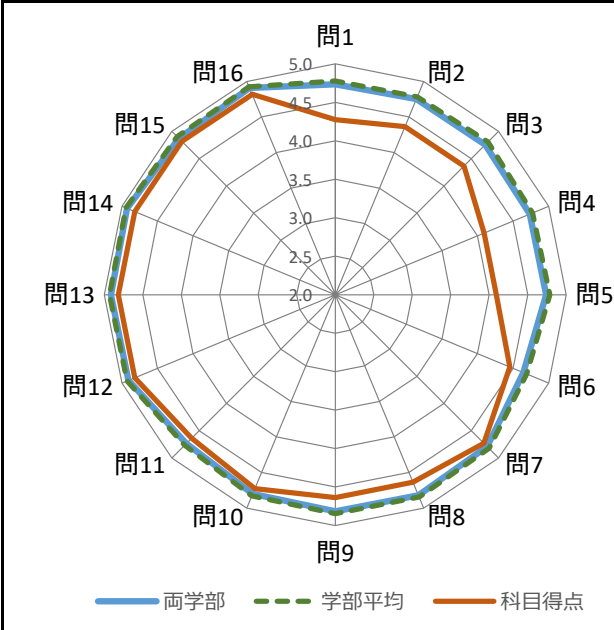
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	看護学総合実習(地域)		[1S1006]	履修者数	16	回答率	
教員名	石田 千絵			紙	11	69%	69%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	6	2	3				4.27	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	6	3	2				4.36	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6	3	2				4.36	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	6	2	1	2			4.09	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	6	2	1	2			4.09	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	6	4	1				4.45	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	8	3					4.73	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	7	4					4.64	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	7	4					4.64	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	8	3					4.73	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	7	4					4.64	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	9	2					4.82	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	9	2					4.82	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	9	2					4.82	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	9	2					4.82	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	9	2					4.82	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.57	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>

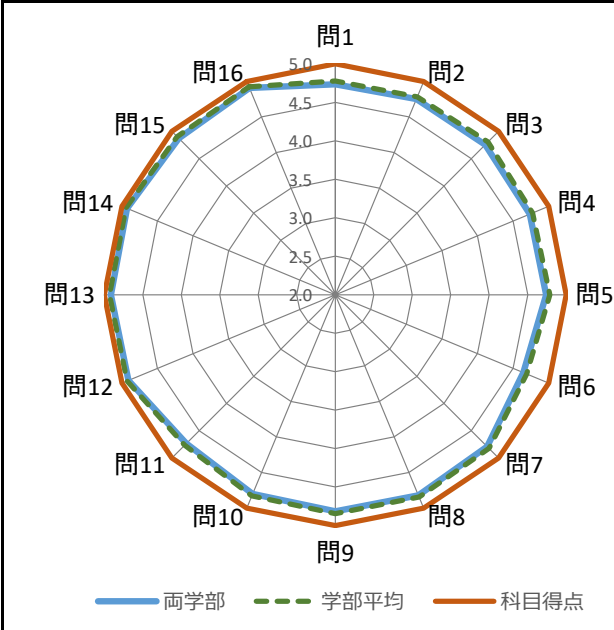
- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(国際)		[1S1007]	履修者数	3	回答率	
教員名	野口 真貴子			紙	3	100%	100%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			3				5.00	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。			3				5.00	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			3				5.00	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			3				5.00	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。			3				5.00	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。			3				5.00	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。			3				5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。			3				5.00	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。			3				5.00	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。			3				5.00	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。			3				5.00	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。			3				5.00	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。			3				5.00	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。			3				5.00	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。			3				5.00	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。			3				5.00	4.93	4.91
問1～16全問平均								5.00	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	—	該当なし
	—	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

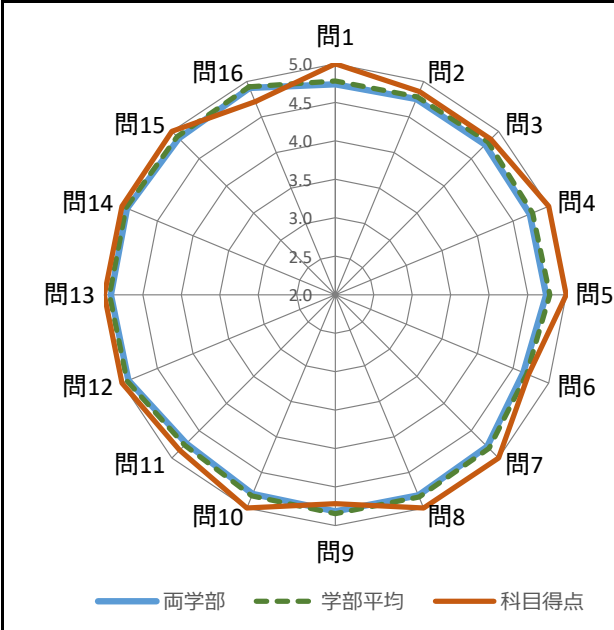
- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学総合実習(基礎・成人)[緩和ケア]		[1S1010]	履修者数	8	回答率	
教員名	本庄 恵子			紙	7	88%	88%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7						5.00	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	6					1	4.86	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	6					1	4.86	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7						5.00	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	7						5.00	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	5				2		4.71	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	7						5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	7						5.00	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5				2		4.71	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	7						5.00	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	6					1	4.86	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	7						5.00	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	7						5.00	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	7						5.00	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	7						5.00	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	6				1		4.71	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.92	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 $\leq$ 3.5

授業改善アンケート【実習】科目別集計

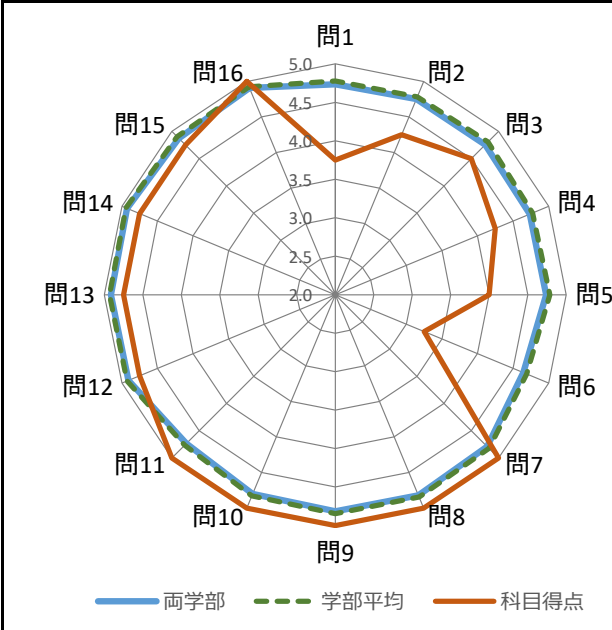
日本赤十字看護大学
2024年度後期

科目名	看護学総合実習(救急(災害))		[1S1011]	履修者数	5	回答率	
教員名	内木 美恵			紙	4	80%	80%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	1	2	1				3.75	4.78	4.73
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	2	1	1				4.25	4.78	4.75
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	2	2					4.50	4.81	4.76
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	2	1	1				4.25	4.78	4.73
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	1	2	1				4.00	4.79	4.74
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	1	2	1				3.25	4.69	4.65
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	4						5.00	4.82	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	4						5.00	4.85	4.82
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	4						5.00	4.85	4.81
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	4						5.00	4.83	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	4						5.00	4.77	4.74
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	3	1					4.75	4.93	4.91
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	3	1					4.75	4.93	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	3	1					4.75	4.94	4.93
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	3	1					4.75	4.90	4.87
16	学生は、体調管理に努めた。	4						5.00	4.93	4.91
問1～16全問平均								4.56	4.84	4.80

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答／不明	

<質問別回答内訳と得点>

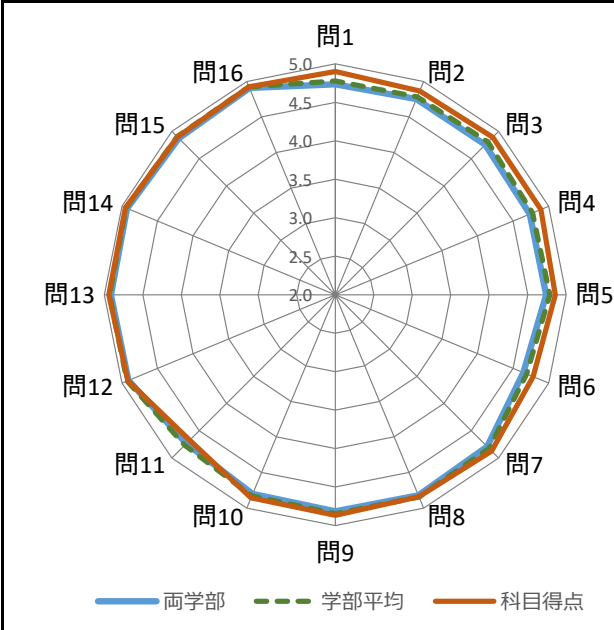
- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

科目名	看護学導入実習Ⅱ		[1S1400]	履修者数	150	回答率	
教員名	川原 由佳里			紙	120	80%	80%
学部	看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	両学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。									

■科目平均と学部平均および両学部平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答／不明

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは
科目得点 $\leq$ 3.5

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
1S0200	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	三浦英恵	実習改善アンケートへのご協力をありがとうございました。積極的に実習に臨んでくださったことや多くの学びを得たことがわかりました。 今後も、教員や実習指導者からの具体的なアドバイスや助言、統一した対応、相談しやすい雰囲気をつくり、学生の皆様の状況に合わせた指導ができるようにしていきたいと思います。 教員の発言に関する意見もいただきました。改善できるように検討していきたいと思います。
1S0300	精神保健看護学実習レベルⅢ	鷹野朋実	アンケートにご協力くださった56名の皆さん、ありがとうございました。次年度以降の実習指導にいかしていきたいと思います。特に、実習病院による実習受入環境の違いがあることは教員も課題として実感しましたので、精神科病院の指導者とも皆さんのアンケート結果について共有し、実習環境の改善・維持向上に役立てていきたいと考えています。
1S0400	発達看護学Ⅰ実習〔レベルⅢ〕	新田真弓	ご意見ありがとうございました。実習指導者と教員から、丁寧に状況に合わせた助言を得られたことが効果的であったようで良かったです。教員間、大学と施設間、教員と指導者間での調整が不足していた部分もあったようですので、次年度に向けて対応していきたいと思います。また、グループ差については様々ご意見をいただきました。スケジュールについては施設の受け入れ人数と休日との関連もあり難しい面もありますが、できるだけ調整をしよりよい実習環境を整えていきたいと思います。
1S0500	発達看護学Ⅱ実習〔レベルⅢ〕	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。オリエンテーション内容を充実させることで、学生が実習先で戸惑わないような工夫を検討します。
1S0600	発達看護学Ⅲ実習〔レベルⅢ〕	田中孝美	授業改善アンケートへのご回答をありがとうございました。多くのみなさんが高評価をつけて下さり、実習施設をよりよい環境ととらえて意欲的に学修を重ねられたことが確認できました。一部、実習施設との調整や実習の進め方についての教員間での調整が必要なこともわかりましたので、みなさんのご意見を参考にしながらよりよい学修環境が提供できるように検討してまいります。担当教員一同
1S0801	地域・在宅看護学実習レベルⅣ－1（精神）	鷹野朋実	受講した半数の方がアンケートに回答して下さい、ありがとうございました。 概ね満足いく実習ができたようでうれしく思っています。実習施設によっては環境に不備があったようですが、施設の状況についてあらためて教員も点検していきたいと考えています。
1S0802	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（母性）	新田真弓	様々な施設での充実した実習体験となったようで良かったです。他大学との実習施設での重なりなども生じたようですが、今後も実習施設担当者と連携を図り、実習目的が達成されるように進めていきます。
1S0803	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ〕－1（小児）	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S0804	地域・在宅看護学実習〔レベルⅣ－1〕（老年）	田中孝美	授業改善アンケートへのご回答をありがとうございました。レベルⅣ-1実習は高齢者センター、デイサービス、デイケアの3か所での実習でしたが、総合的に高評価をつけていただき、みなさんが自律的に行動し、学びを深めることができていたことが分かりました。今後もみなさんへのよりよい学修サポートができるよう、担当教員で検討を重ねてまいります。担当教員一同

1S0900	地域・在宅看護学実習レベルⅣ-2	石田千絵	ポジティブな評価をありがとうございます。良い実習体験ができたようで嬉しいです。実習での学びを今後も活かしていただけますと幸いです。サンバイザー等、雨天時の対応につきまして、訪問バックカバーやサンバイザーの貸し出しは現在検討できておりません。せっかくのアイデアを叶えることができずすみません。理由は、使用頻度の低い物品の管理の問題があるためです。今後も雨天時の必要物品としてのご案内をしていく予定です。よろしくお願いいたします。
1S1001	看護学総合実習（基礎・成人）[急性期・慢性期]	佐々木幾美 他	授業改善アンケートに回答くださり、ありがとうございます。回答率が49%ということでしたが、非常に良い評価をいただきました。学生自身も主体的・積極的に取り組み、良い実習になったと評価しておりました。 承諾書を早めにとってほしかったという意見がありましたので、そこは対応していきます。
1S1002	看護学総合実習（精神保健）	鷹野朋実	アンケート回答して下さった皆さん、ありがとうございました。 実習施設によって、さらにはその施設においても実習時期によって行う活動が変わってくるため、事前に具体的な説明が十分に行えない状況はあるのですが、そのような現状があるということを学生に事前に伝えておくことが必要だったのかもしれないと、アンケート結果から感じました。次年度には配慮していきます。また、スウェーデン留學生の実習と同時並行で行った総合実習だったため、臨地での実習指導を担当した教員と最終の発表会を担当する教員が異なるという事態が避けられませんでした。このことが学生の不満をもたらしただけなのかもしれないと推察しました。今後は十分に配慮していきたいと思います。
1S1003	看護学総合実習（母性）[母子]／ 看護学総合実習（母性）[ハイリスク]	新田真弓	ご意見ありがとうございました。実習では様々な体験ができたようでよかったです。一方で休日が入ったため、限られた日程と実習施設受け入れ日数の調整により、実習スケジュールにややグループ差が出てしまったことは申し訳なく思います。加えてNCPRについても事前準備や運営での説明が不足していたことは次年度には改善できるようにしたいと思います。教員間、施設間との連携を強化し、よりよい実習環境を整えてきたいと思います。
1S1004	看護学総合実習（小児）	江本リナ	良い評価をいただきありがとうございます。アンケートから皆さんにとって充実した実習になったことがわかり、教員の励みになりました。皆さんからいただいたコメントを次年度に活かし、より良い実習にしていきます。
1S1005	看護学総合実習（老年）	田中孝美	総合実習は老年看護学に興味を持って選んでくださった皆様が、自ら学びたい課題に挑んだ実習で、積極的に取り組んでくださったことがよくわかりました。実習指導者についても良い評価があったことから、実習施設では良い環境で実習をさせていただくことができていると思います。編入生の方は、総合実習が本学におけるはじめての実習となるため、よりイメージができるよう、具体的なオリエンテーションを行ってまいります。また、それまでの教育課程で学んだ実習記録を用いる選択が今後もできるよう実習の環境を整えてまいります。 担当教員一同
1S1006	看護学総合実習（地域）	石田千絵	概ね良い評価をありがとうございました。一方で、2名の学生さんから、教員と指導者との連携の課題があったというコメントもいただいております。地域看護学領域での総合実習は、訪問看護事業所4か所、産業保健2か所、学校保健1か所のいずれかでの実習ですので、どの場所での実習で生じた課題か把握できておらず、申し訳ないです。次年度は、どの場所においても、指導者さんと教員との連絡に齟齬が生じないよう注意をしてまいります。よろしくお願いいたします。
1S1007	看護学総合実習（国際）	野口眞貴子	3名の履修であるため、当該調査に回答しづらかったことを推察しますが、すべて高評価くださっています。教員側は、学生が学部最後の実習として学修を統合し、積極的に学びを深めるという積極性をサポートできるように努めていました。今回の評価は、学生の学習態度があつてこそと認識しています。引き続き総合実習としての統合的な学びを深められるように、サポートします。

1S1010	看護学総合実習（基礎・成人）[緩和ケア]	本庄 恵子	授業改善アンケートへのご協力をいただきまして、ありがとうございます。みなさんが主体的に取り組み、学びを深め、満足度の高い実習であったことが伝わってまいりました。今後も引き続き、満足度が高く学びの多い実習となるように、環境を整えてまいります。どうもありがとうございました。
1S1011	看護学総合実習（救急（災害））	内木美恵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。教員が学生さんの反応を見ながら指導する、教員と実習指導者の連携がとれているに関して、やや不十分な部分があったことの回答がありました。今後は、学生さんの反応をよく見ながら助言し、教員と実習指導者の良好な連携関係を作りながら実習をすすめるよう改善していきます。ご指摘を下さりありがとうございます。
1S1400	看護学導入実習Ⅱ	川原由佳里他	はじめての患者を受け持たせていただく実習で、学生も緊張が高かったと思いますが、教員と臨床指導者ともに、学生が安心して実習できる環境を整えることができたかと思います。事前のオリエンテーションが少し足りなかったという意見がありました。昨年度のオリエンテーションを見直して、準備を整えられるようにしたいと思います。